

令和元年度行政評価結果について
(対象:平成30年度実施事業)

令和元年9月
高松市

目 次

I 行政評価結果

1 行政評価の概要	1
(1) 行政評価とは	1
(2) 本市の行政評価	1
(3) 行政評価の仕組み	2
2 令和元年度行政評価の概要	
(1) 政策評価	3
(2) 施策評価	4
(3) 基本事業評価	5
(4) 事務事業評価	6
3 令和元年度行政評価結果の総括	
(1) 総合評価結果について.....	8
(2) 市民満足度調査結果について.....	8
(3) 今後の取組について.....	8

II 行政評価調書

1 健やかにいきいきと暮らせるまち.....	9
2 心豊かで未来を築く人を育むまち.....	51
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち.....	83
4 安全で安心して暮らし続けられるまち.....	127
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち.....	187
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち.....	213

I 行政評估結果

1 行政評価の概要

(1) 行政評価とは

行政評価は、行政サービスの現状と課題を分析することで、改善につなげる手法です。

行政活動を評価し(CHECK)、事業を見直し(ACTION)、計画や予算へ反映し(PPLAN)、次の事業を実施する(DO)、「PDCAサイクル」を循環することで、効果的・効率的で成果重視の行政運営を推進します。

また、評価の結果を公表することによって、市民への説明責任を果たすとともに、職員の意識改革にも結び付けるものです。

(2) 本市の行政評価

事務事業等を実施するに当たっては、市民に対して、「どのような目標のもと、どれだけのコストをかけて、どのような成果をあげたか」を表すなど、可視化することで、分かりやすく説明するなど、目指すべき都市像の実現に至るプロセスを明確に伝えることが重要であり、同時に、市政運営上、最上位に位置付けられる総合計画を効果的・効率的に推進するため、その施策体系に基づき進行管理を行うことが重要となっています。

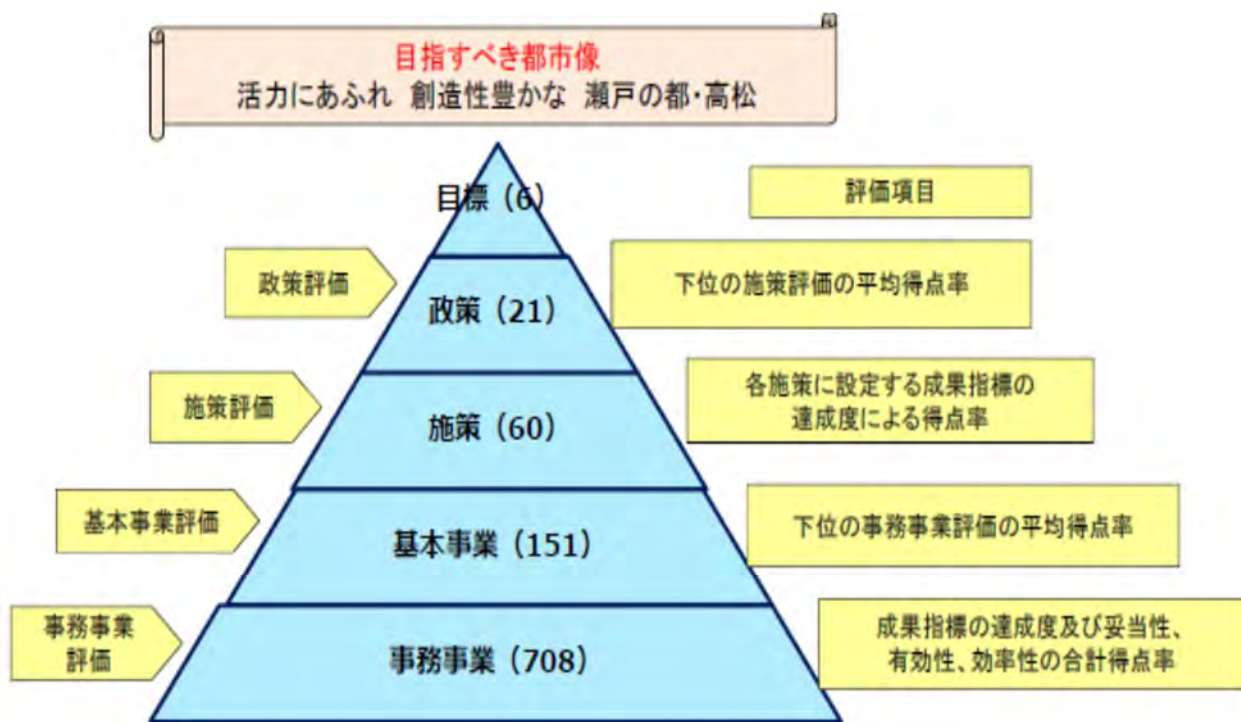
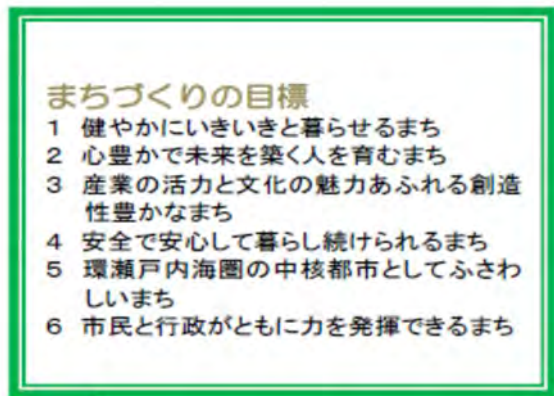
本市においては、平成21年度から、財務会計と連動した行政評価システムを段階的に導入し、23年度には「高松市行政評価システム基本方針」に基づき、施策評価及び事務事業評価を本格実施し、より広い観点から、まちづくりの進捗状況を客観的な評価項目である成果達成度評価等により把握しながら、更なる事務事業等の改革・改善に取り組んできましたが、方向性評価、環境変化対応評価等について、主観的な色合いの濃い評価結果となっていると捉えられる面もありました。

このようなことから、「第6次高松市総合計画」の策定に合わせて、行政評価システムの再構築を行い、①成果に重点を置いた客観的評価の導入、②図やグラフを用いた見やすい評価表の作成、③評価事務の効率化を図りました。29年度からは、この新しい行政評価システムにより評価を実施しており、「第6次高松市総合計画」の的確な進行管理を実現します。

(3) 行政評価の仕組み

「第6次高松市総合計画」は、本市の目指すべき都市像「活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松」を実現するため、6つのまちづくりの下に、「政策」、「施策」、「基本事業」、「事務事業」の4つの階層によって体系が構成されており、評価はこの体系に基づき、政策から事務事業までの階層で実施します。

各階層間は、上位と下位が目的(上位)、手段(下位)の関係になっており、上位への貢献度を計ることにより、一元的な行政評価の仕組みを目指します。



・各階層ごとに得点率を下表の基準により4段階に区分する。

得点率	総合評価
86%~	A
71%~85%	B
56%~70%	C
~55%	D

2 令和元年度行政評価の概要

(1) 政策評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第6次高松市総合計画に定める全政策

(イ) 評価者

市長

イ 評価の方法

各政策について、評価者が、関係局と協議・調整を行い、評価を実施しました。また、評価結果については、政策的判断等を行う会議において報告し、確定しました。

ウ 評価項目

政策評価は、下位の施策評価結果の集計値を基に、補足評価を加味して総合評価とします。

区 分	評 価 項 目
下位の施策評価	下位の施策評価結果(総合評価)の平均得点率
補足評価	施策単体だけでは測れない政策全体の成果を補足

エ 総合評価の評価基準

各評価項目の得点を合計して得点率を算出し、下記の区分に分類します。

得点率 86%～	A
得点率 71%～85%	B
得点率 56%～70%	C
得点率 ～55%	D

※下位の施策評価の平均得点率の算出に当たっては、小数点以下切り捨てとします。

オ 政策評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1健やかにいきいきと暮らせるまち	1(0)	2(3)	0(0)	0(0)	3
2心豊かで未来を築く人を育むまち	3(2)	1(1)	0(1)	0(0)	4
3産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	2(3)	3(2)	0(0)	0(0)	5
4安全で安心して暮らし続けられるまち	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3
5環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3
6市民と行政がともに力を発揮できるまち	2(3)	1(0)	0(0)	0(0)	3
計	14(14)	7(6)	0(1)	0(0)	21
割合	66.7% (66.7%)	33.3% (28.5%)	0% (4.8%)	0% (0%)	100%

()内は平成30年度評価

(2) 施策評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第6次高松市総合計画に定める全施策

(イ) 評価者

各施策に置かれる評価担当局の局長

イ 評価の方法

各施策について、評価者が、関係局と協議・調整を行い、実施しました。また、評価結果については、政策的判断等を行う会議において報告し、確定しました。

ウ 評価項目

施策評価は、成果指標の達成度を得点化した客観的評価をもって、総合評価とします。

区分	評価項目
成果の達成度	施策ごとに設定する成果指標(最大3指標)の達成度を得点化

エ 総合評価の評価基準

施策ごとに設定する成果指標の達成度を得点化して得点率を算出し、下記の区分に分類します。

得点率 86%～	A
得点率 71%～85%	B
得点率 56%～70%	C
得点率 ～55%	D

※得点率の算出

1つの成果指標について、達成度を30点満点で得点化し、その後、100点満点に換算した上で得点率を算出します。

(例1)「成果指標① 達成度 75.6%」「成果指標② 達成度 90.5%」の場合

→ 22点(30点×75.6%) + 27点(30点×90.5%) = 49点

49点 ÷ 0.6 = 81%・・・よって総合評価「B」

(例2)「成果指標① 達成度 75.6%」「成果指標② 達成度 90.5%」「成果指標③ 達成度 99.5%」の場合

→ 22点(30点×75.6%) + 27点(30点×90.5%) + 29点(30点×99.5%) = 78点

78点 ÷ 0.9 = 86%・・・よって総合評価「A」

オ 施策評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	6(4)	1(3)	0(2)	2(0)	9
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	8(6)	2(3)	0(0)	0(1)	10
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	6(7)	4(3)	1(1)	0(0)	11
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	16(16)	1(1)	0(0)	0(0)	17
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	7(6)	0(1)	0(0)	0(0)	7
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	4(4)	2(2)	0(0)	0(0)	6
計	47(43)	10(13)	1(3)	2(1)	60
割合	78.3% (71.7%)	16.7% (21.6%)	1.7% (5.0%)	3.3% (1.7%)	100%

()内は平成30年度評価

(3) 基本事業評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第6次高松市総合計画に定める全基本事業のうち下位の事務事業が全て評価対象外であるものを除いたもの

(イ) 評価者

上位の施策の評価担当局の局長

イ 評価の方法

各基本事業について、評価者が、関係局と協議・調整を行い、評価を実施しました。また、評価結果については、政策的判断等を行う会議において報告し、確定しました。

ウ 評価項目

基本事業評価は、下位の事務事業評価結果の集計値をもって総合評価とします。

区分	評価項目
下位の事務事業評価	下位の事務事業評価結果(総合評価)の平均得点率

エ 総合評価の評価基準

各評価項目の得点を合計して得点率を算出し、下記の区分に分類します。

得点率 86%～	A
得点率 71%～85%	B
得点率 56%～70%	C
得点率 ~55%	D

※下位の事務事業評価結果の平均得点率の算出に当たっては、小数点以下切り捨てとします。

オ 基本事業評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1健やかにいきいきと暮らせるまち	18(17)	1(2)	1(1)	0(0)	20(20)
2心豊かで未来を築く人を育むまち	16(16)	2(2)	0(0)	0(0)	18(18)
3産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	21(22)	6(5)	0(0)	0(0)	27(27)
4安全で安心して暮らし続けられるまち	28(25)	5(7)	2(3)	0(0)	35(35)
5環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	10(11)	2(1)	0(0)	0(0)	12(12)
6市民と行政がともに力を発揮できるまち	10(10)	4(3)	0(1)	0(0)	14(14)
計	103(101)	20(20)	3(5)	0(0)	126(126)
割合	81.7% (80.1%)	15.9% (15.9%)	2.4% (4.0%)	0.0% (0.0%)	100%

()内は平成30年度評価

(4) 事務事業評価

ア 評価の対象・評価者

(ア) 対象

第6次高松市総合計画に定める事務事業のうち、評価対象外事業を除いた全事務事業

(イ) 評価者

事務事業を所管する局長

イ 評価の方法

事務事業を実施する所属長が一次評価を実施し、事務事業を所管する局長が二次評価を実施して、評価表を作成しました。

ウ 評価項目

事務事業評価は、成果指標の達成度を得点化した客観的評価と、妥当性、有効性、効率性の各区分の主観的評価の合計値をもって総合評価とします。

【客観的評価】

区 分	評 価 項 目
成果の達成度	事務事業ごとに設定する成果指標（最大2指標）の達成度を得点化

※1つの成果指標について、達成度を35点満点で得点化する。

（成果指標が2つの場合は、それぞれの成果指標の得点を合計し、成果指標が1つの場合は、その得点を2倍して合計得点を算出する(合計70点満点)。）

【主観的評価】

区 分	評 価 項 目
妥当性評価	市民ニーズや社会情勢を考慮した、事業の目的や手法の妥当性 (市長マニフェストや議会答弁との整合性)
有効性評価	上位施策目標及び住民福祉の向上への貢献度 (未対応分野への取組、協働・連携)
効率性評価	費用対効果(財源確保やコスト縮減)

※各評価10点満点の合計30点満点の得点とする。

エ 総合評価の評価基準

事務事業ごとに設定する成果指標の達成度を得点化した後、各評価項目の得点を合計して得点率を算出し、下記の区分に分類します(【客観的評価】70点満点 + 【主観的評価】30点満点 = 100点満点)。

得点率 86%～	A
得点率 71%～85%	B
得点率 56%～70%	C
得点率 ~55%	D

(例)「成果指標① 達成度85%」「成果指標② 達成度65%」で主観的評価3問の得点がそれぞれ「10点、7点、4点」の場合

→ 29点(35点×85%) + 22点(35点×65%) = 51点

10点 + 7点 + 4点 = 21点

51点 + 21点 = 72点 ……よって総合評価「B」

オ 事務事業評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	A	B	C	D	計	評価対象外
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	83(86)	19(11)	5(5)	2(4)	109(106)	72(71)
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	55(65)	14(8)	6(2)	1(1)	76(76)	22(23)
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	73(77)	26(20)	2(3)	1(1)	102(101)	40(41)
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	58(61)	8(7)	7(8)	1(3)	74(79)	83(86)
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	22(22)	5(4)	0(0)	1(0)	28(26)	10(10)
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	27(26)	6(5)	2(2)	3(4)	38(37)	54(55)
計	318(337)	78(55)	22(20)	9(13)	427(425)	281(286)
割合	74.5% (79.3%)	18.3% (12.9%)	5.1% (4.7%)	2.1% (3.1%)	100%	

()内は平成30年度評価

カ 今後の方向性評価の結果は以下のとおりとなりました。

まちづくりの目標	拡充	継続	改善 継続	縮小	統合	完了	休止	廃止	計	評価 対象外
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	10 (8)	89 (83)	4 (9)	4 (4)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	109 (106)	72 (71)
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	3 (8)	65 (62)	5 (3)	2 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	76 (76)	22 (23)
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	6 (7)	78 (76)	12 (13)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	0 (0)	0 (1)	102 (101)	40 (41)
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	1 (0)	64 (72)	3 (4)	2 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (1)	0 (0)	74 (79)	83 (86)
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	0 (4)	24 (18)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	28 (26)	10 (10)
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	3 (3)	21 (26)	12 (6)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	38 (37)	54 (55)
計	23 (30)	341 (337)	39 (38)	9 (6)	3 (2)	11 (8)	0 (1)	1 (3)	427 (425)	281 (286)
割合	5.4% (7.1%)	79.9% (79.3%)	9.1% (8.9%)	2.1% (1.4%)	0.7% (0.5%)	2.6% (1.9%)	0% (0.2%)	0.2% (0.7%)	100%	

()内は平成30年度評価

3 令和元年度行政評価結果の総括

(1) 総合評価結果について

政策評価では、全21政策の全てが比較的高評価のA・B評価となりました。また、施策評価では、全60施策のうち、57施策(95%)が比較的高評価のA・B評価となった一方、「生活困窮者等への自立支援」、「健康づくりの推進」の2施策がD評価、「移住・交流の促進」の1施策がC評価となりました。

基本事業評価では、評価対象事業の97.6%が比較的高評価のA・B評価となった一方、2.4%がC評価となりました。また、事務事業評価では、評価対象事業の92.8%が比較的高評価のA・B評価となった一方、7.2%がC・D評価となりました。

事務事業の今後の方向性評価については、評価対象事業のうち85.3%が「拡充」・「継続」、11.2%が「改善継続」・「縮小」となる一方で、3.5%が「統合」・「完了」・「休止」・「廃止」となっています。

(2) 市民満足度調査結果について

評価が低いC・D評価となった3施策について、本市が令和元年5月に発表した『平成30年度市民満足度調査結果報告書』では、「生活困窮者等への自立支援」が満足度13.6%(58位)、「健康づくりの推進」が満足度49.8%(1位)、「移住・交流の促進」が満足度10.9%(60位)となっており、「生活困窮者等への自立支援」及び「移住・交流の促進」については、満足度についても低い結果となっています。

(3) 今後の取組について

各階層における客観的評価の実施により、第6次総合計画の進捗状況を的確に把握するとともに、外部評価である市民満足度調査結果も踏まえながら、各施策がより効率的・効果的に実施できるよう、施策・事業の優先順位や重点配分の決定、事務事業の改革・改善等を含めた継続的な見直しに取り組んでいく必要があります。

II 行政評価調書

(注)

- 1 政策評価表の「(参考) 政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値」欄及び施策評価表の「3 市民満足度調査の状況」欄については、当該年度の市民満足度調査結果から、各施策に対する「満足」と「やや満足」を合わせた「満足度」、「やや不満」と「不満」を合わせた「不満度」及び「重要」と「やや重要」を合わせた「重要度」を記載しています。

※ (参考) 施策全体の満足度 25.3%、施策全体の不満度 16.6%

- 2 施策評価表の「2 施策の成果状況」中、「指標のうごき」の欄は、次の基準により表示しています。

・成果の達成度	100%以上	晴れ
・成果の達成度	90%以上100%未満	薄日
・成果の達成度	80%以上90%未満	曇り
・成果の達成度	60%以上 80%未満	小雨
・成果の達成度	60%未満	雨

※ 成果の達成度は、当該年度の目標値に対する実績値の割合により算出しています。

- 3 施策評価表の「6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況」中、基本事業の「(総合評価)」の欄について、配下の事務事業が全て評価対象外の場合は空欄としています。

※ 事務事業のうち、内部事務や裁量の余地のない事業など一定の要件に該当する事業については、評価対象外としています。

1 健やかにいきいきと暮らせるまち

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価 A
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実	

1 政策の概要

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図るため、母子の健康の確保と増進、病気の予防や早期発見への取組に加え、子どもの生きる力を育てる教育や体験学習環境の整備・充実に努めるとともに、障がいのある子どもや様々な理由により配慮が必要な子どもを始め、全ての子どもが、地域の中で安心して生活し、成長・自立していけるよう、子どもの成長への支援に努めます。

また、子育て家庭が孤立することなく、心身ともにゆとりをもって子育てができるよう、地域社会全体で支援するとともに、男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現できるよう、子育て家庭への支援に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
子どもの成長への支援	92%	A
子育て家庭への支援	88%	A
平均	90%	A

3 政策の評価

子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実に向けて、2施策に取り組んだ。

「子どもの成長への支援」では、設定する3つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「子育て家庭への支援」では、設定する3つの指標のうち、保育施設待機児童数（4月1日現在）において、認定こども園の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、それを上回る保育需要の伸びがあったことなどから、目標に届かなかったが、他の2つの指標については、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は90%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
子どもの成長への支援	35.2%	10.9%	77.2%
子育て家庭への支援	30.7%	15.9%	77.0%
平均	33.0%	13.4%	77.1%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


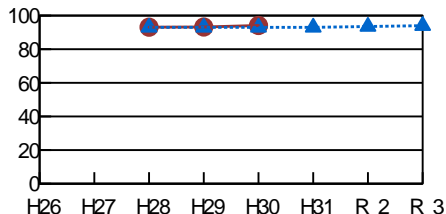
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実			課・室名	子育て支援課
	施策	子どもの成長への支援			電話番号	839-2354


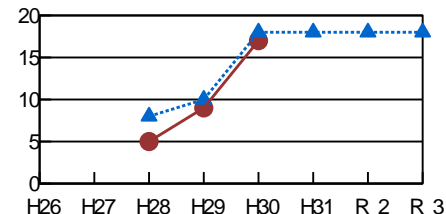
1 施策の目的


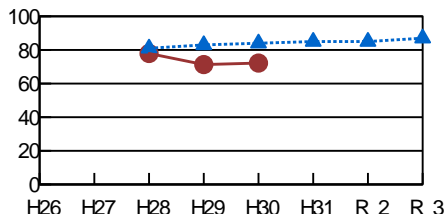
対象（誰、何を対象としているか）
市内の18歳未満の児童及びその保護者

意図（どのような状態にしたいのか）
全ての子どもの健やかな成長を社会全体で支え、子どもを生き育てやすいまちづくりを推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	1歳6か月児健康診査受診率	%	93.1	93.2	94.1	93.5	95	 目標達成度 (達成度) 101.2% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	受診率は、目標値に達しており、健診受診により、必要な支援へつながり、保護者の育児に関する不安や負担を軽減できている。引き続き、未受診者への受診勧奨を行うことなどにより、受診率の更なる向上を目指していきたい。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	認定こども園数	施設	5	9	17	18	18	 目標達成度 (達成度) 94.4% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	認定こども園への移行を予定していた施設が、移行を延期したことなどにより、目標を達成できなかった。なお、平成29年度に中間見直しを行った「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、評価している。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	自立支援プログラム策定者の就職率	%	77.9	71.3	72.2	85	90	 目標達成度 (達成度) 86.0% 25点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	目標値には達しなかったが、就職件数としてカウントされないプログラム策定者の中には、当初転職を希望していたものの、結果的に継続就労を選択した者や、専門性の高い職に就くため、学校に通い始めた者等が含まれており、就労支援という点において、一定の役割を果たすことができている。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	13位 (31.4%)	12位 (29.8%)	8位 (35.2%)
不満度	44位 (12.9%)	36位 (14.4%)	48位 (10.9%)
重要度	13位 (74.5%)	12位 (75.5%)	11位 (77.2%)

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
健やかな成長を促す学びへの支援							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業	86%	A	継続	待機児童数(4月1日現在)	72.3%
						大規模修繕実施施設対象児童数	91.3%
		公立保育所・幼稚園等施設整備事業	94%	A	継続	認定こども園対象児童数	100.0%
						大規模修繕実施施設対象児童数	100.0%
		保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	91%	A	継続	芸術士派遣事業実施施設の満足度	94.0%
		(評価対象外)幼稚園管理運営事業					
		(評価対象外)公立保育所等管理事業					
		(評価対象外)公立保育所等運営事業					
		年長児童の赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業	100%	A	継続	ライフデザインを考えるきっかけとなった生徒の割合	172.0%
						乳幼児に関心を持つようになった生徒の割合	124.0%
		(評価対象外)新規採用保育教育士等実地研修指導事業					
		私立認定こども園施設型給付事業	90%	A	継続	待機児童数(4月1日現在)	72.3%
		私立幼稚園施設型給付事業	90%	A	継続	待機児童数(4月1日現在)	72.3%
		こども未来館わくわく体験事業	94%	A	継続	わくわく体験事業参加者数	146.1%
		子ども・子育て支援事業	97%	A	継続	みんなのひろば・プレイルーム利用者数	141.6%
		こども未来館学習体験事業	94%	A	継続	こども未来館学習実施延べ人数	127.5%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
配慮を要する子どもと保護者への支援 (1/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 養育支援訪問事業					
		ひとり親家庭子育て支援事業	91%	A	継続	利用時間数	129.8%
		(評価対象外) 児童家庭相談事業					
		(評価対象外) 要保護児童対策事業					
		(評価対象外) 児童扶養手当支給事業					
		ひとり親家庭等医療費助成事業	80%	B	継続		
		(評価対象外) 母子福祉資金等貸付事業					
		ひとり親家庭自立支援事業	94%	A	継続	母子自立支援相談解決件数	111.4%
		母子家庭等就業・自立支援事業	84%	B	継続	講座受講申込者数	72.2%
		(評価対象外) 母子家庭等自立支援給付金事業				ひとり親家庭等日常生活支援事業利用登録者数	100.0%
		(評価対象外) 母子生活支援施設運営事業					
		(評価対象外) 子育て短期支援事業					
		ひとり親家庭無料職業紹介事業	83%	B	継続	自立支援プログラム策定件数	60.8%
						職業紹介件数	375.0%
		発達障がい児等支援事業(こども園運営課分)	97%	A	継続	発達障がい児等支援員配置率	100.0%
		子どもの貧困対策コーディネート事業	97%	A	統合	コーディネート研修会・勉強会等参加者数	116.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


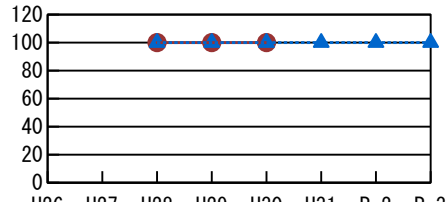
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実			課・室名	子育て支援課
	施策	子育て家庭への支援			電話番号	839-2354


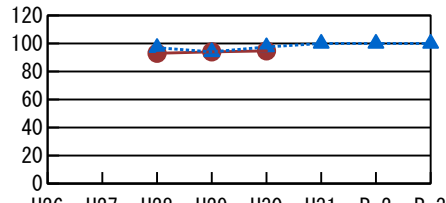
1 施策の目的


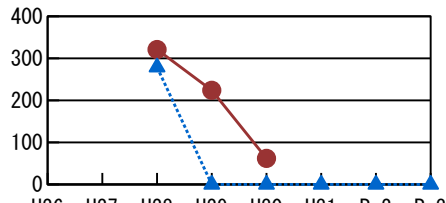
対象（誰、何を対象としているか）
市内の18歳未満の児童及びその保護者

意図（どのような状態にしたいのか）
全ての子育て家庭が、心身共にゆとりをもって子育てができる環境を整える。

2 施策の成果状況

成果指標①	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	子育て支援拠点施設設置割合	%	100	100	100	100	100	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況／達成度評価		成果状況の推移					
	教育・保育提供区域全てにおいて、子育て支援拠点施設を設置できている。目標は達成できている。							

成果指標②	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	放課後児童クラブ入会率	%	93	94	94.7	100	100	 目標達成度 (達成度) 97.1% 29点
	成果状況／達成度評価		成果状況の推移					
	直営の放課後児童クラブを新たに3教室開設するなど、受け皿の確保に努めたが、利用を希望する児童数の増加により、目標を達成できなかった。							

成果指標③	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	保育施設待機児童数（4月1日現在）	人	321	224	62	0	0	 目標達成度 (達成度) 72.3% 21点
	成果状況／達成度評価		成果状況の推移					
	「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、認定こども園の創設等により、受入れ枠を増やしたものの、それを上回る保育需要の伸びがあったことや、保育士不足により、目標を達成できなかった。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	10位（31.8%）	19位（26.1%）	16位（30.7%）
不満度	32位（15.5%）	24位（19.2%）	27位（15.9%）
重要度	12位（74.7%）	17位（72.6%）	12位（77.0%）

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
地域における子育て支援							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		地域子育て支援拠点事業（子育て支援課分）	95%	A	継続	利用者数	98.1%
		地域子育て支援拠点事業（こども園総務課分）	97%	A	継続	地域子育て支援拠点事業相談件数	125.7%
	○	（評価対象外）児童厚生施設管理運営事業					
		（評価対象外）助産施設運営事業					
		（評価対象外）児童手当等支給事業					
		子ども医療費助成事業	80%	B	拡充		
		（評価対象外）子育て相談事業					
		ブックスタート事業	96%	A	継続	ブックスタートパックを配布した人数	95.7%
	○	就園等奨励事業	100%	A	縮小	待機児童数（4月1日現在）	72.3%
		子育て支援対策推進事業	97%	A	継続	ネットワーク会議参加者総数	103.8%
						らっこネットアクセス件数	136.6%
		（評価対象外）健やか子ども基金管理事務					
	○	子育て世代親元近居等支援事業	62%	C	廃止	事業成果世帯数	64.4%
	○	多子世帯保育料等減免事業	98%	A	継続	保育所・幼稚園等入所（園）児童数	99.4%
	○	こども食堂等支援事業	100%	A	継続	こども食堂か所数	107.7%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成

総合評価
B

1 政策の概要

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成を図るため、ユニバーサルデザインの普及啓発や、福祉施設の適正な運営など、地域福祉の推進に努めるとともに、高齢者が、住み慣れた地域で共に支え合い、自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

また、障がい者の自己決定を尊重し、適切な意思決定等を行えるよう支援するほか、障がい者の個別性に応じた支援を推進するとともに、ライフステージに応じた切れ目ない支援や、社会的障壁の除去と合理的配慮の普及に向けた取組を推進するなど、障がい者の自立支援と社会参加の促進に努めます。

また、生活困窮者等について、早期の自立に向けた支援等を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域福祉の推進	85%	B
地域包括ケアシステムの構築	97%	A
障がい者の自立支援と社会参加の促進	100%	A
生活困窮者等への自立支援	50%	D
平均	83%	B

3 政策の評価

支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成に向けて、4施策に取り組んだ。

「地域福祉の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合において、制度周知や実地検査により、数値は改善したものの、目標に届かなかったが、他の指標については、目標を概ね達成した。

「地域包括ケアシステムの構築」及び「障がい者の自立支援と社会参加の促進」では、設定する5つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「生活困窮者等への自立支援」では、設定する2つの成果指標とも、目標に届かなかった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は83%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
地域福祉の推進	22.3%	18.3%	74.9%
地域包括ケアシステムの構築	26.9%	19.1%	79.9%
障がい者の自立支援と社会参加の促進	19.9%	17.1%	70.3%
生活困窮者等への自立支援	13.6%	15.6%	47.0%
平均	20.7%	17.5%	68.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


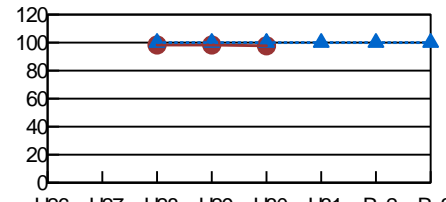
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価	B	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成				課・室名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進				電話番号	087-839-2372


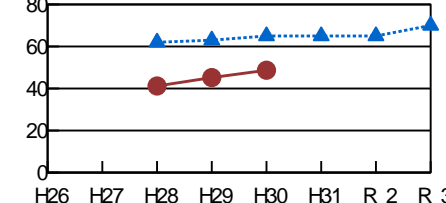
1 施策の目的

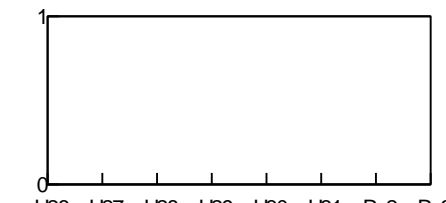
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
地域福祉の推進や福祉施設の適正な運営に関する各種事業を展開し、みんなで支え合う地域福祉を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	民生委員・児童委員の充足率	%	98.3	98.3	97.7	100	100	 目標達成度 (達成度) 97.7% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	民生委員・児童委員は、全国的に、なり手不足の状況ではあるが、欠員が生じている地区での補充推薦に努めたことで、概ね目標を達成することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	指導監査における文書指摘がない社会福祉法人等の割合	%	41.2	45.2	48.7	65	70	 目標達成度 (達成度) 74.9% 22点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	日頃からの社会福祉法人等への制度周知や実地監査の実施など、適正な運営を指導することにより、達成度は74.9%に向上した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	35位 (21.0%)	43位 (17.8%)	32位 (22.3%)
不満度	28位 (18.1%)	19位 (20.8%)	21位 (18.3%)
重要度	14位 (74.3%)	25位 (67.9%)	14位 (74.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	2,132,632	1,700,175	461,877	1,047,904
人件費	120,905	117,599	115,321	186,403
トータルコスト	2,253,537	1,817,774	577,198	1,234,307

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【健康福祉局】住民相互のつながりや信頼関係を築き、ともに助け合い支え合って行ける地域社会を実現するために、今後さらに、避難行動要支援者名簿の登録率や民生委員の充足率を高めていく必要があるほか、複合的な課題にも対応できるよう、福祉の総合相談窓口を設置するなど、包括的な相談支援体制を充実させていく必要がある。</p> <p>【市民政策局】年齢や性別、障がいの有無、国籍の違いなどにかかわらず、誰もが快適に生活できるように、市全体でユニバーサルデザインの考え方を広げていくことが必要である。</p>

施策推進の方向性
<p>引き続き、安全・安心に暮らせる福祉環境の整備に向けた、みんなで支え合う地域福祉を推進するほか、分野を超えた複合的な課題にも対応できるよう、包括的な相談支援体制を構築するなど、「地域共生社会」の実現を目指す。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
ユニバーサルデザインの普及・啓発							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		ユニバーサルデザイン推進事業	95%	A	拡充	施策全体の満足度（市民満足度調査）	88.2%
						ユニバーサルデザイン啓発講座等参加者数	115.7%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


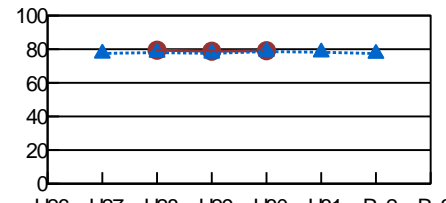
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価	A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成				課・室名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築				電話番号	087-839-2346


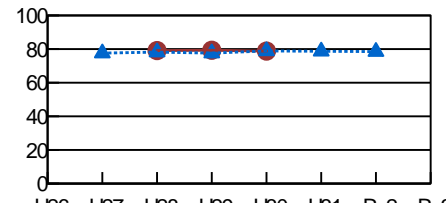
1 施策の目的


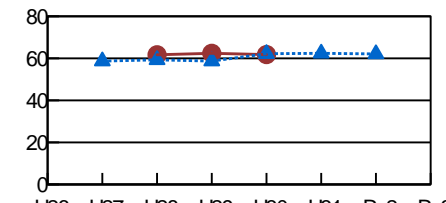
対象（誰、何を対象としているか）
高齢者等

意図（どのような状態にしたいのか）
住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいなどが一体的に切れ目なく提供される状態となる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	要介護者の在宅比率	%	79.4	78.8	79.1	77.9	79.2	 目標達成度 (達成度) 100.6% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	在宅で生活している要介護認定者の割合は、目標値の78.6%を0.5ポイント上回り、目標を達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	自立高齢者率	%	79.1	79.3	78.8	77	74.6	 目標達成度 (達成度) 99.9% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	介護・支援を必要としていない65歳以上の高齢者の割合は、目標値の78.9%を0.1ポイント下回った。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	自立後期高齢者率	%	61.7	62.4	61.8	58	57.3	 目標達成度 (達成度) 99.4% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	介護・支援を必要としていない75歳以上の高齢者の割合は、目標値の62.2%を0.4ポイント下回った。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	28位 (23.9%)	30位 (22.0%)	23位 (26.9%)
不満度	13位 (22.0%)	10位 (23.7%)	19位 (19.1%)
重要度	4位 (80.3%)	4位 (80.0%)	5位 (79.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,888,795	2,687,754	2,954,517	3,200,073
人件費	451,825	457,875	464,912	464,912
トータルコスト	2,340,620	3,145,629	3,419,429	3,664,985

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進するほか、介護保険サービス基盤の充実、介護予防の推進、地域全体で高齢者を支える体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>今後においても、高齢者一人一人の状態に応じて、様々な支援が切れ目なく提供される環境づくりや、共に支え合う社会づくりが求められている。</p>

施策推進の方向性
<p>住み慣れた地域で共に支え合い、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現を目指し、包括的な支援体制の構築や介護予防と社会参加の推進、生活環境の充実に努める。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
在宅医療・介護連携の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		在宅医療・介護連携推進事業	97%	A	継続	多職種連携構築度評価平均得点	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
介護保険サービスの充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		介護保険補助金等事業	88%	A	改善継続	社会福祉法人等利用者負担減額の対象となる登録率	91.6%
		生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業	100%	A	継続	住民主体によるサービスを提供している地区数	316.7%
基本事業名					(総合評価) B		
住まいの整備・充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 老人保護施設措置事業					
		高齢者住宅改造助成事業	41%	D	縮小	高齢者住宅改造助成を行なった高齢者率	30.0%
		高齢者住宅等安心確保事業	83%	B	改善継続	生活援助員への相談件数	80.3%
		軽費老人ホーム事務費補助事業	97%	A	継続	入所者実数	100.0%
		老人福祉施設整備支援事業	97%	A	継続	補助金を交付した老人福祉施設数	115.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
介護予防の促進					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)介護予防推進事業(地域包括支援センター分)					
		介護予防推進等事業	100%	A	継続	教室参加者数(介護予防教室・認知症予防教室)	104.3%
						事業参加者数(元気を広げる人の活動・のびのび元気体操等)	110.5%
		(評価対象外)介護予防支援事業					
		(評価対象外)認知症高齢者等対策推進事業					
		(評価対象外)介護予防推進事業(介護保険課分)					
		(評価対象外)介護予防推進事業(地域包括ケア推進室分)					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充 (1/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		敬老事業	94%	A	縮小	敬老事業参加率	100.0%
		高齢者福祉通信機器貸与等事業	63%	C	縮小	高齢者福祉通信機器貸与率	71.4%
		在宅高齢者家族支援事業	96%	A	継続	在宅認定者率(要介護4、5)	96.0%
		寝たきり高齢者等支援事業	97%	A	継続	施策に対する満足度(市民満足度調査)	107.6%
		高齢者と施設の交流事業	75%	B	拡充	配食を受けた高齢者率	70.9%
		高齢者と地域の交流事業	93%	A	継続	高齢者と地域の交流事業実施箇所	96.8%
		軽度生活援助事業	85%	B	継続	軽度生活援助利用率	85.7%
		高齢者福祉タクシー助成事業	88%	A	改善継続	タクシー助成券利用率	93.2%
		老人クラブ活動助成事業	85%	B	継続	老人クラブ会員数	83.6%
		シルバー人材センター運営補助事業	85%	B	継続	シルバー人材センター会員数	92.3%
		高齢者福祉施策推進事業	94%	A	継続	施策に対する満足度(市民満足度調査)	107.6%
		(評価対象外)老人福祉センター等運営事業					
		(評価対象外)地域包括支援センター運営事業					
		高齢者居場所づくり事業	97%	A	継続	主観的健康感の維持向上率	102.4%
		高齢者見守り事業	78%	B	拡充	見守り協定に基づく通報件数	134.6%
						見守り対象としたハイリスク高齢者のカバー率	38.5%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


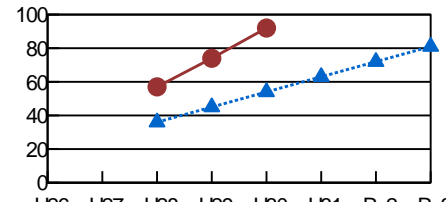
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課・室名	障がい福祉課	
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333	


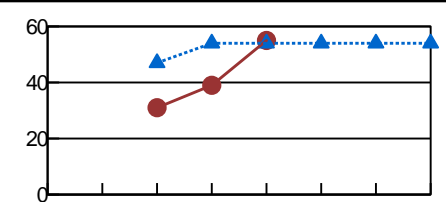
1 施策の目的

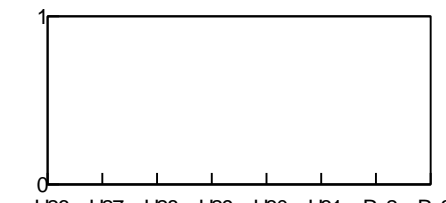
対象（誰、何を対象としているか）
障がい者及び障がい児

意図（どのような状態にしたいのか）
必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行うことにより、障がい者及び障がい児が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活を送ることができるようにする。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	施設入所者の地域生活への移行者数（累積）	人	57	74	92	54	99	 目標達成度 (達成度) 170.4% 30点
	成果状況 / 達成度評価	成果状況の推移						
	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、施設入所者の地域移行を推進した結果、目標値を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	福祉施設から一般就労への移行者数	人	31	39	55	54	54	 目標達成度 (達成度) 101.9% 30点
	成果状況 / 達成度評価	成果状況の推移						
	障がい者の自立支援と社会活動への参加の促進を図るため、地域生活支援拠点等を活用し、福祉施設から一般就労への移行を推進した結果、目標値を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価	成果状況の推移						
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	42位（19.7%）	45位（16.8%）	41位（19.9%）
不満度	33位（15.4%）	23位（19.6%）	24位（17.1%）
重要度	17位（72.3%）	22位（69.5%）	25位（70.3%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	9,311,274	9,754,858	10,308,704	10,107,926
人件費	188,330	194,227	208,711	182,369
トータルコスト	9,499,604	9,949,085	10,517,415	10,290,295

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
支援の対象となる障がいの多様化に伴い、障害福祉サービスコストの増加が予想されるため、より効果的なサービス提供について検討する必要がある。

施策推進の方向性
障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らし、積極的に社会活動に参加できる地域社会づくりを目指し、より一層効果的で適正な施策の実施に取り組み、成果の向上を図る。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
障がいの社会活動への参加の促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 障害者移動支援等事業					
		障害者地域活動支援事業	97%	A	継続	利用人数	118.3%
		障害者福祉タクシー事業	76%	B	継続	タクシー助成券使用率	75.7%
		障害者社会活動支援事業	93%	A	継続	障害者社会見学事業における参加者数	94.7%
		福祉のまちづくり推進事業	75%	B	継続	特定施設整備主に対する指導および助言数	70.0%
		障がい者アートリンク事業	97%	A	継続	アートリンクに参加した障がい者(児)延べ人数	250.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
障がい者の自立支援の促進 (1/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		発達障害者サポート事業	100%	A	継続	障害児通所サービス受給者数	127.5%
		(評価対象外) 障害福祉サービス給付事業					
		(評価対象外) 障害者自立支援医療事業					
		補装具費・日常生活用具支給等事業	97%	A	継続	補装具給付件数	101.8%
		(評価対象外) 介護給付費等審査会事業					
		(評価対象外) 障害程度区分認定事業					
		障害者相談支援事業	97%	A	継続	障害者相談件数	109.7%
		障害者権利擁護事業	80%	B	継続	成年後見人申立決定人数	80.0%
		障害者手帳交付事業	90%	A	継続	サービス提供による決算額	95.5%
		福祉用品助成等事業	97%	A	継続	紙おむつ支給件数	165.0%
		(評価対象外) 福祉手当支給等事業					
		障害者医療費助成事業	97%	A	継続	受診率	102.2%
		障害児放課後支援事業	97%	A	継続	放課後支援事業利用日数	100.0%
		(評価対象外) 障害者施策推進事業					
		(評価対象外) 障害者福祉施設等運営事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
障がい者の自立支援の促進 (2/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		障害者福祉施設等整備事業	100%	A	継続	共同生活援助事業所の定員数	104.4%
						就労継続支援B型の定員数	126.7%
		障がい者就労支援促進事業	69%	C	継続	雇用契約をした障がい者数	60.0%
		障がい者地域生活支援推進事業	94%	A	継続	基幹相談支援センター相談件数	133.1%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


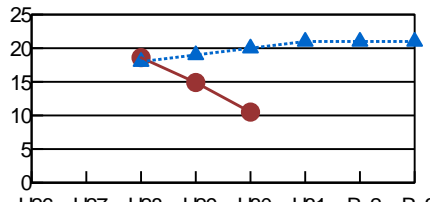
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価	D	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成				課・室名	生活福祉課
	施策	生活困窮者等への自立支援				電話番号	087-839-2343


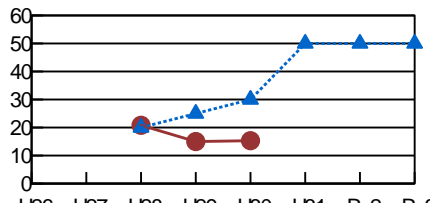
1 施策の目的

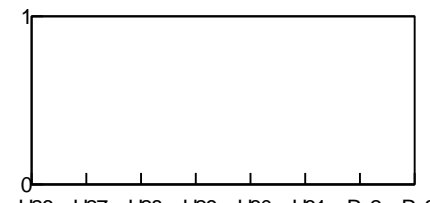
対象（誰、何を対象としているか）
生活困窮者

意図（どのような状態にしたいのか）
困窮の程度に応じ、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。 生活保護に至る前の生活困窮者に対して、生活困窮者自立支援法に基づき早期的な支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	勤労収入の増加による生活保護廃止率	%	18.6	14.9	10.5	20	22	 目標達成度 (達成度) 52.5% 15点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
稼働能力のある者には、ハローワーク等と連携して就労指導するとともに、被保護者の状況を把握しながら、段階的に就労機会を増やすなど、経済的自立を目指し取り組んだが、目標を下回った。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	支援プラン作成率	%	20.8	15	15.3	30	50	 目標達成度 (達成度) 51.0% 15点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
生活困窮者それぞれの状況に応じて、継続的かつ包括的な支援を実施するための支援プランを作成し、困窮者の早期自立を促したが、支援プランの作成に至るまでの相談者が少なく、目標を下回った。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	59位 (12.6%)	60位 (10.7%)	58位 (13.6%)
不満度	18位 (19.9%)	25位 (18.1%)	29位 (15.6%)
重要度	49位 (49.7%)	57位 (45.2%)	55位 (47.0%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	11,414,064	11,441,130	11,279,766	11,318,918
人件費	512,670	496,949	495,311	495,311
トータルコスト	11,926,734	11,938,079	11,775,077	11,814,229

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>経済状況と雇用環境を反映し、生活保護受給者数はやや減少傾向にあるが、ケースワーカー及び査察指導員数の充足を図るなど、実施体制の整備が必要である。</p> <p>生活困窮者自立支援事業については、早期支援を実現するため、地域における生活困窮者の把握など、地域ネットワークを活用した包括的な取組が必要である。</p>

施策推進の方向性
<p>引き続き、生活困窮者に対して健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立支援施策を推進することにより、自立を助長する。</p> <p>生活困窮者自立支援事業については、ニーズに応じた支援を計画的かつ継続的に行う。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
生活困窮者の自立支援							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)生活困窮者自立支援事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
生活保護制度の適正な運用							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 行旅死亡人等取扱事業					
		(評価対象外) 生活保護扶助事業					
		(評価対象外) ホームレス自立支援事業					
		(評価対象外) 中国残留邦人生活支援事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価 B
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり	

1 政策の概要

<p>健康で元気に暮らせる環境づくりを図るため、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、健康づくりの普及啓発や生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底を推進し、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた健康づくりの推進に努めるほか、感染症の発生予防、まん延防止に努めます。</p> <p>また、医療人材の確保や監視指導などによる医療機関等の適正な運営の確保とともに、市立病院の充実や、救急医療体制の確保に努め、市民が安心できる医療体制の充実を図ります。</p> <p>また、国民健康保険を始め、介護保険や後期高齢者医療などの社会保障制度の適切な運営に努めます。</p>
--

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
健康づくりの推進	54%	D
医療体制の充実	88%	A
社会保障制度の適切な運営	96%	A
平均	79%	B

3 政策の評価

<p>健康で元気に暮らせる環境づくりに向けて、3施策に取り組んだ。</p> <p>「健康づくりの推進」では、設定する3つの成果指標のうち、介護保険の要介護2～5の認定率において、目標を達成したものの、がん検診受診率及び内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）については、目標に届かなかった。</p> <p>「医療体制の充実」では、設定する3つの成果指標のうち、地域医療機関への逆紹介率について、平成30年9月に高松市立みんなの病院が移転したことに伴い、初診患者数が増加したことから、目標に届かなかったものの、他の2つの指標については、目標を達成又は概ね達成した。</p> <p>「社会保障制度の適切な運営」では、設定する3つの成果指標について、目標を概ね達成した。</p> <p>以上により、政策を構成する施策の平均得点率は79%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。</p>
--

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
健康づくりの推進	49.8%	11.3%	79.5%
医療体制の充実	46.8%	17.6%	85.9%
社会保障制度の適切な運営	26.1%	19.5%	79.9%
平均	40.9%	16.1%	81.8%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


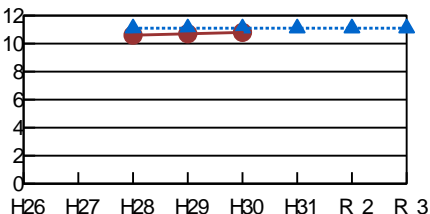
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価	D	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり				課・室名	保健センター
	施策	健康づくりの推進				電話番号	087-839-2363


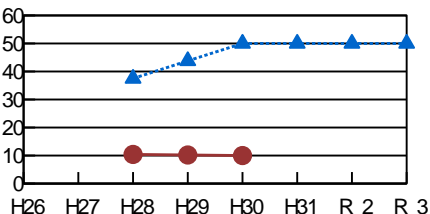
1 施策の目的


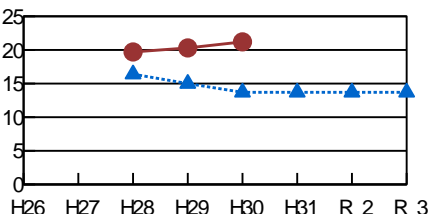
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
健やかで心豊かに生活できる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	介護保険の要介護2～5の認定率	%	10.6	10.7	10.8	11.1	11.1	 目標達成度 (達成度) 102.7% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	現時点では、目標値以上に達成できている状況である。引き続き、市民の健康づくりの取組を進め、更なる向上を目指していきたい。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	がん検診受診率	%	10.4	10.2	10	50	50	 目標達成度 (達成度) 20.0% 6点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	がん検診の対象者数算出方法の変更に伴い、受診率が低下しており、目標達成が困難な状況であるが、引き続き、がん検診の周知啓発に努めることにより、受診率の向上を目指していきたい。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	内臓脂肪症候群該当者出現率（国保ベース）	%	19.7	20.3	21.2	13.7	13.7	 目標達成度 (達成度) 45.3% 13点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	現時点では、目標値を達成できていない状況である。市民の健康づくりの取組を、一層、効果的に推進することなどにより、目標達成を目指していきたい。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	4位（44.6%）	4位（44.1%）	1位（49.8%）
不満度	39位（14.5%）	48位（10.8%）	44位（11.3%）
重要度	11位（76.4%）	10位（75.7%）	8位（79.5%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,761,197	1,745,825	1,756,632	1,898,166
人件費	485,192	472,670	474,894	474,894
トータルコスト	2,246,389	2,218,495	2,231,526	2,373,060

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
平成30年度に中間見直しを行った、市民の健康づくりの指針である「高松市健康都市推進ビジョン」に基づき、各種検診・健診の充実や食育の推進など、市民主体の健康づくりの取組を引き続き推進するとともに、これらの取組の周知・啓発に努め、市民の検診等の受診や事業への参加を促す必要がある。

施策推進の方向性
健康都市高松の実現に向け、乳幼児期から高齢期に至る、それぞれのライフステージに応じた心と体の健康づくりや食育の推進、予防接種事業等の感染症予防対策などの取組を通じて、市民の健康づくりへの意識を高めることなどにより、市民一人一人が健やかに暮らせる環境づくりを推進していく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) C		
生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病）対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		がん対策推進事業	41%	D	継続	がん検診受診率	20.0%
		健康づくり推進事業	78%	B	継続	健康教育の参加者数	75.0%
						健康相談の参加者数	82.4%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
予防接種の推進と感染症の発生予防、まん延防止							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 予防接種事業					
		(評価対象外) エイズ相談事業					
		(評価対象外) 感染症予防事業					
		(評価対象外) 結核予防事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善 (1/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		地域食育推進事業	91%	A	継続	食育に関心をもつ人の割合	92.8%
						伝達講習会参加者数	83.4%
		自殺対策推進事業	91%	A	継続	健康教育の参加者数	113.4%
						支援人数	83.3%
		地域保健推進事業	94%	A	継続	講演会等参加者数	199.3%
						講演会等参加者満足度	93.7%
		(評価対象外) 栄養改善指導事業					
		(評価対象外) 国民健康・栄養調査事業					
		(評価対象外) 保健統計調査事業					
		(評価対象外) 保健所管理運営事業					
		(評価対象外) 保健センター管理運営事業					
		保健活動事業	91%	A	継続	参加者の満足度	93.1%
		(評価対象外) 原爆被爆者健康診断事業					
		精神保健福祉普及啓発・相談事業	97%	A	継続	啓発事業・家族教室の参加者数	115.7%
		精神障害者社会復帰支援事業	77%	B	継続	デイケア参加者延べ数	73.9%
		難病患者地域支援ネットワーク事業	97%	A	継続	事業参加者満足度	102.2%
		(評価対象外) ほっとぴあん運営事業					
		8020(歯科保健)推進事業	94%	A	継続	幼児歯科健康診査受診者数	180.6%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善 (2/2)					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		骨髄等移植ドナー支援事業	100%	A	継続		

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


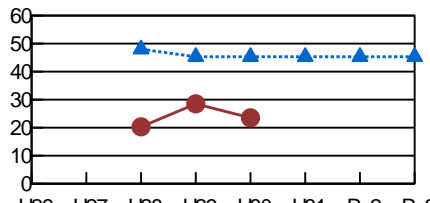
総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価	A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり				課・室名	地域医療対策室
	施策	医療体制の充実				電話番号	087-839-3805


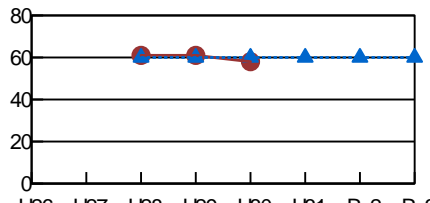
1 施策の目的


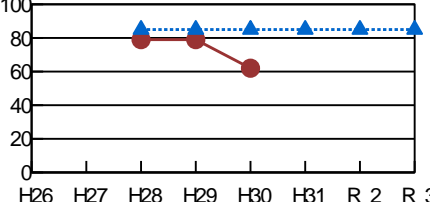
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
安定した医療供給体制を整えることにより、市民が安心して暮らすことができる環境づくりを目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	立入検査違反率	%	20.3	28.5	23.5	45.3	40.1	 目標達成度 (達成度) 148.1% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
平成30年度の立入検査件数は132件で、違反施設数は31件であった。29年度と比較して違反率は減少し、目標を達成することができている。違反施設に関しては、改善計画書の提出を求め、適正な管理となるよう努めた。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	地域医療機関からの紹介率	%	61	61	58	60	60	 目標達成度 (達成度) 96.7% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
地域医療支援病院として、地域医療機関への訪問や地域医療連携カンファレンス、セミナー等の症例検討会を通して、顔の見える関係を築き、スムーズな連携・受入れを行った。30年9月仏生山町への病院移転に伴う入院調整により、前年度実績をやや下回ったものの、移転を機に順調に回復している。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	地域医療機関への逆紹介率	%	79	79	62	85	85	 目標達成度 (達成度) 72.9% 21点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
後方支援病院として、かかりつけ医を推奨していることから入退院のスムーズな連携に取り組んでいる。30年9月仏生山町への病院移転に伴う入院調整により、7、8月は著しく伸びたが、9月を境に初診患者数が増加したことで逆紹介率は前年より17ポイント下がっている。								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	5位 (42.4%)	5位 (42.7%)	3位 (46.8%)
不満度	16位 (20.4%)	29位 (17.3%)	23位 (17.6%)
重要度	1位 (84.1%)	1位 (84.0%)	1位 (85.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	6,682,918	17,180,019	14,818,181	6,752,882
人件費	4,031,300	4,125,423	4,370,508	4,565,826
トータルコスト	10,714,218	21,305,442	19,188,689	11,318,708

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【健康福祉局】医療現場においては、地域間・診療科間における医師の偏在等による医師不足や専門診療科不足が深刻であり、医師の確保や地域医療等の充実が必要である。また、災害時医療救護体制の整備を更に進めるため、災害時医療救護活動マニュアルを踏まえ、地域災害医療対策会議を設置するとともに、災害医療コーディネーターを委嘱する必要がある。</p> <p>【病院局】新規患者の更なる獲得を図るとともに、可能な限り経費圧縮に努め、病院事業の健全経営に取り組む必要がある。また、附属医療施設については、できる限り早期に開院する必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>【健康福祉局】地域医療や救急医療体制を確保するため、地域間・診療科間の医師偏在を解消するなど、国・県主導の下、関係機関と連携しながら医師の確保に努める必要がある。また、災害時医療救護体制については、地域災害医療対策会議や災害医療コーディネーターと連携しながら、災害時医療救護活動マニュアルに沿った実践的な訓練・研修に取り組む必要がある。</p> <p>【病院局】「第3次高松市病院事業経営健全化計画」に基づき、引き続き、救急患者の積極的な受け入れや、がん医療に重点的に取り組むなど、良質な医療の提供と経営の健全化に取り組む必要がある。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
市立病院の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(企業会計)新病院(附属医療施設を含む)整備事業	97%	A	継続	全事業期間における進捗率	107.3%
		(企業会計)高松市立病院運営事業	100%	A	継続		
		寄附講座開設事業	76%	B	継続	大学からの医学生受入数	525.0%
						地域医療に関する講演会開催数	33.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
地域医療体制の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		医療安全推進事業	97%	A	継続	相談者の納得度「納得した」の割合	146.2%
		(評価対象外)薬事監視指導事業					
		看護師養成所運営補助事業	95%	A	継続	養成所卒業生の資格取得率	98.0%
		産科医等確保支援事業	87%	A	継続	該当施設における産科医及び助産師の従事人数	87.0%
		災害時医療救護事業	97%	A	継続	備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合	100.0%
						医療救護活動の実施率	100.0%
基本事業名					(総合評価) A		
救急医療体制の確保							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		在宅当番医制等事業	97%	A	継続	休日における休日当番医の開設稼働率	100.0%
						市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	111.2%
		歯科救急医療センター休日・夜間救急歯科診療事業運営補助事業	97%	A	継続	休日・夜間における救急歯科診療の開設稼働率	100.0%
						市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	111.2%
		(評価対象外)夜間急病診療所運営事業					
		病院群輪番制運営補助事業	97%	A	継続	夜間における輪番病院の開設稼働率	100.0%
						市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	111.2%
		(評価対象外)離島救急患者輸送事業					
		病院群輪番制病院設備整備費補助事業	97%	A	継続	夜間における輪番病院の開設稼働率	100.0%
						市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	111.2%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	総合評価 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり			課・室名	国保・高齢者医療課
	施策	社会保障制度の適切な運営			電話番号	087-839-2311


1 施策の目的


対象（誰、何を対象としているか）
市民（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険及び国民年金制度の各事業の対象者）

意図（どのような状態にしたいのか）
市民が健やかにいきいきと暮らせるよう、安心して医療・介護・年金を受けることができる社会保障制度を適切に運営する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	国民健康保険の被保険者1人当たりの保険給付費	円	335,817	357,950	369,981	394,750	427,000	 目標達成度 (達成度) 99.4% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	医療費通知、特定健康診査等の保健事業に積極的に取り組み、保険給付費の上昇抑制を図ったものの、一人当たりの保険給付費は上昇する結果となり、目標の達成には至らなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	介護保険サービス利用率	%	83.1	83.6	83.3	83.6	84.2	 目標達成度 (達成度) 99.6% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	適切な介護サービスの利用について助言や指導などを行い、適正に管理することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	1人当たり介護サービス費用額	円	143,799	147,902	148,693	146,799	146,900	 目標達成度 (達成度) 98.7% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	介護予防の推進やケアマネジャー及び事業所への指導・助言を行うなど、給付費の適正化を図ったものの、医療系サービスの利用者の増加のほか、報酬改定の影響もあり、一人当たり介護サービス費用額は上昇する結果となり、目標の達成には至らなかった。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	18位 (27.2%)	24位 (24.3%)	25位 (26.1%)
不満度	17位 (20.1%)	20位 (20.5%)	18位 (19.5%)
重要度	10位 (76.9%)	10位 (75.7%)	5位 (79.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	106,937,326	106,516,499	103,430,331	106,362,068
人件費	828,673	815,982	835,223	835,223
トータルコスト	107,765,999	107,332,481	104,265,554	107,197,291

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【健康福祉局】国民健康保険・介護保険の被保険者一人当たりの保険給付費を抑制するため、生活習慣病予防の取組や重症化予防、介護予防の取組とともに、地域包括ケアシステムの構築による在宅医療・介護連携を推進する必要がある。後期高齢者の急増に伴い、介護給付費が増嵩する中、介護保険料収納率の向上や、適正な保険給付が課題となっている。また、公正かつ的確な要介護（要支援）認定のほか、介護サービスの質の向上を始め、見込量の適切な把握とともに、これを充足する介護サービス提供体制を確保する。</p> <p>【市民政策局】国民年金制度について、更に積極的な周知・啓発に努める必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>【健康福祉局】国民健康保険料の賦課・徴収及び保険給付事務の適正な執行により、国民健康保険事業の適切な運営を図るほか、後期高齢者医療制度の適正な運営の支援を行う。また、介護保険制度の安定的な運営を図るため、介護保険料の賦課・徴収、保険給付事務や要介護（要支援）認定を適正に行うとともに、サービスの質の向上を図ることにより、介護や支援を必要とする高齢者が、適切かつ効果的に介護サービスを利用できるようにする。</p> <p>【市民政策局】国民年金制度について広報たかまつ等を通じて周知するなど、市民の年金受給権の確保に努める。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
国民年金制度の適切な運営							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 国民年金事務					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
介護保険事業の適切な運営							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 介護給付等費用適正化等事業(地域支援任意事業)					
		(評価対象外) 介護保険運営事業					
		(評価対象外) 介護保険給付事業					
		(評価対象外) 介護保険認定事業					
基本事業名					(総合評価)		
国民健康保険事業及び後期高齢者医療事業の適切な運営							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 国民健康保険運営事業					
		(評価対象外) 国民健康保険給付事業					
		(評価対象外) 国民健康保険直営診療施設運営事業					
		国民健康保険保健事業	98%	A	継続	一人当たりの保険給付費の上昇抑制	99.4%
		(評価対象外) 国民健康保険料収納事業					
		(評価対象外) 後期高齢者医療事業					

2 心豊かで未来を築く人を育むまち

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 B
	政策	男女共同参画社会の形成	

1 政策の概要

男女共同参画社会の形成を図るため、社会のあらゆる分野の政策・方針決定過程への女性の参画拡大を促進するとともに、基本的人権としての男女平等の実現に向けた取組を着実に推進します。

また、長時間労働の是正等による働き方改革を進め、仕事と家庭を両立できる環境を整備することなどにより、女性の活躍とワーク・ライフ・バランスを推進し、男女が共に、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
男女共同参画の推進	75%	B
平均	75%	B

3 政策の評価

男女共同参画社会の形成に向けて、1施策に取り組んだ。

「男女共同参画の推進」では、設定する3つの成果指標のうち、事業所における女性従業員の割合及び男性の育児休業者がいた事業所の割合については、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は75%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
男女共同参画の推進	14.0%	14.2%	54.1%
平均	14.0%	14.2%	54.1%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


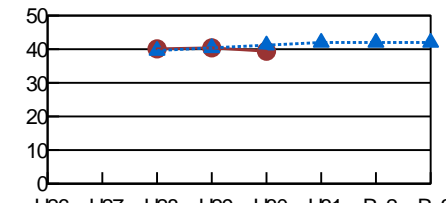
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価	B	評価担当	局名	市民政策局
	政策	男女共同参画社会の形成				課・室名	男女共同参画・協働推進課
	施策	男女共同参画の推進				電話番号	839-2275


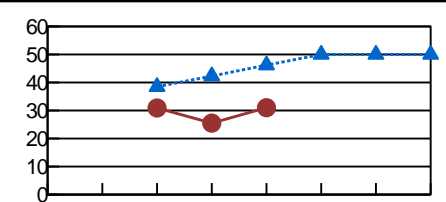
1 施策の目的


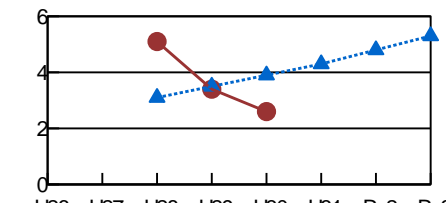
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
男女共同参画社会を形成するため、男女共同参画市民フェスティバルなど、様々な機会を通じて意識啓発を図るとともに、男女共同参画センターを市民の活動拠点として、家庭や職場など、あらゆる分野への参画の促進や、共に豊かで安心できる生活・環境づくりを推進し、男女共同参画の社会づくりを進める。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	審議会等における女性委員の割合	%	40.1	40.4	39.4	42	44	 目標達成度 (達成度) 95.6% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度における目標数値は達成できなかった。今後とも、高松市における審議会等委員への女性の登用推進要綱等に基づき、女性委員の割合拡大を推進する必要がある。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	事業所における女性従業員の割合	%	30.9	25.5	31	50	50	 目標達成度 (達成度) 67.1% 20点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度調査において、目標達成状況としては7割程度であるが、今後とも意識啓発に努め、女性が継続して就労できる環境づくりや職域を拡大していく必要がある。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	男性の育児休業者がいた事業所の割合	%	5.1	3.4	2.6	4.8	6.3	 目標達成度 (達成度) 66.7% 20点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度調査において、目標達成状況としては7割程度である。今後とも男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う必要がある。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	56位 (14.0%)	57位 (11.5%)	56位 (14.0%)
不満度	33位 (15.4%)	36位 (14.4%)	35位 (14.2%)
重要度	51位 (48.4%)	45位 (54.1%)	50位 (54.1%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	43,222	41,573	42,163	44,801
人件費	15,702	17,829	28,736	28,736
トータルコスト	58,924	59,402	70,899	73,537

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】女性の活躍推進や子育て世代の女性の就労環境など、経済情勢や新たな社会問題から生じる課題に対応するため、男女共同参画への更なる意識啓発が必要である。【健康福祉局】配偶者等からの暴力（DV）を受けた被害者を始め、離婚問題や生活困窮等さまざまな悩みを抱える女性に対し、自立に向けた支援が必要であり、女性相談業務の専門性の向上や関係機関との連携強化等、更なる支援体制の充実を図ることが必要である。【教育局】社会情勢の変動等に伴い、多様化する女性の価値観やニーズを的確に把握して、時代に即応した講座の実施が求められている。</p>

施策推進の方向性
<p>男女共同参画社会の形成に向け、これまでの取組を継承しつつ、「第4次たかまつ男女共同参画プラン」において取り組むこととしている各種啓発活動や相談事業などについて、市民参画の手法を用いながら、総合的・計画的に実施する。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
男女共同参画の意識づくり							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		男女共同参画社会推進事業	91%	A	継続	事業に対する満足度（アンケートなど）	95.9%
						講演会等の参加人数	90.0%
		(評価対象外) 男女共同参画センター管理運営事業					
		女性教育推進事業	84%	B	統合	受講延べ人数	87.2%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					（総合評価） A		
女性の活躍とワーク・ライフ・バランスの推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		女性団体育成事業	83%	B	継続	地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合	68.7%
						団体活動回数	125.0%
		(評価対象外)女性相談事業					
		女性の活躍促進事業	79%	B	継続	管理職に占める女性の割合が30%以上である事業所の割合	50.0%
						本市の支援を受けて策定された一般事業主行動計画の数	100.0%
		女性の就労相談事業	97%	A	継続	女性の就労相談窓口利用者のうち就業につながった人数	166.7%
						女性の就労相談件数	167.5%
基本事業名							
基本事業名					（総合評価）		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実	

1 政策の概要

社会を生き抜く力を育む教育の充実を図るため、次代を担う青少年が、心豊かにたくましく育つよう、基礎・基本を身につける確かな学力の育成や豊かな心と体を育てる教育の推進など、学校教育の充実を図るとともに、学校教育施設の整備や教育機能と就学支援の充実などの学校教育環境の整備、大学等高等教育の充実に努めます。
また、家庭及び地域の教育力の向上を図るとともに、青少年の健全育成や、子どもの安全確保対策を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

学校教育の充実	得点率	評価
学校教育の充実	100%	A
学校教育環境の整備	90%	A
子どもの安全確保	100%	A
青少年の健全育成	100%	A
家庭・地域の教育力の向上	75%	B
大学等高等教育の充実	100%	A
平均	94%	A

3 政策の評価

社会を生き抜く力を育む教育の充実に向けて、6施策に取り組んだ。
「学校教育の充実」、「子どもの安全確保」、「青少年の健全育成」及び「大学等高等教育の充実」の4施策では、設定する8つの成果指標について、目標を達成した。
「学校教育環境の整備」では、設定する2つの成果指標のうち、教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
「家庭・地域の教育力の向上」では、設定する2つの成果指標のうち、地域交流事業を実施している割合において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は94%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
学校教育の充実	22.0%	20.7%	71.0%
学校教育環境の整備	31.8%	10.7%	72.3%
子どもの安全確保	39.7%	13.9%	81.4%
青少年の健全育成	19.8%	14.2%	69.1%
家庭・地域の教育力の向上	22.7%	13.0%	66.2%
大学等高等教育の充実	14.5%	16.8%	54.9%
平均	25.1%	14.9%	69.2%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


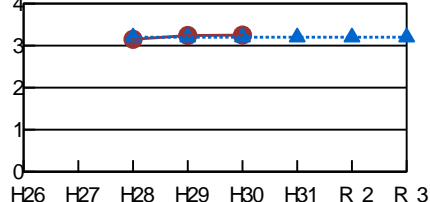
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課・室名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616


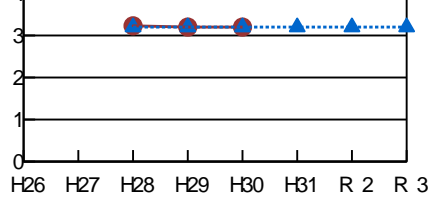
1 施策の目的

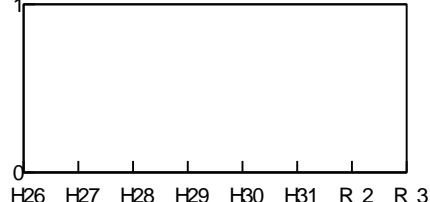
対象（誰、何を対象としているか）
高松の子どもたち（児童生徒）、学校、家庭及び地域

意図（どのような状態にしたいのか）
教員の資質の向上と教育指導体制の充実を図り、高松の子どもたちの確かな学力、豊かな心と体を育成するとともに、学校・家庭・地域が、その役割を十分に担い相互に連携して学校教育を充実させる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	学校評価平均評価得点（確かな学力の育成に関すること）	点	3.15	3.24	3.25	3.2	3.5	 目標達成度 (達成度) 101.6% 30点
	成果状況 / 達成度評価 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や総合的な学力向上を図るため、学習指導要領の趣旨に沿った教育課程の編成や少人数学級編制の推進、学校ニーズに応じた特別支援教育支援員、英語指導補助員等を配置するなど、きめ細かな指導に取り組んだ。	成果状況の推移						

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	学校評価平均評価得点（体力・運動能力の育成に関すること）	点	3.23	3.2	3.2	3.2	3.5	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価 家庭や地域と連携して、体力の向上、食育の推進と心身の健康づくり等に取り組み、豊かな心と体を育てる教育の推進を図ることにより目標は達成できた。	成果状況の推移						

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価	成果状況の推移						

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	32位（22.7%）	44位（17.6%）	34位（22.0%）
不満度	22位（19.0%）	18位（21.4%）	15位（20.7%）
重要度	15位（74.1%）	15位（74.1%）	24位（71.0%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,852,730	1,834,119	1,897,096	1,865,875
人件費	892,894	869,698	909,179	894,055
トータルコスト	2,745,624	2,703,817	2,806,275	2,759,930

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>本施策については、日々教育活動を充実していくことが重要であり、また、子どもの健全育成のために、地域や家庭の教育力の向上を支援する取組の充実、また、確かな学力の定着と個性と創造性を伸ばす教育を更に進めるため、わかりやすい授業の創造や授業内容を向上させる具体的な取組が課題として挙げられる。</p>

施策推進の方向性
<p>学校・家庭・地域の連携を基本に子どもの健全な育成を推進するとともに、教育環境の変化に対応した特色ある教育内容・方法の開発、学校図書館の充実などの学習環境を整備し、学校教育の充実を図る。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
教員の資質向上と教育指導体制の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)教職員能力向上事業					
		教育に関する調査研究推進事業	90%	A	継続	調査研究発表大会等参加人数(平成29から教育フォーラムに変更)	95.6%
		研究指定校研究推進事業	100%	A	継続	研究指定校等事業の成果を生かしている学校数の割合	118.2%
		高等学校教育研究研修事業	94%	A	継続	国公立大学の合格率	111.4%
		特別支援教育体制整備推進事業	97%	A	継続	相談希望校等への相談訪問率	100.0%
		高松型学校・地域連携システム推進事業	100%	A	継続	高松型学校・地域連携システム組織結成割合	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
確かな学力の育成							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		特別支援教育推進事業	100%	A	継続	特別支援教育支援員配置率	100.0%
		少人数学級推進事業	97%	A	継続	少人数学級市費講師配置率	100.0%
						高松市独自の少人数学級編制校数	100.0%
		帰国児童等指導援助事業	75%	B	継続	帰国児童等の学校生活への適応率	70.0%
		総合的な学習の時間活性化推進事業	100%	A	継続	総合的な学習の時間における地域人材活用率	100.0%
		(評価対象外)教材整備事業					
		教材研究等事業	97%	A	継続	高松市立小中学校教員への配布率	100.0%
		教育相談・就学指導委員会開催事業	97%	A	継続	就学指導委員会判定率	100.0%
		教育研究研修事業	85%	B	継続	高松生徒みらい議会参加者数	83.3%
		英語教育推進事業	100%	A	継続	外国語指導助手(ALT)配置率	100.0%
						英語指導補助員1人当たり派遣時間数	100.0%
		児童生徒副読本支給事業	97%	A	縮小	児童生徒副読本配布率	100.0%
		高等学校英語教育推進事業	85%	B	継続	国際文科コース卒業生の国公立大学合格者数	84.0%
		(評価対象外)学校教育管理事業					
		高等学校教材研究等事業	97%	A	継続	国公立大学の合格率	111.4%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
豊かな心と体を育てる教育の推進 (1/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高等学校カウンセラー配置事業	66%	C	継続	全校生徒に対する相談件数の率	61.2%
		小中一貫・連携教育推進事業	100%	A	継続	「英語」・「高松みらい」の授業についてのアンケート支持率	116.3%
		学校図書館活性化推進事業	100%	A	継続	児童1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	112.2%
						生徒1人当たりの学校図書館図書の貸出冊数	125.8%
		不登校対策事業	65%	C	継続	適応指導教室通室児童生徒の学校復帰率	55.0%
		教育文化振興事業	100%	A	継続	展覧会の作品点数	100.1%
		環境教育推進事業	62%	C	縮小	子ども環境学習交流会参加者数	46.5%
		児童生徒指導推進事業	93%	A	継続	小学校における暴力行為の発生件数	80.0%
						中学校における暴力行為の発生件数	175.0%
		(評価対象外) 給食調理場管理運営事業					
		(評価対象外) 日本スポーツ振興センター負担金事業					
		学校給食推進事業	95%	A	継続	研修参加率	97.9%
		(評価対象外) 学校給食共同調理事業					
		(評価対象外) 共同調理給食運搬事業					
		生徒等健康診断事業	97%	A	継続	二次検診の受診率	106.3%
		高松市学校給食会補助事業	97%	A	継続	給食実施延べ食数	101.6%
		(評価対象外) 給食センター管理運営事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
豊かな心と体を育てる教育の推進 (2/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		学校体育推進事業	97%	A	継続	全国調査において本市平均が全国平均を上回るか同等の項目	114.3%
		いじめ等対策事業	100%	A	継続	小学校におけるいじめ、不登校等に関する相談件数	105.5%
		(評価対象外)教育委員会事務					
		(評価対象外)学校保健推進事業					
		学校教育における食育推進事業	94%	A	継続	学校給食における県産食材使用率	92.6%
						食育セミナー開催回数	100.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


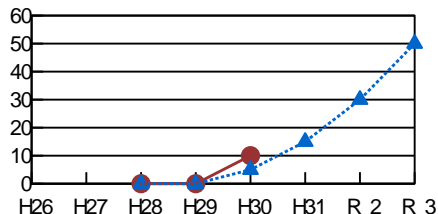
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課・室名	教育局総務課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2611


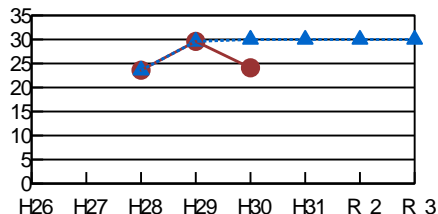
1 施策の目的

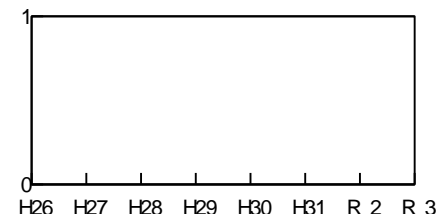
対象（誰、何を対象としているか）
市立小・中学校、高松第一高等学校の児童及び生徒

意図（どのような状態にしたいのか）
子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	学校施設長寿命化整備の進捗率	%	0	0	10	30	100	 目標達成度 (達成度) 200.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	計画的かつ効率的な老朽化対策を行うため、中・長期的視点に立った、学校施設長寿命化計画を策定した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	教育用PCのうち、タブレット端末の配置割合	%	23.6	29.6	24.1	30	50	 目標達成度 (達成度) 80.3% 24点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度PC更新機器450台のうち、タブレットPCに変更したものはなかったため、全体としての配置割合が24.1%となった。これは平成30年度から電子黒板の整備を進めており、それとセットでノートPCを配置する必要があることから、ノートPCを増台したため、タブレットPCの割合が低下した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	18位 (27.2%)	13位 (29.0%)	12位 (31.8%)
不満度	40位 (13.0%)	41位 (13.1%)	50位 (10.7%)
重要度	24位 (68.8%)	15位 (74.1%)	20位 (72.3%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	4,851,746	9,971,768	6,092,814	5,690,257
人件費	135,037	171,466	196,612	198,124
トータルコスト	4,986,783	10,143,234	6,289,426	5,888,381

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>今後、学校施設の老朽化がさらに進行し、学校施設の改修・改築の需要が集中することが想定される中、施設の老朽化対策は喫緊の課題であり、計画的に実施する必要がある。</p> <p>機器更新年度に合わせ、必要に応じてタブレットPCへの更新を実施していく中で、技術革新、ICT教育環境の急激な変化を見極めながら、最適な機器選定を行っていく必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>「高松市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ効果的な老朽化対策に取り組む。</p> <p>情報技術の進歩状況と平成30年度に作成した「高松市ICT教育推進計画」に基づき、今後、教育用PCのタブレット端末への変更ではなく、PC教室のパソコンのタブレット化を推進していく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
教育機能と就学支援の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)教育情報通信ネットワークシステム(TENS)管理運営事業					
		(評価対象外)就学奨励事業					
		遠距離児童・生徒等通学費助成事業	97%	A	継続	通学費補助率	100.0%
		(評価対象外)学校図書館図書整備事業					
		教育資金支援事業	97%	A	継続	高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率	100.0%
		(評価対象外)高等学校図書整備事業					
		教育ICT整備・活用推進事業	94%	A	拡充	ICTを活用した授業を分かりやすいと回答した割合	92.9%
						教員の授業でのICT活用率	147.5%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
学校教育施設の整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		小・中学校校舎等増・改築事業	100%	A	継続	増改築完了率	100.0%
		学校施設緑化事業	82%	B	改善継続	校庭の芝生化進捗率(全11校)	100.0%
		小学校管理運営事業	100%	A	継続	非常勤講師配置率	100.0%
		小学校校舎等整備事業	72%	B	継続	校舎等外壁改修の進捗率	69.7%
		中学校校舎等整備事業	66%	C	継続	校舎等外壁改修の進捗率	62.2%
		中学校管理運営事業	100%	A	継続	非常勤講師配置率	100.0%
		(評価対象外)高等学校管理運営事業					
		給食センター整備事業	88%	A	拡充	ドライ施設として整備した調理場から給食が提供される学校の比率	100.0%
						新設第二学校給食センター(仮称)整備進捗率	68.2%
		高松第一高等学校校舎等改築事業	97%	A	継続	改築事業の進捗率	100.0%
		小・中学校施設老朽化対策事業	97%	A	継続	老朽化対策進捗率	200.0%
		小・中学校トイレ整備事業	100%	A	継続	トイレ改修完了率	100.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


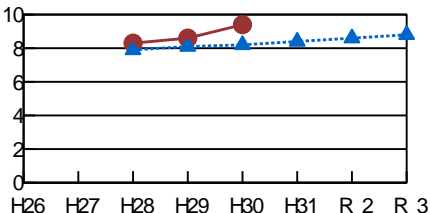
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実			課・室名	少年育成センター
	施策	子どもの安全確保			電話番号	087-839-2635


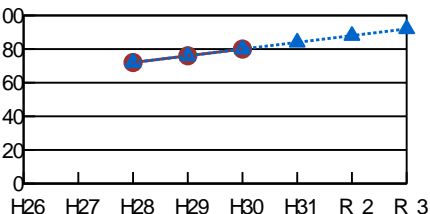
1 施策の目的

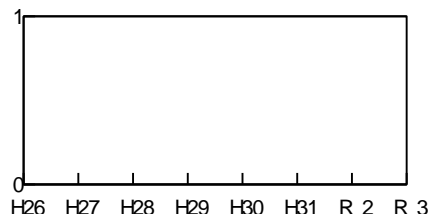
対象（誰、何を対象としているか）
児童生徒及び関係機関・団体

意図（どのような状態にしたいのか）
児童生徒を事件や事故、犯罪から守るための安全対策を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	件	8.3	8.6	9.4	8.6	9.1	 目標達成度 (達成度) 114.6% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	関係団体等の会合の場において、不審者情報メール配信の内容や登録について説明し、配信先の拡大に努めた結果、目標を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	通学路合同点検計画における達成率	%	72	76	80	88	100	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	「高松市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った結果、目標を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	7位 (36.5%)	6位 (35.8%)	6位 (39.7%)
不満度	31位 (15.6%)	32位 (16.5%)	37位 (13.9%)
重要度	3位 (81.8%)	2位 (84.0%)	4位 (81.4%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	4,469	4,464	4,283	4,284
人件費	15,702	15,174	15,124	15,124
トータルコスト	20,171	19,638	19,407	19,408

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>スクールガード・リーダーの人員確保やメール配信先の拡充、さらには、学校における相談体制の充実や安全教育の推進など、安全対策強化への取組が必要である。</p>

施策推進の方向性
<p>地域ぐるみで子どもを見守り育てる活動を推進するため、学校、家庭、地域、関係機関等がより一層、連携、協力して安全対策に取り組むことが求められている。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
子どもの安全対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		子どもの安全確保活動事業	100%	A	継続	子ども人口千人当たりの不審者情報メール配信先件数	114.0%
		学校安全対策事業	100%	A	継続	学校安全対策事業実施割合	100.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


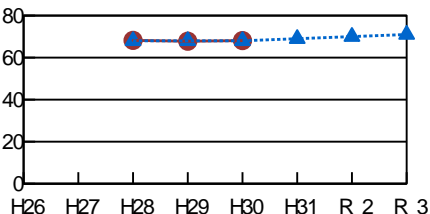
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課・室名	生涯学習課
	施策	青少年の健全育成		電話番号	087-839-2633


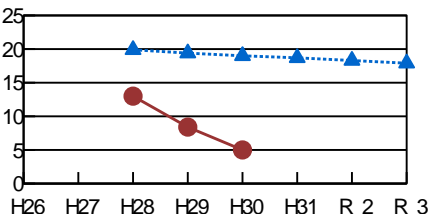
1 施策の目的

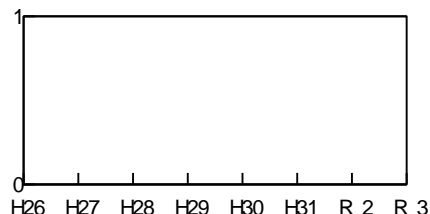
対象（誰、何を対象としているか）
市内の青少年

意図（どのような状態にしたいのか）
子どもたちの創造性や積極性、社会性を養い、心豊かな人間の育成を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	子ども会加入率	%	68.2	67.8	68.1	70	73	 目標達成度 (達成度) 100.1% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	あらゆる機会を捉えて子ども会加入促進を図った結果、目標の68%を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	少年人口千人当たりの補導人数	人	13	8.4	5	18.3	17.1	 目標達成度 (達成度) 173.7% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	学校及び関係機関・団体等との連携を密にするとともに、より効果的に温かい巡視・補導活動に努めた結果、目標を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	39位 (20.3%)	38位 (18.5%)	42位 (19.8%)
不満度	38位 (14.6%)	40位 (13.4%)	35位 (14.2%)
重要度	30位 (65.4%)	27位 (67.4%)	27位 (69.1%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	45,255	40,020	39,279	38,406
人件費	42,395	46,281	47,641	47,641
トータルコスト	87,650	86,301	86,920	86,047

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
地域、学校、関係機関などとの多面的かつ緊密な連携強化が必要である。

施策推進の方向性
引き続き、補導活動や情報モラル教育の推進により、非行やネットトラブルの未然防止に努めるとともに、地域での体験活動に取り組む機会を設定するなど、地域ぐるみで子どもを見守り育てる体制の構築とともに、心豊かでたくましい子どもの育成を図る。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
青少年健全育成の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		非行防止活動事業	100%	A	継続	少年人口千人当たりの補導人数	173.7%
						児童の情報モラルについての理解度	102.7%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
子どもの体験活動の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		社会教育団体育成支援事業	86%	A	継続	社会教育団体1団体当たりの平均年間主催事業数	89.3%
		成人式式典事業	84%	B	継続	成人式参加率	86.2%
		少年教育推進事業	88%	A	継続	共催(主催を含む。)事業における子ども(3~12歳)の参加率	93.6%
		青年教育推進事業	60%	C	継続	高松市青年連絡協議会の活動に参加した会員の延人数	62.8%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


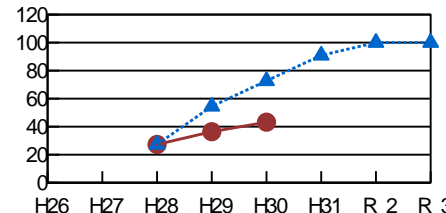
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価	B	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実				課・室名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上				電話番号	087-839-2633


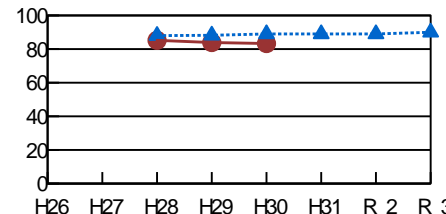
1 施策の目的

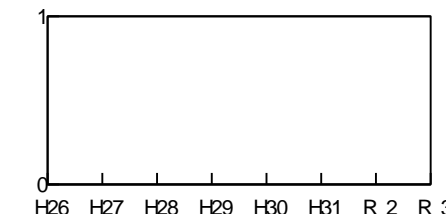
対象（誰、何を対象としているか）
市民（家族に子どもがいる家庭、地域住民）

意図（どのような状態にしたいのか）
学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもの健やかな成長を促す教育力が向上することを目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	地域交流事業を実施している割合	%	27.3	36.4	43.2	100	100	 目標達成度 (達成度) 59.4% 17点
	成果状況 / 達成度評価 地域交流事業を実施した地域は、平成30年度3地域増加し、19地域となったが、目標は達成できなかった。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	朝ごはん摂取率	%	85.2	83.9	83.3	89	91	 目標達成度 (達成度) 93.6% 28点
	成果状況 / 達成度評価 早寝早起き朝ごはん運動の啓発をしているが、全国学力学習状況調査において、朝ごはんを毎日摂取している小学6年生の割合は、ここ数年間減少傾向であり、目標には達しなかった。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移 					

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	37位 (20.6%)	34位 (20.7%)	30位 (22.7%)
不満度	27位 (17.3%)	30位 (17.2%)	40位 (13.0%)
重要度	22位 (68.9%)	20位 (70.6%)	30位 (66.2%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	5,001	4,445	2,820	3,106
人件費	13,347	12,139	12,855	12,855
トータルコスト	18,348	16,584	15,675	15,961

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
真に家庭教育の啓蒙・啓発が必要な保護者に対する、継続的なアプローチの方策を講じるほか、地域、学校、関係団体、家庭などとの多面的連携の強化を図る必要がある。

施策推進の方向性
現行事業の実施・拡充だけでなく、社会における環境変化や市民ニーズを的確に把握し、家庭と地域の教育力の向上に最も効果的な事業展開を目指す。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
家庭及び地域の教育力向上の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業	92%	A	継続	朝食を食べる小学6年生の比率	97.3%
		家庭教育推進事業	94%	A	継続	講座の開催数	117.1%
		子どもを中心とした地域交流事業	94%	A	改善継続	地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数	114.6%
						地域交流事業に参加した保護者の累計人数	132.8%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


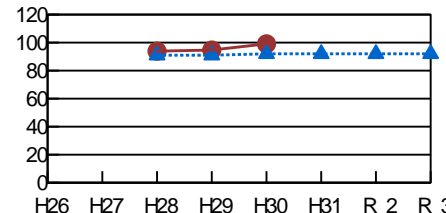
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実			課・室名	政策課
	施策	大学等高等教育の充実			電話番号	087-839-2135


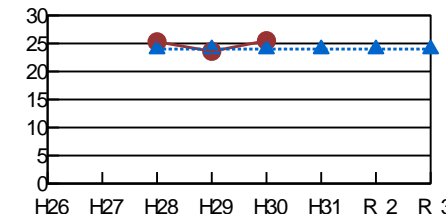
1 施策の目的

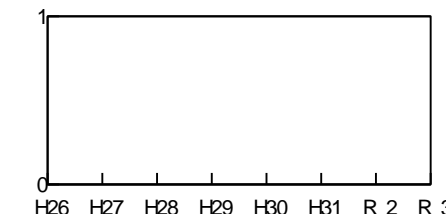
対象（誰、何を対象としているか）
大学等高等教育機関への進学者 大学等高等教育機関の在学者 大学等の高等教育機関

意図（どのような状態にしたいのか）
高等学校卒業後の人材の流出を抑制し、本市への定着化を図るため、郷土愛を醸成するとともに、高等教育機関の充実と教育環境の整備を図り、市内及び近隣の高等教育機関への進学者を増加させる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	包括協定を結んでいる大学等の学生・生徒の充足率	%	93.9	94.7	99.1	92	93	 目標達成度 (達成度) 107.7% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移 					
総定員2,571人に対し、2,548人が入学し、充足率について、目標を達成した。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	包括協定を結んでいる大学等入学生の市内出身者割合	%	25.3	23.6	25.5	24	25	 目標達成度 (達成度) 106.3% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移 					
市内出身の入学者数が増加し、目標を達成した。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移 					

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	60位（12.4%）	53位（14.9%）	54位（14.5%）
不満度	24位（18.6%）	21位（19.8%）	26位（16.8%）
重要度	41位（56.8%）	39位（57.5%）	48位（54.9%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,671	1,176	597	828
人件費	2,355	5,311	4,537	4,537
トータルコスト	4,026	6,487	5,134	5,365

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
本市が行っている大学等との連携が、高等教育の充実に対して、より効果的なものとなるよう、検討する必要がある。

施策推進の方向性
大学等との連携事業の充実を図るほか、取組効果の情報発信をするとともに、地元大学等の地域への貢献やその必要性を市民に周知する機会を増加させる。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
大学等の魅力向上への取組							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		大学等連携による地域の魅力発信事業	97%	A	改善継続	大学等との連携・協力事業数	115.9%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成	

1 政策の概要

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成を図るため、生涯学習センターを始めとした学習機会の充実や学習施設・機能の充実により、生涯学習を推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
生涯学習の推進	88%	A
平均	88%	A

3 政策の評価

心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成に向けて、1施策に取り組んだ。
 「生涯学習の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、市民1人当たりの図書館図書貸出冊数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。
 以上により、政策を構成する施策の平均得点率は88%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
生涯学習の推進	28.2%	14.8%	57.6%
平均	28.2%	14.8%	57.6%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


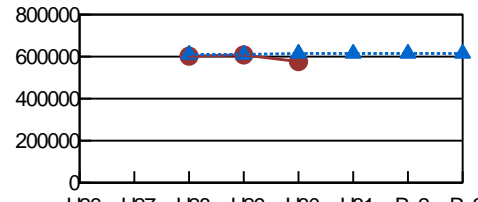
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価	A	局名	教育局
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成			課・室名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進			電話番号	087-811-6222


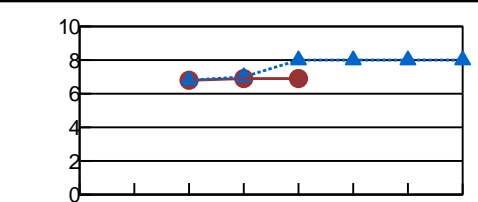
1 施策の目的

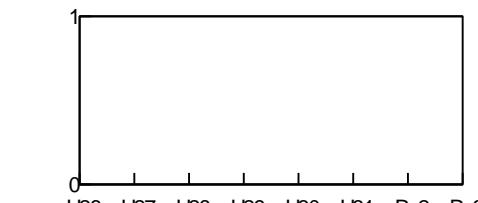
対象（誰、何を対象としているか）
高松市民

意図（どのような状態にしたいのか）
心豊かな生涯学習の形成を図るため、学習機会の拡充や、学びの場の充実と活用により生涯にわたって学習することができる環境を整える。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	まなびCAN及びコミュニティセンターの講座の参加者数等	人	602,195	607,978	576,220	615,000	637,000	 目標達成度 (達成度) 93.7% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	主に、まなびCANにおける多目的ホールの天井工事の影響により講座数が減少したこと、また、コミュニティセンターの講座数が減少したことから、目標を達成できていない。個々の講座等について問題を洗い出し、さらなる内容の充実を図る必要がある。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市民1人当たりの図書館図書貸出冊数	冊	6.8	6.9	6.9	8	8.2	 目標達成度 (達成度) 86.3% 25点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	中学生ビブリオバトル大会の初開催や、ビジネス支援コーナーの充実など、利用者層の拡大に努めたものの、貸出冊数は微増にとどまった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	17位 (27.5%)	11位 (30.3%)	20位 (28.2%)
不満度	30位 (15.8%)	34位 (14.9%)	33位 (14.8%)
重要度	46位 (54.4%)	42位 (56.3%)	43位 (57.6%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	479,236	453,379	529,610	438,167
人件費	296,768	285,271	292,649	271,854
トータルコスト	776,004	738,650	822,259	710,021

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
生涯学習センターやコミュニティセンターで実施する講座の開催回数や内容を精査し、地域における生涯学習の推進を図るとともに、より実践的・効果的なものとする必要がある。 また、図書館で実施する各種行事等の情報発信を強化し、来館者数や図書貸出冊数の増加を図る必要がある。

施策推進の方向性
講座の回数や内容を精査し、改善を加えながら、地域における生涯学習の推進を継続し実施していく。 図書館においては、蔵書の充実など、サービスの向上に努め、市民の読書意欲・学習ニーズ等に応えていく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
学習機会の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高齢者教育推進事業	79%	B	継続	受講延べ人数	75.8%
		生涯学習推進事業	97%	A	継続	受講者の満足度	100.0%
		市民参画促進事業	91%	A	継続	学習成果発表の場事業における講座開催回数	93.3%
		コミュニティセンター講座事業	97%	A	継続	人口1人当たり受講回数	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
学習施設・機能の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 公共施設利用総合情報システム管理事業					
		(評価対象外) 生涯学習センター管理運営事業					
		図書館運営事業	85%	B	継続	貸出冊数	85.7%
						図書館利用者数	92.0%
		図書館文化活動事業	100%	A	継続	子ども読書まつりの参加者数	105.0%
		(評価対象外) 図書館管理事業					
		(評価対象外) ふれあい創作館管理事業					
		図書館分室活性化事業	80%	B	改善継続	図書貸出冊数	81.4%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立	

1 政策の概要

基本的人権を尊重する社会の確立を図るため、同和問題を始めとする様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進するとともに、人権啓発活動の機能を充実し、人権を大切にする社会づくりを進めます。
また、平和意識の高揚を図るため、平和記念館を中心に、平和意識の普及啓発に取り組み、平和を大切にする社会づくりを推進します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
人権尊重意識の普及・高揚	100%	A
平和意識の普及・高揚	86%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

基本的人権を尊重する社会の確立に向けて、2施策に取り組んだ。
「人権尊重意識の普及・高揚」では、設定する成果指標の人権啓発事業等参加人数について、目標を達成した。
「平和意識の普及・高揚」では、設定する成果指標の平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数について、目標に届かなかったものの、前年度に比べ倍増し、目標にかなり近づくことができた。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は93%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
人権尊重意識の普及・高揚	19.1%	12.7%	52.8%
平和意識の普及・高揚	19.1%	10.8%	50.4%
平均	19.1%	11.8%	51.6%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


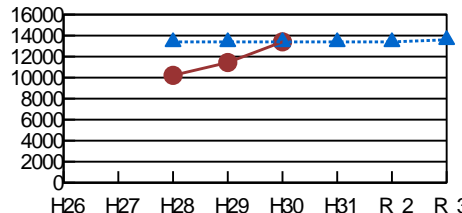
総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立			課・室名	人権啓発課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚			電話番号	087-839-2292

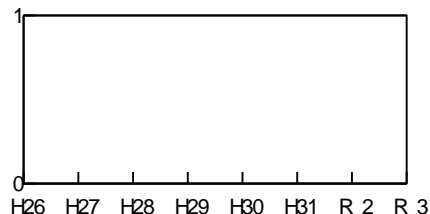
1 施策の目的

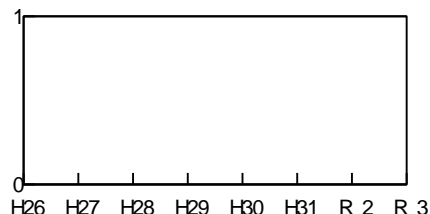
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
同和問題を始め、様々な人権問題の解決に向け、人権教育・啓発を推進し、人権を尊重する社会の実現を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	人権啓発事業等参加人数	人	10,216	11,438	13,406	13,400	14,000	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	人権啓発推進員による啓発事業において、推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努め、目標値を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	4位 (19.8%)	37位 (18.7%)	45位 (19.1%)
不満度	56位 (9.3%)	49位 (10.6%)	41位 (12.7%)
重要度	58位 (43.6%)	55位 (47.0%)	52位 (52.8%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	348,740	399,100	178,689	218,300
人件費	241,811	233,680	242,740	242,740
トータルコスト	590,551	632,780	421,429	461,040

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】同和問題を始めとする様々な人権問題が今なお解決に至っていないことから、今後とも、市民一人一人が正しい認識と理解を深めることができるよう、なお一層の効果的な取組が求められる。</p> <p>【教育局】同和問題を始め、様々な人権問題に対し、学校人権教育・社会人権教育の関係組織と連携を図っているが、市民一人一人の人権教育に対する意識・関心が十分でないことから、今後とも、人権教育の充実・発展を強力に推進していく必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>市民一人一人が、あらゆる問題に対して、正しい認識と理解を深めることができるよう、各種講座や研修会等を開催し、人権を尊重する社会の実現を推進していく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
人権啓発の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		人権啓発推進事業	97%	A	継続	市民満足度（「人権尊重意識の普及、高揚」）	95.0%
						参加人数（人権啓発推進員による啓発事業，講演会等）	99.8%
		LGBT啓発等推進事業	97%	A	拡充	講演会等参加者数	116.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
人権啓発活動拠点の機能充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		隣保館・児童館管理運営事業	95%	A	継続	隣保館利用者数	87.5%
						児童館利用者数	107.8%
		文化センター・児童館整備事業	80%	B	継続	文化センター・児童館改修進捗率(事業費)	73.8%
基本事業名					(総合評価) B		
人権教育の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		人権啓発活動事業	100%	A	継続	「みんなで人権を考える会」参加者数	111.0%
		文化交流推進事業	89%	A	継続	社会教育学級受講者数	77.9%
						ふれあい教室受講者数	201.4%
		子ども教育推進事業	84%	B	継続	子ども学級出席者数	63.6%
						教育相談出席者数	107.6%
		学校人権教育推進事業	97%	A	継続	研修会等参加者人数	100.2%
		社会教育指導員設置事業	49%	D	継続	学習指導等出席者数	33.1%
		社会人権教育推進事業	59%	C	継続	人権教育市民講座受講者数	47.9%
		(評価対象外)人権教育事務					

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立			課・室名	人権啓発課
	施策	平和意識の普及・高揚			電話番号	087-833-2211

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭などの開催、小学校4年生などを対象とした平和学習の実施により、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和意識の向上を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	平和意識の啓発に関するイベントなどの参加者数	人/年	2,462	3,469	7,002	8,000	8,250	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	戦争遺品展の開催場所の変更、長崎市との共催による戦争・原爆被災展や被爆体験講演会の開催などにより、参加者数が前年度に比べ倍増し、目標値にかなり近づくことができた。							目標達成度 (達成度) 87.5% 26点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								目標達成度 (達成度) _____

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								目標達成度 (達成度) _____

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	40位 (20.0%)	36位 (19.3%)	45位 (19.1%)
不満度	43位 (13.1%)	41位 (13.1%)	49位 (10.8%)
重要度	55位 (47.1%)	54位 (47.7%)	53位 (50.4%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	9,035	13,693	14,211	14,684
人件費	4,711	8,346	8,318	8,318
トータルコスト	13,746	22,039	22,529	23,002

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>戦争体験者が高齢化し、戦争を知らない世代が大半となっていることから、平和を守り育てるため、平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、戦争遺品展などの各種ソフト事業や小学校4年生などを対象とした平和学習を継続的かつ積極的に実施することが必要である。</p>

施策推進の方向性
<p>引き続き、平和意識の普及・啓発と向上を推進していく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
平和意識の普及・啓発							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		平和啓発推進事業	93%	A	改善継続	平和意識の啓発事業の参加者数	87.5%
						平和意識の普及・高揚に対する市民満足度	95.5%

3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 A
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化	

1 政策の概要

地域を支える産業の振興と経済の活性化を図るため、市外からの企業の誘致及び市内の中小企業等の支援による雇用の創出や、商店街のにぎわいづくりを推進し、商工業の振興に努めるほか、農地や森林の保全や、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、生鮮食料品等の流通の強化など、農林水産業の振興を図ります。

また、庵治石や盆栽、漆器など特産品の育成と振興に努めるとともに、効果的な情報発信を行うなど、ブランド力の向上に向けた取組を推進します。

また、いきいきと働ける環境の充実のため、就業支援を推進するとともに、勤労者福祉の充実に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
商工業の振興	90%	A
農林水産業の振興	97%	A
特産品の育成・振興とブランド力の向上	82%	B
就業環境の充実	100%	A
平均	92%	A

3 政策の評価

地域を支える産業の振興と経済の活性化に向けて、4施策に取り組んだ。

「農林水産業の振興」及び「就業環境の充実」の2施策では、設定する4つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「商工業の振興」では、設定する3つの成果指標のうち、中小企業経営講習会の年間受講者数及び中央商店街の空き店舗率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

「特産品の育成・振興とブランド力の向上」では、設定する3つの指標のうち、盆栽輸出登録申請者数（EU）及び伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は92%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
商工業の振興	15.9%	34.7%	72.2%
農林水産業の振興	22.7%	19.0%	71.5%
特産品の育成・振興とブランド力の向上	31.0%	14.9%	71.1%
就業環境の充実	13.9%	25.8%	74.1%
平均	20.9%	23.6%	72.2%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


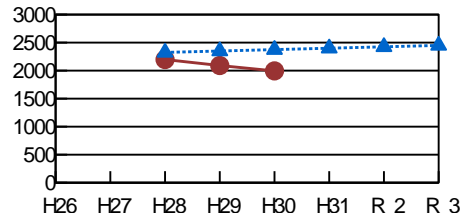
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化				課・室名	産業振興課
	施策	商工業の振興				電話番号	087-839-2411


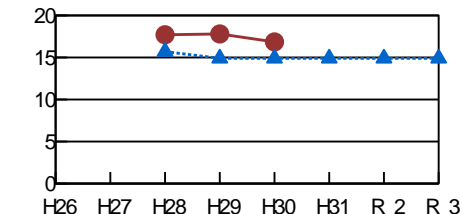
1 施策の目的


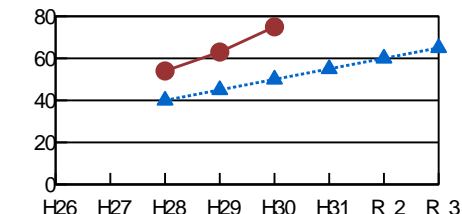
対象（誰、何を対象としているか）
市内の商工業者

意図（どのような状態にしたいのか）
経営の改善・向上

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	中小企業経営講習会の年間受講者数	人	2,198	2,091	1,995	2,425	2,500	 目標達成度 (達成度) 84.0% 25点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	企業側のニーズも高く、2000人近い受講を得たが、平成29年度より、開催回数と、見直しの余地のないメニュー（確定申告相談会等）の受講者数が減少したことにより、目標とする受講者数の達成には至らなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	中央商店街の空き店舗率	%	17.7	17.8	16.85	14.9	14.9	 目標達成度 (達成度) 86.9% 26点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	商店街共同施設の改修等や中央商店街にぎわい促進事業と効果的に組み合わせ、利用者のニーズに沿った空き店舗活用支援策を実施しているものの、目標達成には至らなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	企業誘致助成制度指定件数	件	54	63	75	60	75	 目標達成度 (達成度) 150.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	企業誘致専門員を中心に、香川県や金融機関等と緊密に連携を図り、企業動向等の情報収集や立地、設備投資等を希望する企業への訪問、先端設備等導入計画の認定申請で来庁する企業に対する助成制度の紹介等の支援を行うことで目標を達成できた。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	53位（14.7%）	52位（15.3%）	53位（15.9%）
不満度	2位（36.0%）	2位（38.5%）	2位（34.7%）
重要度	19位（69.9%）	14位（74.5%）	21位（72.2%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	272,166	245,594	383,425	260,664
人件費	42,081	55,840	50,363	50,363
トータルコスト	314,247	301,434	433,788	311,027

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>事業者が本市で創業するよう周辺環境の整備や本市経済の持続的な発展のため、中小企業の育成と振興を図ることが求められている。</p> <p>中央商店街のにぎわいを向上させるため、空き店舗率の改善、また地域経済の発展、産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致の強化が必要である。</p>

施策推進の方向性
<p>人口減少・少子超高齢社会の進展等を背景として、地域経済には厳しい状況が続くことが予想されることから、引き続き、商工業の振興に取り組む必要がある。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
中央商店街の活性化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		中央商店街にぎわい促進事業	87%	A	改善継続	中央商店街の空き店舗率	86.9%
						中央商店街の歩行者通行量	94.9%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
企業誘致・交流の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		企業誘致・起業支援による地域経済活性化促進事業	97%	A	拡充	企業誘致助成制度指定件数(21年度以降の累計)	150.0%
基本事業名					(総合評価) A		
中小企業等の育成と振興							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		中小企業指導団体等育成事業	80%	B	継続		
		中小企業経営講習会等事業	85%	B	改善継続	講習会等受講者数	84.0%
		中小企業人材確保・就業機会拡大事業	100%	A	継続	就職面接会参加企業の満足度	117.9%
		貿易振興事業	94%	A	継続	コンテナ取扱増加量	109.0%
		中小企業金融対策事業	90%	A	継続		

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


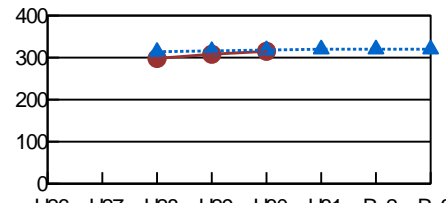
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化			課・室名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興			電話番号	087-839-2422


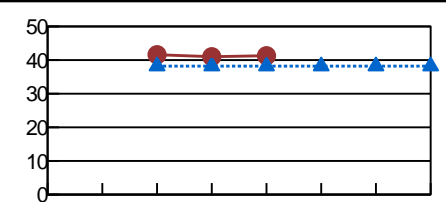
1 施策の目的


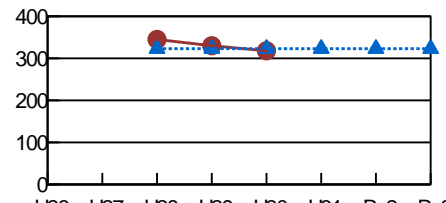
対象（誰、何を対象としているか）
市内の農林漁業者

意図（どのような状態にしたいのか）
農林漁業者の生産販売額の増加

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	認定農業者数	経営体	298	308	315	320	320	 目標達成度 (達成度) 99.1% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度は、新たな認定農業者の積極的な確保に努めた結果、前年比7名増の経営体数となった。引き続き、新規就農者からのステップアップを円滑に進めるなど、担い手の確保・育成に努め、目標の達成を目指す。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	農畜産物販売額（JA取扱金額に限る）	億円	41.6	41	41.3	38.2	38.2	 目標達成度 (達成度) 108.1% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	担い手農家等によるブロッコリー等の露地野菜の面積が拡大傾向にあることなどから目標を上回っており、今後もこの状況を継続していきたい。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	卸売市場の取扱金額	億円	345	330	318	323	323	 目標達成度 (達成度) 98.5% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	取扱金額の実績値は、前年度並みで推移しており、今後もこの状況を継続していきたい。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	31位（22.8%）	23位（25.2%）	30位（22.7%）
不満度	12位（23.0%）	14位（22.0%）	20位（19.0%）
重要度	25位（67.8%）	18位（72.4%）	22位（71.5%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	2,854,853	2,694,651	3,733,738	3,815,085
人件費	514,633	499,604	525,181	520,644
トータルコスト	3,369,486	3,194,255	4,258,919	4,335,729

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>農業においては、農業者の高齢化や後継者等の担い手不足、農産物の価格低迷などの課題解決による早急な農業経営の安定化を図る必要がある。林業においては、従事者の不足と木材価格の低迷から、管理不十分となっている森林が増加しており、適正管理の推進が必要である。水産業においては、漁業従事者の高齢化や後継者不足、水産資源の減少などにより、経営状況が一層厳しくなっており、これらの課題への対策の強化が重要である。</p> <p>【農業委員会事務局】農地等利用の最適化の推進に向け、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を促進するため農地中間管理機構等関係機関との連携を強化する必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>農林水産業の振興のため、農産物等の品質向上や規模拡大のほか、6次産業化やICT導入の促進、森林・漁場保全等の環境整備、担い手等の確保・育成に努める。また、有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、効果的な捕獲や防護の支援に努める。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
生鮮食料品等流通の強化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		卸売市場活性化推進事業	97%	A	継続	市場への一般市民の来場者数	106.2%
						当該年次取扱高を対前年比の95%以上にする	100.7%
		(評価対象外)食肉センター管理運営事業					
		(評価対象外)卸売市場管理運営事業					
		卸売市場整備事業	95%	A	継続	卸売市場の取扱金額	98.5%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
食育・地産地消の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		市民農園整備事業	81%	B	改善継続	市民農園の設置力所数	86.1%
						市民農園利用率	94.8%
		グリーン・ツーリズム推進事業	97%	A	継続	グリーン・ツーリズム実践団体来場者	100.9%
		(評価対象外) 研修集会施設管理運営事業					
		水産教室開催事業	66%	C	継続	開催回数	62.5%
		(評価対象外) 農村公園等運営事業					
		(評価対象外) 香南アグリーム管理運営等事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
生産の振興							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 食肉センター周辺施設管理運営事業					
		(評価対象外) 鳥獣飼養許可等事業					
		(評価対象外) 農業振興事業					
		農業経営安定対策事業	95%	A	継続	経営所得安定対策等交付申請者数	94.3%
						交付対象作物の作付面積	101.9%
		水田農業振興事業	98%	A	統合	交付対象作物の作付面積	99.9%
		有害鳥獣被害対策事業	98%	A	継続	有害許可捕獲による捕獲頭数	99.3%
						有害鳥獣による農作物被害面積	122.5%
		園芸産地育成推進事業	97%	A	継続	高松市内の野菜販売額(農協取扱分)	104.3%
						高松市内の果物販売額(農協取扱分)	111.2%
		畜産振興事業	87%	A	継続	予防注射・検査頭数	87.4%
		多面的機能支払事業	97%	A	継続	対象農用地面積	102.4%
		森林整備事業	50%	D	継続	年間松くい虫被害材積において、伐倒駆除事業を実施した面積の比率	29.0%
		林業振興事業	100%	A	継続	分収造林地において造林施策を実施した面積の比率	100.0%
						人工造林地において造林施策を実施した面積の比率	100.0%
		水産振興事業	75%	B	継続	ヒラメ漁獲量	70.6%
		高松産ごじまん品6次産業化等支援事業	77%	B	縮小	農産物の加工品の創作数	80.0%
		たかまつ農業ICT導入活用支援事業	97%	A	継続	高松市農業ICTシステム導入活用事業実施件数	225.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
生産体制の整備 (1/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 農業委員会事務事業					
		農業後継者育成事業	80%	B	改善継続	農業後継者クラブ主催事業の参加者数	80.0%
		農業経営対策事業	100%	A	継続	農地中間管理事業による農地集積面積	146.6%
		農業団体育成事業	100%	A	継続	高松市内の農畜産物販売額(農協取扱分)	108.1%
		(評価対象外) 農村環境改善センター管理運営事業					
		(評価対象外) 盆栽集出荷施設管理運営事業					
		畜産団体育成事業	90%	A	継続	県畜産共進会出品頭数	95.0%
		土地改良事業	97%	A	継続	補助金交付件数	102.7%
		水産団体育成事業	77%	B	継続	高松市内の漁獲量	74.0%
		漁業近代化資金等利子補給事業	77%	B	継続	高松市内の漁獲量	74.0%
		(評価対象外) 農地利用最適化推進事業					
		中山間地域等直接支払事業	95%	A	継続	中山間地域等直接支払制度取組面積	99.3%
		土地改良施設管理事業	93%	A	継続	土地改良区受益面積	100.0%
						施設利用者数	98.5%
		(評価対象外) 財産区管理事務					
		林道施設整備事業	92%	A	継続	整備計画予定路線全体の整備進捗率	89.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
生産体制の整備 (2/2)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 林道施設管理事業					
		(評価対象外) 市有山林管理事業					
		(評価対象外) 治山施設建設事業					
		漁場保全補助事業	77%	B	継続	高松市内の漁獲量	74.0%
		海浜清掃補助事業	97%	A	継続	回収ゴミ量	106.7%
		森林団体育成事業	100%	A	継続	木材の出荷数	117.3%
		(評価対象外) 農業振興地域整備計画事務費					
		人・農地プラン推進事業	97%	A	継続	地区「人・農地プラン」数	100.0%
						人・農地プランへの参画者数	107.9%
		(評価対象外) 畜産競争力強化整備事業					
		優良農地確保対策事業	86%	A	継続	荒廃農地の再生利用面積(累積)	70.1%
						農用地区域への編入面積(累積)	128.6%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	B	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化				課・室名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上				電話番号	087-839-2411


1 施策の目的


対象（誰、何を対象としているか）
市内の特産品生産者・製造者及び購入者

意図（どのような状態にしたいのか）
高松ブランド化の推進に向けた取組を実施し、特産品の育成・振興を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	販路開拓事業等来場者数	人	19,421	19,391	18,832	21,200	23,000	 目標達成度 (達成度) 94.2% 28点
	成果状況 / 達成度評価 特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、販路開拓事業の支援を実施しているが、開催期間の短期化等により、目標達成には至らなかった。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	盆栽輸出登録申請者数（EU）	人	19	18	18	24	26	 目標達成度 (達成度) 78.3% 23点
	成果状況 / 達成度評価 盆栽振興に関する新たな取組を実施しているが、慢性的な後継者不足の中、生産者の高齢化が進み、目標達成には至らなかった。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	人	574	368	599	850	1,000	 目標達成度 (達成度) 79.9% 23点
	成果状況 / 達成度評価 特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与するため、普及啓発事業を実施しているが、開催数及び開催場所等の制限により、目標達成には至らなかった。		成果状況の推移 					

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	1位（31.7%）	9位（33.4%）	15位（31.0%）
不満度	45位（12.5%）	31位（16.6%）	32位（14.9%）
重要度	33位（64.0%）	24位（68.6%）	23位（71.1%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	19,051	26,349	24,343	169,206
人件費	30,933	30,651	36,600	36,600
トータルコスト	49,984	57,000	60,943	205,806

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
伝統的ものづくり製品や特産品、農作物について、一定の評価はあるものの、その価値や評価を高めることが求められている。今後も関係団体と連携して、販路拡大や後継者育成等に取り組むとともに、国内だけでなく、国外への輸出拡大を見据えた新たな取組が必要である。

施策推進の方向性
地域経済の活性化を図る上で、地場産業の振興は重要性を増しており、継続実施していく必要がある。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
ブランド力の向上							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高松ブランド農産物育成支援事業	94%	A	継続	食育・農業体験教室への参加者数	93.3%
						たかまつ食と農のフェスタ出展者販売額	114.6%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
特産品の育成・振興					B		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		特産品育成・振興事業	80%	B	継続		
		伝統的ものづくり支援事業(産業振興課分)	86%	A	継続	普及啓発事業等参加人数	79.9%
						販路開拓事業等来場者数	94.2%
		伝統的ものづくり支援事業(農林水産課分)	81%	B	継続	盆裁輸出登録申請者数	78.3%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


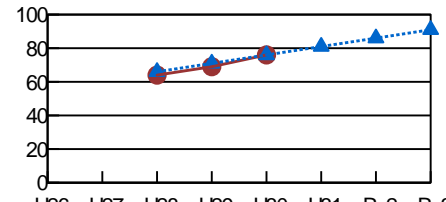
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化				課・室名	産業振興課
	施策	就業環境の充実				電話番号	087-839-2411

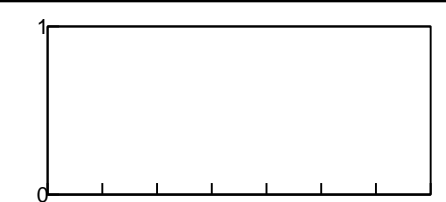
1 施策の目的

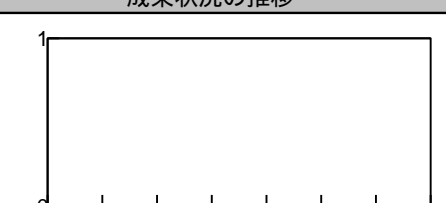
対象（誰、何を対象としているか）
市内の事業所及び勤労者

意図（どのような状態にしたいのか）
市内事業所の就業環境の充実及び勤労者の勤労意欲の向上を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	団体	64	69	76	86	101	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度は平成29年度を上回る270事業所に応募案内し、自主的な応募のみで、年間の目標表彰事業所数（5社）を上回る7社を表彰することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	52位（16.5%）	47位（16.4%）	57位（13.9%）
不満度	6位（26.4%）	5位（27.5%）	4位（25.8%）
重要度	18位（71.3%）	8位（76.9%）	17位（74.1%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	473,321	377,656	376,782	416,525
人件費	27,400	26,479	23,140	23,140
トータルコスト	500,721	404,135	399,922	439,665

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>施策を構成する各事務事業においては、成果目標を達成しているが、経済の先行きが不透明な状況下において、本市が就業環境の充実や雇用対策に取り組んでいくためには、これまで以上に市の関係部局や国・県・関係機関との連携・協力が必要である。</p>

施策推進の方向性
<p>市内企業における就業環境の向上を後押しすることや、市として市内の優良企業をPRすることは、勤労者福祉はもとより、企業の人材確保の面でも重要性を増しており、今後一層、市の関係部局や国、県、関係機関と連携しながら施策を継続（表彰制度についてはより効果的に市内企業をPR等できるよう見直し）していく必要がある。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
就業支援の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		就業支援推進事業	97%	A	改善継続	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
勤労者福祉の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 高松テルサ管理運営事業					
		中小企業勤労者支援事業	90%	A	継続		
		中小企業勤労者福祉共済事業	97%	A	継続	加入被共済者数	101.9%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
	政策	文化芸術の振興と発信

総合評価
A

1 政策の概要

文化芸術の振興と発信を図るため、瀬戸内国際芸術祭や高松国際ピアノコンクールの開催を始め、市民の近くに出向いて行う、文化芸術のアウトリーチ活動など、優れた文化芸術に触れる機会を拡充させるほか、文化芸術施設の整備と機能の充実に努めるとともに、学校と連携したプログラムの推進や菊池寛の顕彰事業など、教育普及活動や効果的な情報発信を図ります。

また、国の特別史跡讃岐国分寺跡や史跡高松城跡、史跡石清尾山古墳群の整備など、長い歴史と伝統に生まれ、伝承されてきた文化財の保存と活用に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
文化芸術の振興	87%	A
文化財の保存・活用	95%	A
平均	91%	A

3 政策の評価

文化芸術の振興と発信に向けて、2施策に取り組んだ。

「文化芸術の振興」では、設定する3つの成果指標のうち、美術館来場者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成又は概ね達成した。

「文化財の保存・活用」では、設定する2つの成果指標について、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は91%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
文化芸術の振興	46.4%	6.9%	59.8%
文化財の保存・活用	29.1%	11.4%	59.9%
平均	37.8%	9.2%	59.9%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


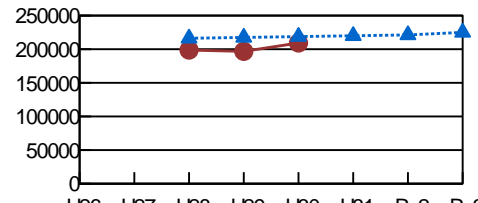
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信				課・室名	文化芸術振興課
	施策	文化芸術の振興				電話番号	087-839-2636


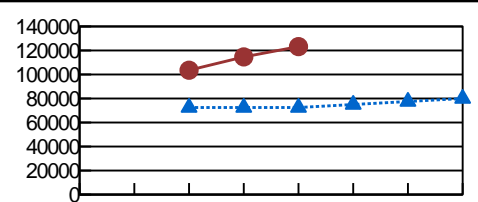
1 施策の目的


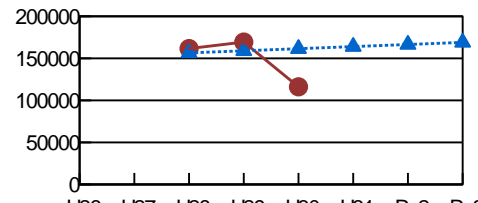
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等市民の自主的・創造的な文化芸術活動を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	文化芸術ホールにおける事業の参加者数	人	198,728	196,793	209,232	218,750	225,000	 目標達成度 (達成度) 95.6% 28点
	成果状況 / 達成度評価 目標値には達しなかったが、今後も公演内容の充実や施設の整備を行いながら、利用者により満足していただけるホールを目指し、本市の文化振興に繋げる。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	アウトリーチ事業の参加者数	人	103,549	114,637	123,208	72,500	85,000	 目標達成度 (達成度) 169.9% 30点
	成果状況 / 達成度評価 平成30年度は、まちなかパフォーマンスの鑑賞者数増等により前年度を上回った。今後も、内容の充実を図りながら市民のニーズに応じた事業展開を目指す。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	美術館来場者数	人	161,640	169,376	116,140	161,500	174,000	 目標達成度 (達成度) 71.9% 21点
	成果状況 / 達成度評価 魅力的な展覧会ラインアップや教育普及活動の広がりに努めたが、目標に達しなかった。今後も幅広い層から利用され、親しみのある美術館事業の展開を目指す。		成果状況の推移 					

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	1位 (46.8%)	2位 (47.2%)	4位 (46.4%)
不満度	57位 (9.0%)	57位 (8.3%)	59位 (6.9%)
重要度	37位 (58.5%)	37位 (59.5%)	41位 (59.8%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,021,439	914,121	1,099,389	1,094,121
人件費	184,970	164,038	171,128	178,388
トータルコスト	1,206,409	1,078,159	1,270,517	1,272,509

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
優れた文化芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援等、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する必要がある。

施策推進の方向性
今後の施策を取り巻く環境変化や市民満足度調査の結果を踏まえ、デリバリーアーツ事業や美術館運営事業などにより、効果的かつ継続的に文化芸術活動を推進していく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
国際的な発信力を持つイベントの推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		瀬戸内国際芸術祭推進事業	100%	A	継続	本市会場への年間来場者数	
						次回瀬戸内国際芸術祭の開催準備進捗率	100.0%
		高松国際ピアノコンクール事業	97%	A	継続	ピアノコンクール入場者数	
						学校訪問リサイタル実施校数	133.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
文化芸術活動の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		デリバリーアーツ事業	97%	A	継続	デリバリーアーツ事業鑑賞者数	112.0%
		(評価対象外)文化奨励賞贈呈事業					
		市民文化祭開催事業	97%	A	継続	市民文化祭(アーツフェスタ)観覧者数	100.7%
		文化芸術活動推進事業	97%	A	継続	文化芸術活動補助事業における参加人数	135.5%
		美術教育普及事業	100%	A	継続	美術講座参加者数	220.7%
		菊池寛顕彰事業	90%	A	継続	受講延べ人数	80.8%
						文学展観覧者数(企画展, 記念講演会等)	142.6%
		アート・シティ高松推進事業	100%	A	継続	まちなかパフォーマンス事業観覧者数	161.2%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
文化芸術施設の整備と機能の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		美術館運営事業	82%	B	継続	高松市美術館主催展入場者数	66.8%
						展覧会鑑賞に満足した人の割合	100.0%
		(評価対象外)元香南陶芸館管理事業					
		(評価対象外)文化芸術ホール管理運営事業					
		菊池寛記念館管理運営事業	97%	A	継続	菊池寛記念館利用者数(常設展,コレクション展)	100.1%
		美術館資料収集事業	79%	B	継続	高松市美術館常設展入場者数	74.8%
		(評価対象外)美術館管理事業					
		(評価対象外)高松国分寺ホール管理運営事業					
		(評価対象外)瓦町アートステーション管理運営事業					
		高松市美術館開館30周年記念事業	59%	C	完了	記念特別展入場者数	46.8%
		高松市文化芸術ホール開館15周年記念事業	100%	A	拡充	15周年記念事業参加者の本市人口に対する割合	
		高松市文化芸術ホール改修事業	97%	A	継続	更新改修に係る進捗率(工事計画策定)	100.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


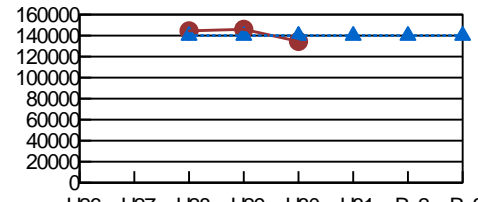
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信				課・室名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用				電話番号	087-839-2660


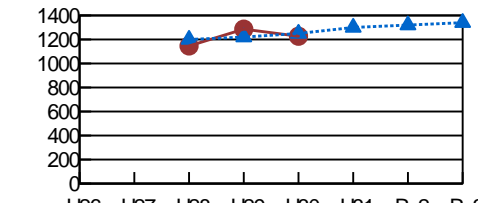
1 施策の目的

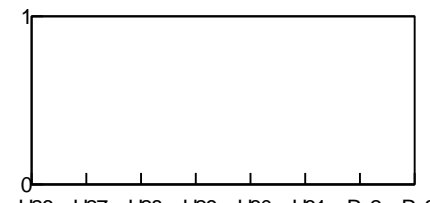
対象（誰、何を対象としているか）
本市の歴史文化遺産のなかで、国・県・市において指定する等、調査・保存・活用するのに相応しいもの。

意図（どのような状態にしたいのか）
本市の歴史文化遺産の保存・管理と公開・活用を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	歴史資料館等利用者数	人	144,517	145,980	134,460	140,000	145,000	 目標達成度 (達成度) 96.0% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	歴史資料館ほか各館で企画展等の開催や教育普及活動等の充実を図ったが、広報活動・周知不足もあり、目標値を下回った。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	文化財学習会・体験講座参加者数	人	1,146	1,286	1,227	1,300	1,400	 目標達成度 (達成度) 98.2% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	ふるさと探訪については、参加者が前年度を上回ったが、親子文化財教室は、会場の都合のため人数制限を設けたため、また、市民文化財教室は開催場所が遠方だったため参加者が減少し、目標値を下回った。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	16位 (29.0%)	14位 (28.7%)	19位 (29.1%)
不満度	57位 (9.0%)	54位 (9.5%)	43位 (11.4%)
重要度	53位 (47.4%)	51位 (51.2%)	40位 (59.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,271,899	221,618	290,125	344,184
人件費	138,178	157,051	141,409	148,971
トータルコスト	1,410,077	378,669	431,534	493,155

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
指定文化財の件数増加や披雲閣の耐震補強等により、適正に維持管理するためのコスト増が予想される。

施策推進の方向性
文化芸術の振興と発信という上位の政策を実現するためには、地域を特色づける文化財の保存と活用に関する事業を継続していくことは必要不可欠である。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)	
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価		

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
文化財の調査、整備、管理							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高松城跡等整備事業	73%	B	継続	玉藻公園の年間入園者数	87.9%
						桜御門の復元	55.0%
		史跡石清尾山古墳群保存・整備事業	97%	A	拡充	見学者数(累積)	103.0%
		(評価対象外)文化財保存活用推進事業					
		(評価対象外)文化財調査事業					
		(評価対象外)史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業					
		史跡・天然記念物屋島保存・整備事業	97%	A	継続	確認調査によって内容の詳細が判明した件数(累積)	100.0%
		(評価対象外)玉藻公園整備事業					
		埋蔵文化財公開活用事業	97%	A	継続	埋蔵文化財公開活用事業関連行事参加者数	106.9%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
文化財に関する施設の運営と機能充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 歴史資料館管理運営事業					
		(評価対象外) 玉藻公園管理運営事業					
		香南歴史民俗郷土館管理運営事業	89%	A	継続	利用人数	88.9%
		讃岐国分寺跡資料館管理運営事業	97%	A	継続	利用人数	100.7%
		石の民俗資料館管理運営事業	93%	A	継続	利用人数	94.8%
		歴史資料館教育普及活動事業	95%	A	継続	教育普及活動の受講者数	95.8%
						サンクリスタル学習参加校数	93.9%
		歴史資料館常設展事業	85%	B	継続	展覧会観覧者数	82.8%
						収蔵品システムHPアクセス数	78.7%
		(評価対象外) 四番丁スクエア等管理運営事業					

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 B
	政策	元気を生み出すスポーツの振興	

1 政策の概要

元気を生み出すスポーツの振興を図るため、スポーツ活動の促進や屋島陸上競技場などスポーツ施設の整備を行うほか、市民スポーツフェスティバルの見直しやスポーツ関係団体間の連携強化に取り組むとともに、地域密着型トップスポーツチームの支援や、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の誘致等により、市民が、スポーツを「する、観る、支える（育てる）」ことのできる環境を整えます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
スポーツの振興	84%	B
平均	84%	B

3 政策の評価

元気を生み出すスポーツの振興に向けて、1施策に取り組んだ。
「スポーツの振興」では、設定する3つの成果指標のうち、トップスポーツチーム試合観戦者数及び社会体育施設利用者数において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は84%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
スポーツの振興	23.9%	15.1%	56.9%
平均	23.9%	15.1%	56.9%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）

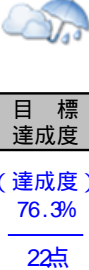
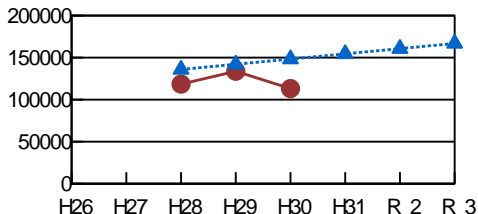
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	B	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興				課・室名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興				電話番号	087-839-2626


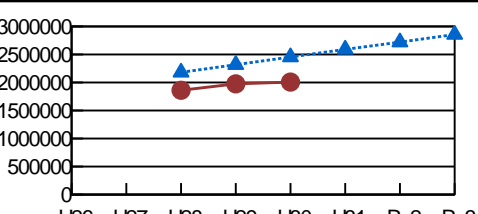
1 施策の目的

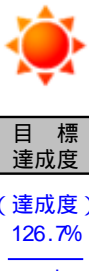
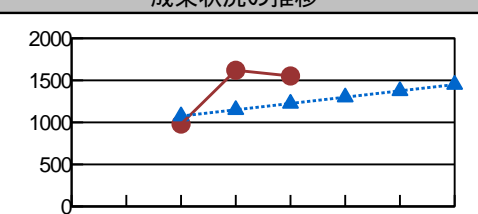
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
スポーツ活動の推進やスポーツ施設の整備を行い、スポーツの振興を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	トップスポーツチーム試合観戦者数	人	118,455	133,743	113,138	160,700	179,200	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	観客数全体の約26%を占める香川ファイブアローズは前年比増となったものの、約57%を占めるカマタマーレ讃岐が、成績の低迷もあり前年比大幅減少し、全体での目標達成率は76%となった。							目標達成度 (達成度) 76.3% 22点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	社会体育施設利用者数	人	1,861,146	1,975,527	2,007,396	2,720,550	3,137,000	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	高松市立りんくうスポーツ公園のオープンなどにより、前年度に比べ利用者数は増加したものの、天候不良の影響などにより市民プールの利用者が6,533人減少したことなどから、81.8%の達成率に留まった。							目標達成度 (達成度) 81.8% 24点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	トップスポーツ4チームの後援会等会員（高松市民）数	人	980	1,620	1,552	1,375	1,600	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	カマタマーレ讃岐と香川オリブガイナースは成績低迷、入場者数減少等により後援会員も減少となったが、香川ファイブアローズ及び香川アイフェローズは積極的な後援会員募集を行ったことにより後援会員増につながっており、全体としての目標値達成率は126%となった。							目標達成度 (達成度) 126.7% 30点

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	34位（21.2%）	29位（22.1%）	28位（23.9%）
不満度	35位（15.3%）	35位（14.6%）	31位（15.1%）
重要度	52位（47.7%）	52位（49.7%）	44位（56.9%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,209,188	1,471,861	975,854	1,226,132
人件費	85,576	98,631	103,826	79,401
トータルコスト	1,294,764	1,570,492	1,079,680	1,305,533

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
市民ニーズが多様化する中、市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、スポーツ振興のさらなる推進のため、これまで以上に行政と市民が協働・連携する方策の検討が必要である。

施策推進の方向性
引き続き、高松市スポーツ推進計画に基づき、スポーツ振興の推進を図る。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
トップスポーツの振興							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		地域密着型トップスポーツチーム支援事業	85%	B	継続	地域密着型トップスポーツチームのホームゲームでの観客数	76.3%
						地域密着型トップスポーツチームの市内でのスポーツ教室参加者数	115.8%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
スポーツ施設の整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		南部地域スポーツ施設(仮称)整備事業	94%	A	完了	南部地域スポーツ施設(仮称)整備進捗率	100.0%
		スポーツ施設オープニングイベント開催事業	97%	A	完了	スポーツ施設オープニングイベント参加者数	112.5%
		新県立体育館建設環境整備事業	73%	B	継続	新県立体育館建設環境整備進捗率	66.7%
基本事業名					(総合評価) B		
市民スポーツ活動の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		市民スポーツ活動推進事業	72%	B	改善継続	主催6大会参加者チーム数	70.0%
		学校体育施設開放事業	100%	A	継続	中学校体育施設開放利用者数	105.2%
		(評価対象外)スポーツ施設等管理運営事業					
		障がい者スポーツ推進事業	81%	B	継続	香川県障がい者スポーツ大会への参加人数	78.2%
		サンポート高松トライアスロン大会開催事業	88%	A	継続	観客動員数	
						ボランティア参加者数	84.8%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 B
	政策	訪れたい観光・MICE（マイス）の振興	

1 政策の概要

訪れたい観光・MICE（マイス）の振興を図るため、観光に携わる様々な主体が連携・協力し、魅力あるイベントの振興など、観光資源の活用と創出に取り組むとともに、旅行者が安心して快適に、移動、滞在、観光ができる受入環境を整備します。

また、本市の観光都市としてのブランドイメージを創出するとともに、国内外への、様々な媒体を活用した効果的・戦略的な情報発信と、MICE（マイス）による観光客誘致の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
観光客受入環境の整備	76%	B
観光客誘致の推進	80%	B
平均	78%	B

3 政策の評価

訪れたい観光・MICE（マイス）の振興に向けて、2施策に取り組んだ。

「観光客受入環境の整備」では、設定する2つの成果指標のうち、香川県への再来訪意向割合において、香川県が実施する再来訪意向調査の調査方法の変更が影響し、目標に届かなかったものの、他の指標については目標を達成した。

「観光客誘致の推進」では、設定する2つの成果指標とも、目標に届かなかった。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は78%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
観光客受入環境の整備	27.5%	13.5%	62.9%
観光客誘致の推進	20.2%	13.5%	58.1%
平均	23.9%	13.5%	60.5%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 B	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興			課・室名	観光交流課
	施策	観光客受入環境の整備			電話番号	087-839-2416


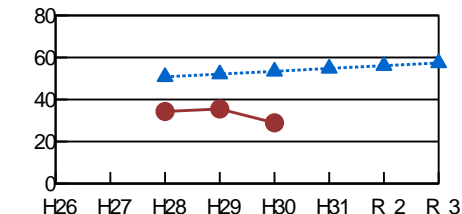
1 施策の目的

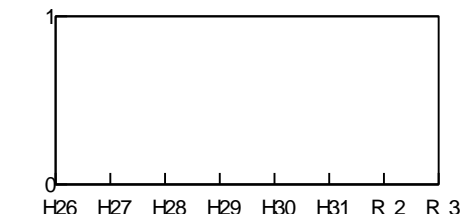
対象（誰、何を対象としているか）
観光資源及び観光客・MICEに係わるすべての事業者、市民、行政機関等

意図（どのような状態にしたいのか）
受入態勢を充実させ、訪れる人の満足度が向上し、再来訪意向の割合が高まる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	観光施設等利用者数	千人		6,818	6,595	6,570	6,640	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					目標達成度
	平成29年度より減少したものの、目標を達成できた。							(達成度) 100.0%
								30点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	香川県への再来訪意向割合	%	34.3	35.5	28.9	54.8	60	
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					目標達成度
	平成27年度から、再来訪意向調査の選択項目が変更され、「ぜひ来たい」の割合が29年度の35.5%から30年度は28.9%に減少した一方で、「来たいと思う」の割合が29年度の41.1%から50.0%に増加した。また、「やや来たいと思う」が13.4%でほとんどが再来訪意向を示した。							(達成度) 54.1%
								16点

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					(達成度)
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	24位 (24.8%)	22位 (25.5%)	21位 (27.5%)
不満度	21位 (19.2%)	12位 (23.0%)	38位 (13.5%)
重要度	32位 (64.1%)	29位 (66.6%)	35位 (62.9%)

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
観光施設等の効果的運営							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 鬼ヶ島おにの館管理運営事業					
		男木島灯台資料館管理運営事業	74%	B	改善継続	施設利用者数	73.2%
		(評価対象外) 塩江湯愛の郷センター管理運営事業					
		(評価対象外) 太鼓の鼻オートキャンプ場等管理運営事業					
		(評価対象外) 純愛の聖地庵治・観光交流館管理運営事業					
		(評価対象外) 香南楽湯管理運営事業					
		(評価対象外) 道の駅源平の里むれ管理運営事業					
		(評価対象外) 温泉水給水事業					

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


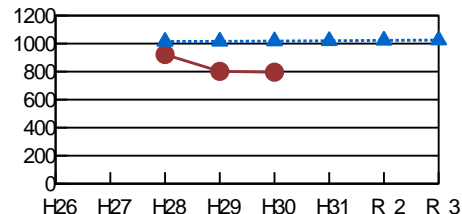
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 B	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	訪れたい観光・MICEの振興			課・室名	観光交流課
	施策	観光客誘致の推進			電話番号	087-839-2416


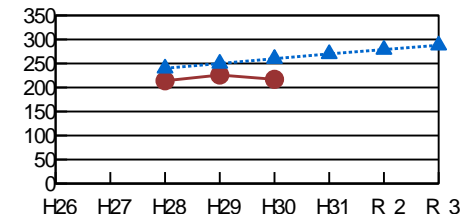
1 施策の目的

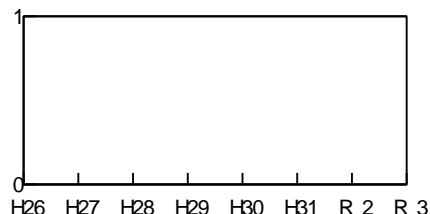
対象（誰、何を対象としているか）
国内外の観光旅行及びMICEを予定している人

意図（どのような状態にしたいのか）
本市への観光客及び交流人口が増加する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	まつり・イベント入込客数	千人	922	802	796	1,020	1,030	 目標達成度 (達成度) 78.2% 23点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	目標に届いていないが、今後、補助金交付団体が開催するイベントへの参加人数が増加をするよう支援啓発に取り組む。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	コンベンション数	件	214	226	217	270	306	 目標達成度 (達成度) 83.5% 25点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	昨年に比べて開催件数は減少しているものの、参加人数は昨年度の79,349人から84,063人に増加しており、今後、コンベンション開催件数及び参加人数を増加させられるよう取り組む。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	30位 (22.8%)	40位 (18.2%)	38位 (20.2%)
不満度	35位 (15.3%)	33位 (15.4%)	38位 (13.5%)
重要度	43位 (56.0%)	39位 (57.5%)	42位 (58.1%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	124,565	139,436	309,399	339,792
人件費	15,074	21,699	41,893	41,893
トータルコスト	139,639	161,135	351,292	381,685

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
香川県MICE誘致推進協議会の発足に伴い、大規模なMICEや政府系MICEの誘致体制の強化が図られている。また、外国人観光客の誘致は大きな成果を収めているが、一過性のものにならないよう、更なる観光資源の発掘や、効果的な観光情報発信の方法等について検討し、集客に努める必要がある。

施策推進の方向性
平成28年度に策定した高松市MICE振興戦略に基づき（公財）高松観光コンベンション・ビューローや香川県MICE誘致推進協議会等と連携しながら、各種事業を実施し、高松らしいMICE振興を図る。また、新しい高松の魅力を発信する観光宣伝活動を充実させるほか、周辺地域と連携した観光客等誘致政策の拡充に努める。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
MICE(マイス)の誘致促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		国際観光都市推進事業	94%	A	継続	観光案内所利用者数(外国人)	128.7%
		観光コンベンション振興推進事業	87%	A	継続	高松シンボルタワー来場者数	87.9%
		MICE振興事業	82%	B	継続	コンベンション開催件数	83.9%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
観光情報の効果的発信							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		共同観光宣伝事業	98%	A	継続	観光関連施設等利用者数	98.8%
		観光客誘致宣伝事業	98%	A	継続	観光関連施設等利用者数	98.8%
		「気持ち高まる、高松。」シティプロモーション事業	82%	B	継続	地域魅力度市区町村順位(地域ブランド調査)	85.8%
						高松市への愛着度(18~29歳)(市民満足度調査)	82.8%
		誘客促進事業	89%	A	継続	香川県の延べ宿泊者数	88.7%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 B
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進	

1 政策の概要

国際・国内交流の推進と定住の促進を図るため、海外の姉妹・友好都市等との親善交流や民間団体への助成を通して、国際交流の推進を図るとともに、地域に暮らす全ての人々が文化や習慣の違いを認めながら、共に生活していく多文化共生のまちづくりを進めます。

また、国内の各都市との交流を推進することにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めます。

また、たかまつ移住応援隊による市民目線での本市の魅力発信や地域おこし協力隊の受入など、移住・交流の促進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
国際・国内交流の推進	95%	A
移住・交流の促進	60%	C
平均	77%	B

3 政策の評価

国際・国内交流の推進と定住の促進に向けて、2施策に取り組んだ。

「国際・国内交流の推進」では、設定する2つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「移住・交流の促進」では、設定する2つの成果指標のうち、年間社会増において、本市人口の社会動態としては社会増ではあるが、若年層（15～39歳）の社会減が影響し、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は77%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
国際・国内交流の推進	17.5%	9.2%	44.9%
移住・交流の促進	10.9%	17.1%	52.9%
平均	14.2%	13.2%	48.9%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


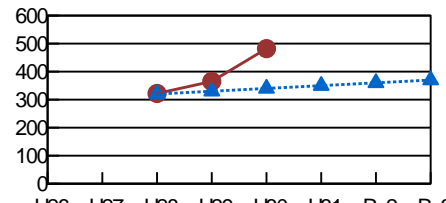
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価 A	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進			課・室名	都市交流室
	施策	国際・国内交流の推進			電話番号	087-839-2197

1 施策の目的

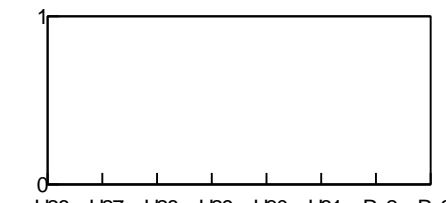
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
海外の姉妹・友好都市や国内の提携都市等との多彩な交流活動を推進し、国内外の様々な地域との相互理解を深める。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	人	322	365	482	360	400	 目標達成度 (達成度) 141.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	(公財)高松市国際交流協会や民間団体と協力し、目標を達成することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	国内の提携都市との交流事業参加者数	人	309	312	309	360	400	 目標達成度 (達成度) 90.9% 27点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	国内の提携都市との交流を図り、目標をおおむね達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	51位 (16.9%)	48位 (16.2%)	50位 (17.5%)
不満度	53位 (10.6%)	45位 (11.5%)	55位 (9.2%)
重要度	60位 (40.4%)	56位 (45.4%)	58位 (44.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	24,089	24,544	41,378	26,984
人件費	41,139	39,756	49,682	42,120
トータルコスト	65,228	64,300	91,060	69,104

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>国際交流では、海外の姉妹・友好都市等との交流事業を行い、市民の国際感覚の涵養が図られた。 また、国内交流では、下野市などの提携都市との交流を推進した。今後は、より多くの市民が交流事業に参加できるよう努めていく。</p>

施策推進の方向性
<p>国際交流については、姉妹・友好都市等との交流を推進することにより、市民が異なる文化や習慣を理解し、尊重し合える国際感覚の醸成を図る。 国内交流については、提携都市との交流事業を推進することにより、人が行きかう、活力あるまちづくりを進める。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
多文化共生のまちづくり							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		多文化共生推進事業	100%	A	継続	通訳・翻訳回数	113.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
国内交流の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		姉妹城都市等観光交流事業	100%	A	継続	交流イベント等開催回数	125.0%
		国内交流推進事業	92%	A	継続	交流事業参加者数	90.0%
基本事業名					(総合評価) A		
国際交流の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		国際交流推進事業	100%	A	継続	姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	141.8%
		魅力にあふれ人が輝く創造都市推進事業	99%	A	継続	高松市への愛着度(市民満足度調査)	103.0%
						「高松市創造都市推進局フェイスブックページ」いいね!数	97.8%
		トータル市姉妹都市提携30周年記念事業	100%	A	完了	記念事業参加者数	135.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


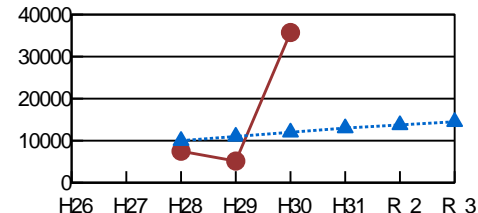
総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	総合評価	C	評価担当	局名	市民政策局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進				課・室名	移住・定住促進室
	施策	移住・交流の促進				電話番号	087-839-2143


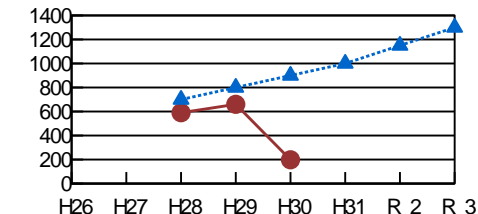
1 施策の目的

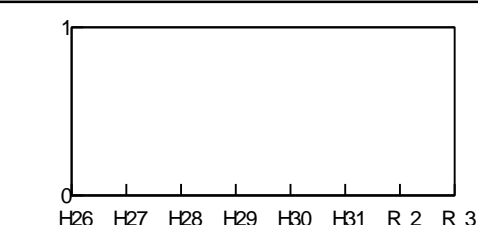
対象（誰、何を対象としているか）
市外に居住しており、地方への移住を考えている人

意図（どのような状態にしたいのか）
大都市圏に居住している現役世代層を中心に、本市への移住者を増加させることにより、たかまつ創生総合戦略に掲げる数値目標の一つである「平成31年に1年間の社会増を1,000人」の実現を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数	件	7,491	5,144	35,735	13,750	16,000	 目標達成度 (達成度) 297.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
平成30年2月、高松市移住ナビを改修し、情報発信のメニューを増やすとともに、新着情報の更新回数を増加させたことなどにより、閲覧件数は目標値を大きく上回る結果となった。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	年間社会増	人	590	660	198	1,150	1,570	 目標達成度 (達成度) 22.0% 6点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
本市人口の社会動態としては社会増ではあるが、若年層（15歳～39歳）の社会減が影響し、目標値を大きく下回る結果となった。転入者の状況としては、県内市町からの転入が多いため、今後、大都市圏の若者世代等を対象とした効果的なプロモーション方策を行うなど、県外からの転入者の割合を高めていく必要がある。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標								目標達成度 (達成度) _____ _____点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	57位（13.9%）	59位（11.1%）	60位（10.9%）
不満度	14位（21.0%）	9位（24.5%）	24位（17.1%）
重要度	38位（58.0%）	28位（67.1%）	51位（52.9%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	17,677	33,160	44,948	48,317
人件費	15,702	18,209	38,566	38,566
トータルコスト	33,379	51,369	83,514	86,883

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>本市の平成30年の社会動態は社会増となったものの、若年層（15～39歳）の転出超過が大きく影響しており、若年層が大都市圏へ流出していること、また、全国的に東京一極集中が顕著であることから、大都市圏の若者世代等に効果のあるプロモーション等を強化する必要がある。</p> <p>また、地域おこし協力隊については、隊員の活動に関する情報を行政からも全市的に発信・周知する必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>本市における人口減少を抑制する戦略の一環として、移住施策の軸である「たかまつ移住応援隊」の機能強化を図り、効果的なプロモーションや各種移住促進施策を展開することにより、更なる社会増の実現を目指す。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
選ばれる地域づくりの推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		移住・定住促進事業	74%	B	拡充	移住交流フェア等相談組数	158.8%
						移住促進事業を利用した移住者数の推計	53.3%
		地域おこし協力隊活動事業	97%	A	継続	隊員と地域コミュニティ協議会との連携により実施した事業数	100.0%
		政策コンテスト開催事業	100%	A	改善継続	アンケート結果による愛着が高まったとする割合	102.6%
		生涯活躍のまちづくり推進事業	97%	A	拡充	50代及び60代の市民における「住みやすさ」に対する市民満足度	101.3%

4 安全で安心して暮らし続けられるまち

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成	

1 政策の概要

安全で安心して暮らせる社会環境の形成を図るため、防災体制の整備・充実により、南海トラフ地震を始めとする各種災害への対応能力の向上を図るとともに、災害・緊急時において、迅速かつ的確に対応できる消防・救急の充実強化や防災・減災対策の充実に努めます。

また、交通事故のない社会を目指し、市民及び警察等関係機関と連携した取組など、交通安全対策の充実に図ります。

また、防犯体制の整備や食品・環境衛生対策など生活衛生の向上、消費者の権利保護と自立促進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
消防・救急の充実強化	81%	B
防災・減災対策の充実	100%	A
交通安全対策の充実	100%	A
防犯体制の整備	100%	A
生活衛生の向上	100%	A
消費者の権利保護と自立促進	96%	A
平均	96%	A

3 政策の評価

安全で安心して暮らせる社会環境の形成に向けて、6施策に取り組んだ。

「防災・減災対策の充実」、「交通安全対策の充実」、「防犯体制の充実」、「生活衛生の向上」及び「消費者の権利保護と自立促進」の5施策では、設定する7つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「消防・救急の充実強化」では、設定する2つの成果指標のうち、救命率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は96%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
消防・救急の充実強化	48.6%	5.1%	76.6%
防災・減災対策の充実	30.3%	17.7%	83.7%
交通安全対策の充実	24.7%	25.2%	79.9%
防犯体制の整備	20.3%	23.1%	77.9%
生活衛生の向上	29.5%	9.3%	65.7%
消費者の権利保護と自立促進	17.2%	8.5%	45.8%
平均	28.4%	14.8%	71.6%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


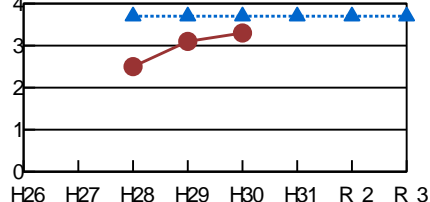
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	B	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成			課・室名	消防局総務課
	施策	消防・救急の充実強化			電話番号	087-861-2502


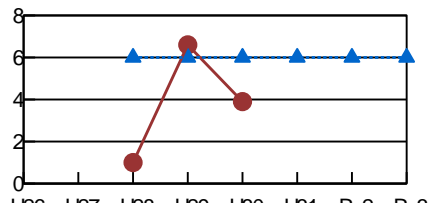
1 施策の目的

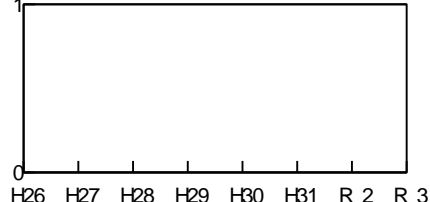
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	出火率	%	2.5	3.1	3.3	3.7	3.6	 目標達成度 (達成度) 110.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	住宅火災の減少を目的とした住宅用火災警報器の設置促進や火災予防広報活動による意識啓発を継続的に実施することにより、引き続き目標値を達成できている。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	救命率	%	1	6.6	3.9	6	8	 目標達成度 (達成度) 65.0% 19点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	応急手当普及啓発活動や「まちかど救急ステーション」事業の推進など、継続的な取組により心肺蘇生等の知識を持つ市民は少しずつ増えているが、目標値は達成できなかった。その要因は、救急要請件数や、高齢者の増加等が影響していると考えられる。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	2位 (46.0%)	1位 (49.5%)	2位 (48.6%)
不満度	60位 (6.3%)	60位 (6.0%)	60位 (5.1%)
重要度	9位 (77.2%)	9位 (76.4%)	13位 (76.6%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,605,015	1,050,462	948,044	1,115,209
人件費	3,831,916	3,703,063	3,690,861	3,675,737
トータルコスト	5,436,931	4,753,525	4,638,905	4,790,946

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>ハード面における消防力の充実・強化を図るため、消防署所の耐震化及び消防車両の更新等を計画的に進めていく必要がある。一方、ソフト面では、地域コミュニティの変容や高齢化、人口減少等による消防需要の多様化に対応するため、消防団をはじめとする関係団体との連携を強化し、地域が持つ防災力を高め、総合的な消防力の強化に努める必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>ハード面においては、大規模災害への対応力強化のため、引き続き施設・装備等を計画的に整備・充実していく。ソフト面では、消防団員の確保・育成、ひとり暮らし高齢者宅防火診断等の実施による住宅防火対策の推進及び地域における防災訓練の支援等により、地域防災力の充実・強化を図っていく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
消防団の充実・強化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 消防団活動推進事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					（総合評価）		
救急活動の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		（評価対象外）救急艇等管理事業					
基本事業名					（総合評価）		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
消防施設・設備の整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		消防署所適正配置整備事業	100%	A	継続	消防署所の耐震化率	100.0%
						消防署所数	100.0%
		(評価対象外) 消防屯所整備事業					
		消防緊急情報システム整備事業	97%	A	完了	事業全体進捗率	100.0%
		(評価対象外) 消防職員研修事業					
		(評価対象外) 消防活動事業					
		(評価対象外) 消防署所管理事業					
		(評価対象外) 消防事務管理事業					
		(評価対象外) 消防屯所管理事業					
		(評価対象外) 消防車輛整備事業					
		(評価対象外) 消防水利整備事業					
		(評価対象外) 消防業務受託事業					

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


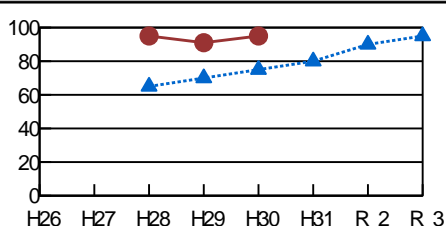
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成			課・室名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実			電話番号	087-839-2184

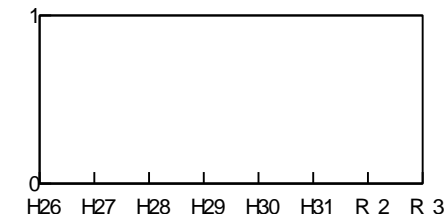
1 施策の目的

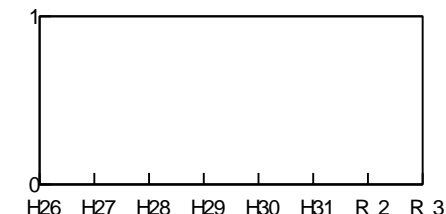
対象（誰、何を対象としているか）
市民等

意図（どのような状態にしたいのか）
市民等の防災意識を高めるとともに、地域及び国・県等防災関係機関と連携し、防災・減災対策の充実を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	地域における防災訓練の実施率	%	95	91	95	90	100	 目標達成度 (達成度) 126.7% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	防災訓練で使用する非常食品を助成するなどして、防災訓練の実施を促進した。実施率は、台風の影響を受けたが、前年度より、4ポイント増加した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	22位 (26.6%)	21位 (25.7%)	17位 (30.3%)
不満度	28位 (16.7%)	26位 (17.9%)	22位 (17.7%)
重要度	6位 (79.2%)	5位 (78.9%)	3位 (83.7%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	2,360,295	7,725,914	1,291,874	533,028
人件費	158,590	156,292	161,222	113,354
トータルコスト	2,518,885	7,882,206	1,453,096	646,382

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【総務局】防災ラジオの普及など災害時の緊急放送体制の整備を進めた。【財政局】高松市防災合同庁舎（危機管理センター）の早期供用開始に向け、整備を推進した。【都市整備局】大雨の発生頻度が高まっており、県と連携した急傾斜地崩壊防止事業を推進した。また、住宅・建築物の補助制度を活用した耐震化を促進した。また、鉄道事業者が実施する長寿命化事業の費用の一部を助成し、鉄道施設の長寿命化を推進した。【消防局】全ての地域で防災訓練の実施を指導し、未実施の地域は早期の実施を促進した。【教育局】学校施設（屋内運動場）における非構造部材の耐震化対策を実施した。</p>

施策推進の方向性
<p>安全で安心して暮らせる環境整備のため、着実に各事業を継続し実施する。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
備蓄品や防災資機材の確保					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)水防対策事業					
		災害時緊急物資備蓄事業	97%	A	継続	賞味期限切れ前備蓄物資の総数	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		デジタル式同報系防災行政無線整備事業	85%	B	継続	防災ラジオ普及率	84.8%
		(評価対象外) 防災行政無線事業					
		防災合同庁舎整備事業	100%	A	完了	危機管理センター(仮称)等施設整備進捗率	100.0%
		防災IoT活用事業	100%	A	継続		
基本事業名					(総合評価) A		
避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		小・中学校施設天井等落下防止対策事業	96%	A	継続	小・中学校非構造部材耐震化率	96.0%
		住宅建築物耐震改修等事業	93%	A	継続	民間住宅の耐震診断実施済棟数(累積)	89.4%
						民間住宅の耐震改修実施済棟数(累積)	113.2%
		急傾斜地崩壊防止事業	100%	A	継続	完成までの進捗率	105.5%
		鉄道施設安全対策事業	97%	A	継続	耐震補強化率(事業費ベース)	100.0%
						長寿命化率(事業費ベース)	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
市民及び地域の防災意識と防災力の向上							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		自主防災組織等育成事業	97%	A	継続	避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率	102.5%
		(評価対象外) 防災事業					
		(評価対象外) 国民保護推進事業					
		地域防災対策事業	100%	A	継続	高松市民防災講演会参加人数	118.6%
		(評価対象外) 地震災害等救援事業					
		(評価対象外) 地域防災計画見直し事業					
		市民防災力向上推進事業	100%	A	継続	ぼうさいまちカフェ年間参加人数	111.0%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


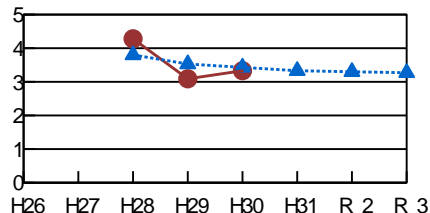
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成			課・室名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実			電話番号	087-839-2555


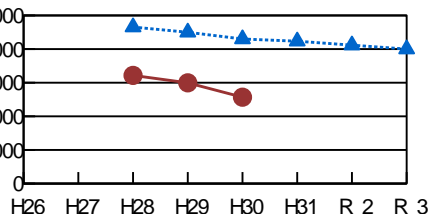
1 施策の目的

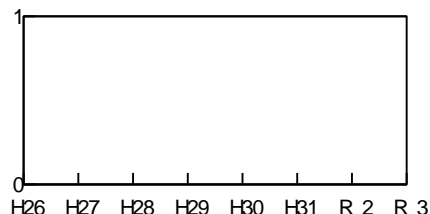
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	人口10万人当たりの交通事故による死者数	人	4.28	3.09	3.33	3.3	3.23	 目標達成度 (達成度) 102.9% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	交通事故による死者数は、平成29年の13人から30年は14人と1人増加したものの、目標値は達成しており、引き続き、交通安全教育・啓発の推進と交通環境の整備を推進していく。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	交通事故発生件数	件	3,217	2,996	2,569	4,117	3,764	 目標達成度 (達成度) 140.3% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成18年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、30年も対前年比86%の件数と順調に推移している。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) —
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	44位 (19.6%)	28位 (22.5%)	27位 (24.7%)
不満度	3位 (34.3%)	3位 (32.7%)	6位 (25.2%)
重要度	2位 (82.4%)	6位 (78.2%)	5位 (79.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	142,696	134,951	127,838	120,924
人件費	93,662	90,513	89,458	88,854
トータルコスト	236,358	225,464	217,296	209,778

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局・都市整備局】高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。</p> <p>今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>市民満足度調査において不満度は改善傾向にあるものの、依然として高い状況であることも踏まえ、引き続き、交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進していく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
交通安全教育・啓発の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		交通安全教育等推進事業	90%	A	継続	幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数	93.2%
						高齢者交通安全教室等参加者数	88.0%
		交通安全啓発推進事業	87%	A	継続	交通安全フェア参加者数	80.0%
						統一街頭キャンペーン参加者数	100.4%
		(評価対象外) 交通事故相談事業			廃止		
		高齢者交通安全啓発推進事業	93%	A	継続	ICカード乗車券交付申請者数	113.0%
						高齢者交通安全教室等参加者数	88.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
交通環境の整備					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		違法駐車防止対策事業	100%	A	縮小	違法駐車防止重点区域における平均瞬間違法駐車台数	111.2%
		(評価対象外) 放置自動車等対策事業					
		(評価対象外) 交通安全施設整備事業					
		(評価対象外) 番町地下道管理事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


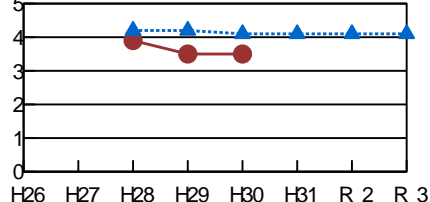
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成			課・室名	くらし安全安心課
	施策	防犯体制の整備			電話番号	087-839-2555

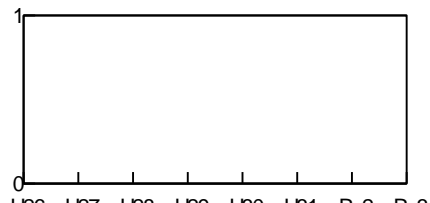
1 施策の目的

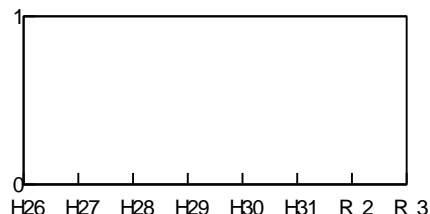
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
犯罪の未然防止や、犯罪などを発生させない環境づくりを推進し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、各地域コミュニティ協議会が主体となった防犯活動を活性化させる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	人口千人当たりの街頭犯罪等発生件数	件	3.9	3.5	3.5	4.1	4	 目標 達成度 (達成度) 114.6% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	全国の刑法犯認知件数は前年比10.7%減で16年連続の減少となっている。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標 達成度 (達成度) —
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標 達成度 (達成度) —
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	33位 (21.9%)	32位 (21.8%)	37位 (20.3%)
不満度	10位 (23.4%)	14位 (22.0%)	11位 (23.1%)
重要度	8位 (77.9%)	12位 (75.5%)	9位 (77.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	148,849	162,386	80,353	91,614
人件費	6,281	6,070	6,050	6,050
トータルコスト	155,130	168,456	86,403	97,664

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
高齢者世帯が増加し、単位自治会への加入率も低下する中、地域自ら防犯意識の高揚を図り、地域が主体となった防犯体制を整備する必要がある。

施策推進の方向性
犯罪の未然防止や犯罪などを発生させない環境づくりを一層進めるため、引き続き、地域の単位自治会が管理する防犯灯の新設や維持管理に要する費用に対し、支援を行うほか、防犯協会とも連携し、防犯意識の高揚を図るための取組を推進していく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) C		
防犯意識の普及啓発と防犯活動の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		防犯活動推進事業	65%	C	改善継続	青色防犯活動助成達成率	57.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
防犯施設の整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		防犯組織・環境整備事業	97%	A	継続	総防犯灯数	107.7%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


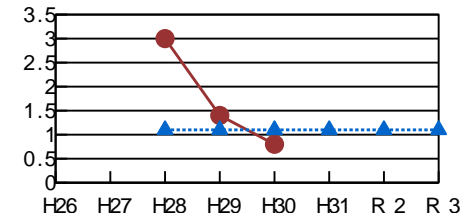
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成			課・室名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上			電話番号	087-839-2865


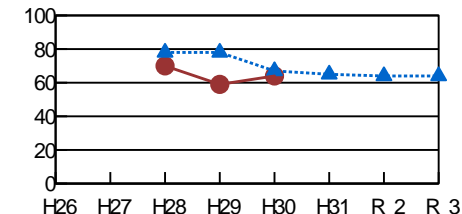
1 施策の目的

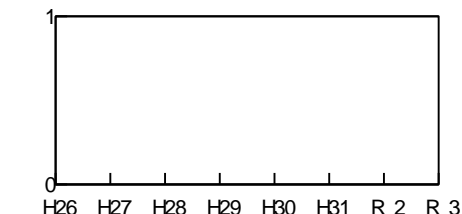
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
飲食店営業施設等の食品関係営業施設や毒物劇物営業施設、旅館業営業施設等諸営業施設、ペットショップ等の動物取扱施設における監視・指導や流通食品の収去検査等を行うほか、墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、衛生水準の向上に努め、安全で快適な市民生活の推進に寄与する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	食品衛生等違反指導率	%	3	1.4	0.8	1.1	1	 目標達成度 (達成度) 127.3% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	従来からの監視指導に加え、立入監視施設数を増加したことにより、違反施設数が減少し、違反指導率の目標値は達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	犬・猫の殺処分率	%	70	59	64	64	64	 目標達成度 (達成度) 104.5% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	野犬対策を強化したことにより、犬の収容数が前年度より増加したが、殺処分率の目標値は達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	23位 (25.5%)	20位 (25.9%)	18位 (29.5%)
不満度	54位 (10.5%)	46位 (11.0%)	54位 (9.3%)
重要度	34位 (60.9%)	35位 (62.6%)	32位 (65.7%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	474,175	412,691	748,062	584,243
人件費	397,261	383,902	376,588	366,757
トータルコスト	871,436	796,593	1,124,650	951,000

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】墓地環境の適正な維持管理、及び墓所需要に応じた墓所の供給が求められている。また、施設の適正な維持管理により、斎場業務を円滑に実施するほか、低価格で内容も充実している市民葬儀制度の活用を促進するため、普及啓発を積極的に実施する。</p> <p>【健康福祉局】食に関する市民の関心が高まったことなどから、食品の安全確保対策を、より一層強化するほか、各種衛生対策や動物愛護の普及啓発等を積極的に実施する。</p>

施策推進の方向性
<p>食品衛生法に基づく各種営業施設等に対する監視・指導などの食品衛生対策を推進するほか、動物愛護の推進や墓地、斎場の安定的な維持・運営等を実施することにより、引き続き、生活衛生の向上に取り組んでいく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
毒物・劇物衛生対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 毒物劇物監視指導事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
動物譲渡の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 動物愛護管理事業					
		動物愛護センター整備等事業	97%	A	継続	殺処分率	104.5%
						動物愛護センター整備進捗率	100.0%
基本事業名					(総合評価)		
食品衛生対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 食品衛生監視指導事業					
		(評価対象外) 衛生試験検査事業					
		(評価対象外) 食肉衛生検査事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
環境衛生対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		害虫駆除事業	100%	A	継続	衛生害虫(主に蚊)媒介感染症罹患者数(海外渡航後発症等を除く)	100.0%
		公衆浴場施設改善事業等助成事業	97%	A	継続	一般公衆浴場数(銭湯)	100.0%
		(評価対象外)環境衛生諸営業等監視指導事業					
		(評価対象外)水道施設等衛生管理指導事業					
基本事業名					(総合評価) A		
墓地、斎場の安定的な維持、運営							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		墓園・墓地整備事業	98%	A	継続	新規墓所使用許可数(累計)	99.3%
		(評価対象外)墓園・墓地管理事業					
		(評価対象外)斎場等管理運営事業					
		市民葬儀事業	93%	A	継続	市民葬儀利用率	95.3%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


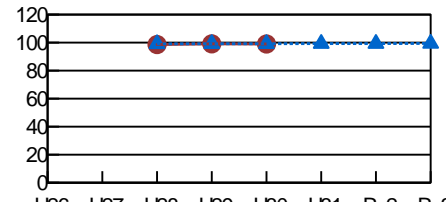
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成			課・室名	くらし安全安心課
	施策	消費者の権利保護と自立促進			電話番号	087-839-2067

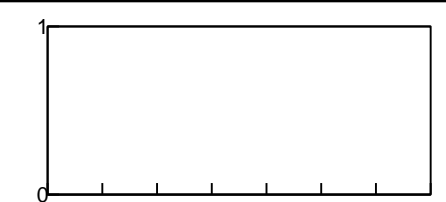
1 施策の目的

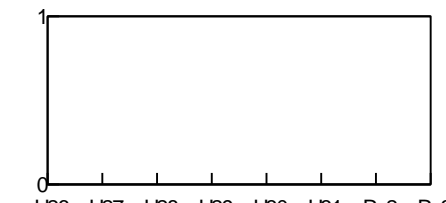
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
消費者が安心・安全に暮らせるために、賢い消費者として自立促進を行う。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	消費生活相談における解決割合	%	98.6	99.1	99.3	99.3	99.5	 目標達成度 (達成度) 99.8% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	全体の相談件数は、昨年度は、一昨年度に比べ136件減少したが、相談内容は、多様化・複雑化していることから、最新の傾向を把握し、消費者に対し適切な助言等の対応が必要である。また、相談員が、適切な助言等を行えるよう研修等に参加し相談業務等のスキルアップを行う。なお、目標はほぼ達成することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	48位 (17.9%)	55位 (13.9%)	51位 (17.2%)
不満度	59位 (8.1%)	59位 (6.3%)	57位 (8.5%)
重要度	56位 (45.3%)	58位 (41.3%)	57位 (45.8%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	14,572	14,319	14,773	15,009
人件費	23,553	22,761	22,686	22,686
トータルコスト	38,125	37,080	37,459	37,695

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>今後も消費者団体を支援しながら、より連携を強化していく。また、年々手口が巧妙化している悪質商法に対応できるよう、消費生活センターの相談体制堅持及び機能強化を行い、消費生活における安全安心を確保していくことが求められる。</p>

施策推進の方向性
<p>消費者の利益の確保及び消費者被害のより一層の救済を目指す。そのために、消費者が参加できるイベント・機会の提供、消費生活相談員による相談事業はもとより、出前講座の実施及び消費者団体の支援等を実施し、賢い消費者の育成を行い、消費者保護を推進していく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
消費生活相談機能の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)消費生活相談事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
消費者の権利保護							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		消費者啓発事業	94%	A	継続	消費者月間事業等の満足度	100.8%
		(評価対象外)計量検査事業					
基本事業名					(総合評価) A		
消費者団体への活動支援と運営の活性化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		消費者団体支援事業	94%	A	改善継続	高松市消費者団体連絡協議会主催事業の参加者数	191.5%
		廃食油収集事業	93%	A	継続	廃食油収集量	95.7%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画 画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成	

1 政策の概要

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を図るため、ごみの減量と再資源化を推進するとともに、一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止に努めます。
また、環境保全意識の啓発等の環境保全活動を推進するとともに、再生可能エネルギーの利用促進などの地球温暖化対策を行い、低炭素社会の構築を目指します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
ごみの減量と再資源化の推進	93%	A
廃棄物の適正処理	91%	A
不法投棄の防止	100%	A
地球温暖化対策の推進	86%	A
環境保全活動の推進	96%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

環境と共生する持続可能な循環型社会の形成に向けて、5施策に取り組んだ。
「ごみの減量と再資源化の推進」、「不法投棄の防止」及び「環境保全活動の推進」の3施策では、設定する5つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。
「廃棄物の適正処理」では、設定する2つの成果指標のうち、一般廃棄物の年間埋立処分量において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
「地球温暖化対策の推進」では、設定する2つの成果指標のうち、地球温暖化防止のための取組実施率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は93%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
ごみの減量と再資源化の推進	26.3%	19.7%	74.8%
廃棄物の適正処理	31.2%	11.8%	73.1%
不法投棄の防止	23.6%	21.0%	69.9%
地球温暖化対策の推進	13.1%	13.4%	60.1%
環境保全活動の推進	20.2%	10.6%	56.9%
平均	22.9%	15.3%	67.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


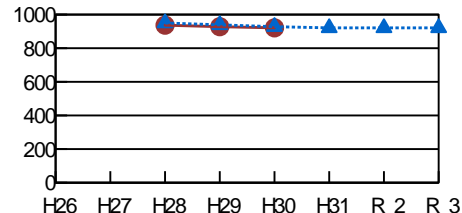
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成			課・室名	環境保全推進課
	施策	ごみの減量と再資源化の推進			電話番号	087-839-2393


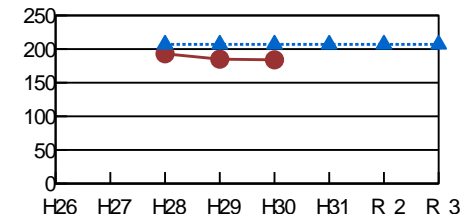
1 施策の目的

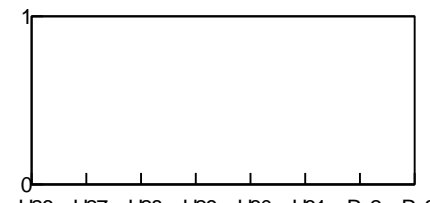
対象（誰、何を対象としているか）
ごみを排出する市内の家庭や事業所

意図（どのような状態にしたいのか）
ごみの減量と再資源化の推進により、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	1人1日当たりのごみ排出量	g / 人	937	928	921	928	880	 目標達成度 (達成度) 100.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	施策構成基本事業と事務事業の積極的かつ継続的推進と市民・事業者の「ごみの減量と再資源化」に対する意識の向上等により、目標を達成することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	1人1日当たりの資源化量	g / 人	193	185	184	207	207	 目標達成度 (達成度) 88.9% 26点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	家庭から分別して出された資源ごみや小型家電等のリサイクル、正しいごみの分別方法の周知等によるごみの減量・リサイクルの推進に向けた事業を実施しているが、目標達成には至らなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	6位 (37.7%)	7位 (34.7%)	24位 (26.3%)
不満度	50位 (11.3%)	51位 (10.3%)	17位 (19.7%)
重要度	21位 (69.2%)	26位 (67.7%)	15位 (74.8%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	374,874	355,631	350,975	397,204
人件費	36,115	34,142	36,298	36,298
トータルコスト	410,989	389,773	387,273	433,502

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>市民・事業者の「ごみの減量と再資源化の推進」に対する意識の向上と分別の徹底等により、さらにごみの減量と再資源化を進める必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>引き続き、「ごみの減量と再資源化の推進」に積極的に取り組むことにより、環境への負荷の低減と限りある資源の有効利用を通じて、上位目標である政策「環境と共生する持続可能な循環型社会の形成」を目指す。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
ごみの発生抑制の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		レジ袋等削減推進事業	95%	A	拡充	協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数	97.4%
		事業系ごみ減量推進事業	89%	A	継続	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率	90.3%
		家庭系ごみ減量推進事業	88%	A	継続	生ごみ処理機等使用による生ごみ減量値（推定）	85.7%
		食品ロス対策等推進事業	97%	A	継続	食品ロス認知度	113.1%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
ごみの減量・リサイクルの推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		家庭系ごみ有料化事業	98%	A	継続	有料指定収集袋使用枚数(特小換算)	99.4%
		ごみ減量・資源化啓発事業	96%	A	継続	プラスチック容器包装ごみの再資源化割合	96.8%
		ごみ再資源化事業	100%	A	継続	缶・びん・ペットボトル資源化量	105.1%
						プラスチック資源化量	102.4%
		小型家電等リサイクル推進事業	69%	C	継続	年間回収量	70.0%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


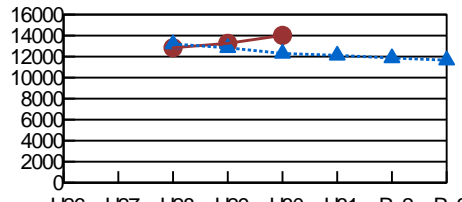
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	A	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成				課・室名	環境指導課
	施策	廃棄物の適正処理				電話番号	839-2380


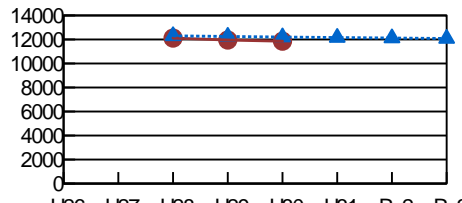
1 施策の目的

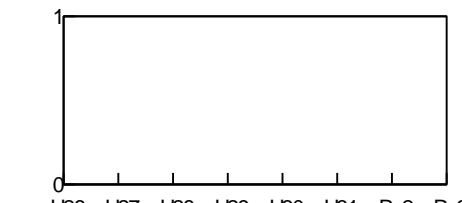
対象（誰、何を対象としているか）
一般廃棄物（し尿を含む）を排出する市民及び市内の事業者並びに産業廃棄物を排出する事業者や廃棄物の収集運搬・処分を行う者等。

意図（どのような状態にしたいのか）
一般廃棄物及び産業廃棄物の排出を抑制し、適正かつ効率的な処理を推進するとともに、将来に向けた安定した処理体制を構築することにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の形成に寄与する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	一般廃棄物の年間埋立処分量	t	12,844	13,263	14,022	11,870	11,270	 目標達成度 (達成度) 86.0% 25点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報紙等で周知・啓発に努めた。基幹的設備改良工事に伴い停止していた西部クリーンセンターの焼却炉の稼働を平成30年2月に再開したことにより、同センターでの処理量が工事着手前の状況に戻った（外部委託処理を終了した）ことから、焼却灰等の年間埋立処分量が増加した。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	産業廃棄物の不適正保管量	t	12,116	11,953	11,857	12,120	12,000	 目標達成度 (達成度) 102.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
継続的・定期的な指導を行ったことにより、前年度と比較し、不適正保管量が減少し、目標値を達成した。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	12位 (31.6%)	17位 (26.6%)	14位 (31.2%)
不満度	49位 (11.4%)	53位 (9.8%)	42位 (11.8%)
重要度	29位 (65.5%)	33位 (63.5%)	18位 (73.1%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	4,816,493	8,841,733	4,384,997	3,153,311
人件費	1,473,947	1,465,808	1,427,706	1,344,524
トータルコスト	6,290,440	10,307,541	5,812,703	4,497,835

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。・西部クリーンセンター等施設の老朽化に伴い、適切な維持管理と効率的な運転管理で施設の延命化を図る必要がある。・し尿等の処理については、下水道との共同処理を行っており、引き続き、適正に処理を行う必要がある。・排出事業者の責任や収集運搬・処分を行う者の責務について、更に理解を深めてもらい、適正処理を推進していく必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>新たな一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の発生抑制、適正処理、資源化を推進し、ごみ処理施設の適切な維持管理を図るとともに、市の収集運搬体制の検討にも取り組み、公衆衛生の向上及び循環型社会の形成に貢献していく。・し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。・産業廃棄物については、排出事業者や許可業者等に指導や啓発活動により、排出抑制や適正処理及び再生利用の推進を図る。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
産業廃棄物適正処理の促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 産業廃棄物適正処理指導事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
し尿の適正処理の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		災害時し尿処理事業	100%	A	継続	簡易トイレ備蓄率	100.0%
						し尿凝固剤備蓄率	100.0%
		し尿中継貯留槽整備事業	82%	B	完了	し尿中継貯留槽整備率	100.0%
		し尿処理施設跡地利用事業	94%	A	継続	解体・跡地整備進捗率	106.0%
		(評価対象外) 離島し尿収集事業					
		(評価対象外) 衛生センター管理事業					
		(評価対象外) し尿中継貯留槽管理事業					
		(評価対象外) 衛生処理センター跡地管理事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
ごみの適正処理の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)ごみ処理計画推進事業					
		ごみ適正処理指導事業	92%	A	継続	不適正管理ごみステーション対応件数	97.7%
		(評価対象外)ごみ収集運搬事業					
		(評価対象外)ごみ処理関連施設統廃合整備事業					
		(評価対象外)ごみ最終処分場管理事業					
		(評価対象外)南部クリーンセンター管理運営事業					
		(評価対象外)南部クリーンセンター場内整備事業					
		(評価対象外)西部クリーンセンター管理運営事業(焼却処理)					
		(評価対象外)一般廃棄物最終処分場整備事業					
		(評価対象外)西部クリーンセンター管理運営事業(破碎処理)					
		西部クリーンセンター大規模改修事業	85%	B	継続	西部クリーンセンター大規模改修整備進捗率	85.4%
		南部クリーンセンター次期運営方法等検討事業	100%	A	完了	次期運営方法等検討事業の進捗率	100.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


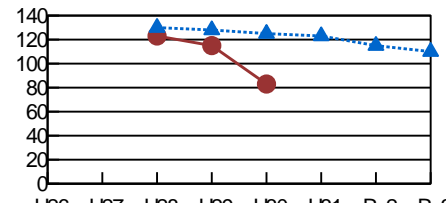
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	A	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成				課・室名	適正処理対策室
	施策	不法投棄の防止				電話番号	839-2370

1 施策の目的

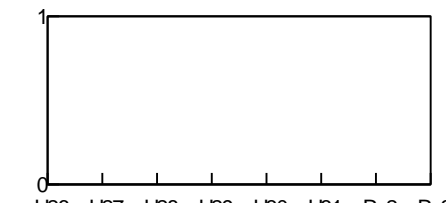
対象（誰、何を対象としているか）
高松市内全域における不法投棄が見られる地域

意図（どのような状態にしたいのか）
不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で、美しい高松を実現する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	不法投棄通報、相談件数	件	123	115	83	115	100	 目標達成度 (達成度) 133.6% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	不法投棄の通報及び相談件数は目標に達している。しかし、不法投棄はまだまだ後を絶たない状況であるため、引き続き市民の環境美化意識の高揚を図る必要がある。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	ボランティア清掃の参加者数	人	186,105	186,229	191,122	159,300	160,000	 目標達成度 (達成度) 121.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	目標を大きく超える参加者数であったが、今後も引き続き啓発を行っていく。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	29位 (22.9%)	27位 (22.8%)	29位 (23.6%)
不満度	15位 (20.9%)	21位 (19.8%)	14位 (21.0%)
重要度	27位 (66.1%)	30位 (66.5%)	26位 (69.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	860	1,052	1,567	1,197
人件費	47,106	45,522	45,372	45,372
トータルコスト	47,966	46,574	46,939	46,569

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
平成28年度のクリーン作戦において、イノシシに襲われ大けがをすといった事故があったことから、29年度から全てのクリーン作戦に傷害保険を掛け事故があった場合の対策を行った。また、当日のクリーン作戦においても香川県猟友会や高松市農林水産課の協力のもとパトロールを実施しイノシシ対策を行った。

施策推進の方向性
監視パトロールの強化等による不法投棄の早期発見、早期対応を図るとともに、市民や事業者と連携してクリーン作戦を実施し、不法投棄撲滅及び意識啓発のための取組を進める。クリーン作戦については、イノシシ対策を講じるとともに、地区衛生組合協議会やコミュニティ協議会等と早めの時期から協議を行い、安全面に重点を置いて取り組んでいく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
協働・連携による不法投棄防止							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高松ふれあいクリーン事業	82%	B	継続	不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	67.7%
						不法投棄苦情処理件数	133.6%
		不法投棄防止対策事業	60%	C	継続	不法投棄書類送検件数	52.6%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


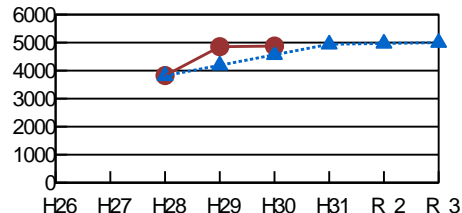
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	A	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成			課・室名	地球温暖化対策室
	施策	地球温暖化対策の推進			電話番号	839-2394


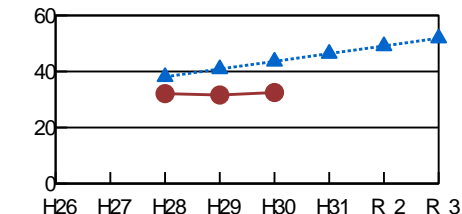
1 施策の目的

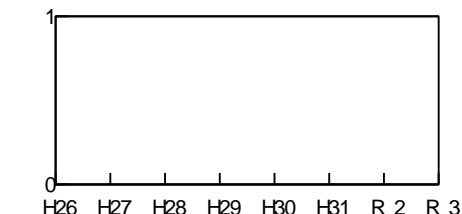
対象（誰、何を対象としているか）
市民・事業者

意図（どのような状態にしたいのか）
市民・事業者との協働を進めながら、温室効果ガスの排出抑制となる施策を推進し、地球温暖化対策を進める。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市有施設における再生可能エネルギー発電設備の発電出力	kW	3,824	4,854	4,876	4,970	5,060	 目標達成度 (達成度) 106.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
これまで、小・中学校を中心に設置しており、平成30年度は木太コミュニティセンター及びみんなの病院に設置しており、目標は達成できた。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	地球温暖化防止のための取組実施率	%	32.1	31.6	32.5	49.1	57.4	 目標達成度 (達成度) 74.5% 22点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
ホームページ及び広報媒体（広報誌、ケーブルテレビ等）、啓発展示に加え、「たかまつCOOL CHOICEキャンペーン」を実施し、温暖化防止に向けた普及啓発に努めた。13項目中9項目で取組実施率は増加しているが、目標値を下回った結果となった。（家庭における地球温暖化防止のための取組率）								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	54位（14.5%）	51位（15.9%）	59位（13.1%）
不満度	41位（13.4%）	38位（13.9%）	39位（13.4%）
重要度	42位（56.6%）	46位（53.7%）	38位（60.1%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	81,185	57,697	77,736	57,165
人件費	40,116	38,882	34,968	38,749
トータルコスト	121,301	96,579	112,704	95,914

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
課題となっていた家庭部門及び業務部門での温室効果ガス排出量は、前年比及び基準年比ともに減少しており、今後も引き続き啓発していく。

施策推進の方向性
家庭部門、業務その他部門及び運輸部門における温室効果ガスの排出抑制に向けて、引き続き周知啓発を進める。また、再生可能エネルギーの利活用を進める。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
再生可能エネルギーの利用促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		低排出ガス・低公害車・省エネルギー車公用車導入事業	96%	A	継続	低公害車等占有率	95.9%
		再生可能エネルギー普及促進事業	65%	C	継続	総電力消費量に占める太陽光発電補助による発電量の割合	100.0%
						太陽熱利用システム年間二酸化炭素削減量	10.0%
		(評価対象外)市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進事業					
		(企業会計)東部下水処理場バイオマス発電事業	100%	A	継続	売電収入(税抜)	129.6%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
低炭素社会に向けた行動の展開							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		緑のカーテン事業	91%	A	継続	「たかまつ緑のカーテン・コンテスト」応募件数	163.3%
		(評価対象外)地球温暖化対策推進事業					
		電気自動車等普及促進事業	68%	C	縮小	市内における電気自動車保有台数	73.1%
		COOL CHOICE 啓発事業	97%	A	継続	本事業によるCOOL CHOICE賛同者数	103.0%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


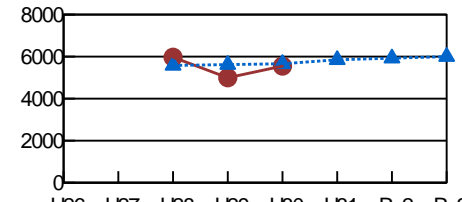
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	A	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成				課・室名	環境保全推進課
	施策	環境保全活動の推進				電話番号	

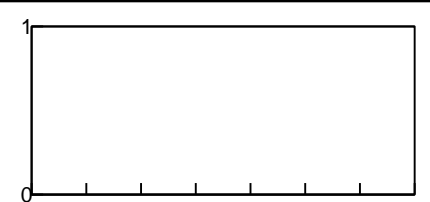
1 施策の目的

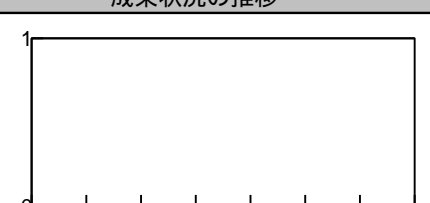
対象（誰、何を対象としているか）
市民・事業者

意図（どのような状態にしたいのか）
一人一人が環境問題を考え、行動するとともに、市民・事業者・行政の協働を進めながら、あらゆる分野において、環境に配慮した持続可能な社会に向けた施策を推進し、人と環境にやさしいまちづくりとして、良質な環境の保全に努める。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	環境学習参加者数	人	5,970	4,994	5,550	5,660	6,100	 目標達成度 (達成度) 98.1% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	環境学習参加者数は、目標の5,660人には届かなかったが、昨年度より556人増加しており、市民の環境意識の向上が図られている。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	46位 (18.9%)	46位 (16.5%)	38位 (20.2%)
不満度	48位 (11.6%)	51位 (10.3%)	51位 (10.6%)
重要度	47位 (54.0%)	47位 (52.4%)	44位 (56.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	83,356	79,002	80,272	83,178
人件費	114,782	115,474	121,899	122,656
トータルコスト	198,138	194,476	202,171	205,834

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【環境局】環境学習活動や清掃活動など、市民・事業者・行政が、連携して環境保全活動に取り組む必要がある。【創造都市推進局】補助事業終了後も、里山やため池の保全活動が継続して実施されるよう、地域住民へ里山やため池に対する保全の大切さを認識していただくことが必要である。【都市整備局】市が管理する道路等の施設管理には、地元市民団体の協力が不可欠であることから、市民との協働事業として、環境意識の向上を図る必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>環境展や環境学習講座の実施などの啓発事業や、清掃活動などの環境美化、公害への対策などを継続実施することにより、環境保全活動の推進を図り、環境と共生する持続可能な循環型社会の形成を目指す。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
環境保全意識の啓発							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		環境保全推進事業	84%	B	継続	環境学習講座参加者数	86.2%
		(評価対象外) 環境基本計画推進事業					
		南部クリーンセンター環境学習事業	92%	A	継続	エコホテル自主企画講座参加者数 (見学会等を含む。)	89.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
環境汚染の防止							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 大気汚染防止対策事業					
		(評価対象外) 水質汚濁防止対策事業					
		(評価対象外) 公害対策事業					
		(評価対象外) 騒音・振動・悪臭規制事業					
基本事業名					(総合評価) A		
自然環境の保全・環境美化の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		「いざ里山」市民活動支援事業	96%	A	継続	里山・保全活動面積	96.0%
		環境美化推進事業	90%	A	継続	高松クリーンデーでの回収ごみの重量	95.4%
						高松クリーンデー参加者数	94.4%
		衛生組合活動促進事業	87%	A	継続	清掃活動(河川清掃等)を実施する地区衛生組合協議会数	86.4%
		(評価対象外) 公衆便所管理等事業					
		たかまつマイロード事業	100%	A	継続	清掃延長	100.7%
		(評価対象外) コミュニティ広場管理事業					
		「ため池守り隊」市民活動支援事業	89%	A	継続	事業実施箇所数	89.5%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上

総合評価
A

1 政策の概要

豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、生活道路・公園の整備、緑の保全・創造を始め、良好な居住環境の整備や地籍調査の推進など、生活基盤の整備・充実を図ります。

また、自己処理水源の確保を始め、浄水場の老朽設備等の更新や耐震化、県内水道広域化などに取り組み、安定給水の確保を図るとともに、水質検査体制の充実による安全で良質な水の供給や持続可能な水環境の形成に努めます。

また、汚水・雨水対策の充実を図るとともに、港湾・漁港の整備や河川・水路環境の保全に努めるなど、都市基盤の充実・強化を図ります。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
居住環境の整備	96%	A
身近な道路環境の整備	100%	A
河川・港湾の整備	93%	A
みどりの保全・創造	100%	A
水の安定供給	97%	A
汚水・雨水対策の充実	100%	A
平均	97%	A

3 政策の評価

豊かな暮らしを支える生活環境の向上に向けて、6施策に取り組んだ。

「居住環境の整備」、「身近な道路環境の整備」、「河川・港湾の整備」、「みどりの保全・創造」、「水の安定供給」及び「汚水・雨水対策の充実」の6施策では、設定する12の成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は97%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
居住環境の整備	14.3%	24.4%	60.0%
身近な道路環境の整備	32.2%	22.3%	65.0%
河川・港湾の整備	27.4%	15.3%	67.1%
みどりの保全・創造	35.6%	11.1%	55.2%
水の安定供給	41.2%	9.0%	77.4%
汚水・雨水対策の充実	31.4%	10.0%	66.9%
平均	30.4%	15.4%	65.3%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上			課・室名	建築指導課
	施策	居住環境の整備			電話番号	087-839-2488

1 施策の目的


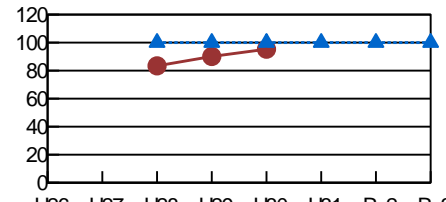
対象（誰、何を対象としているか）


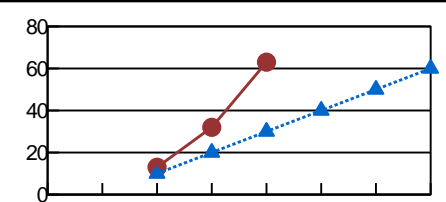
市民（市営住宅の入居者及び入居申込者、住居表示実施区域内の住民、地籍調査計画区域内の関係権利者、開発行為をしようとする者、建築物を建築しようとする者、空き家所有者等）

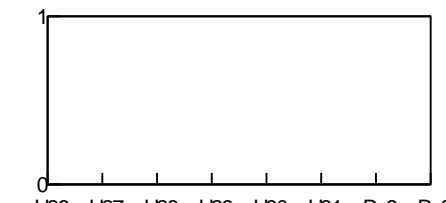
意図（どのような状態にしたいのか）

市営住宅の建設や適切な維持管理、住居表示設定、地籍調査の実施、開発行為や建築に係る許認可事務の適正な実施、空き家等対策の実施をすることにより、居住環境の整備水準の向上を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	建築物等の完了検査済証交付率	%	83.4	90.1	95.3	100	100	 目標達成度 (達成度) 95.3% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
建築主や建設業者等に完了検査の受検を周知したほか、追跡調査を実施した結果、完了検査済証交付率は高い値を維持している。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	老朽危険空き家除去支援件数	件	13	32	63	40	85	 目標達成度 (達成度) 210.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
老朽危険空き家の除却について、補助制度を活用し、31件の除却支援を行った。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	58位 (13.0%)	58位 (11.2%)	55位 (14.3%)
不満度	19位 (19.8%)	16位 (21.6%)	8位 (24.4%)
重要度	40位 (57.0%)	49位 (52.3%)	39位 (60.0%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,673,836	746,804	851,503	1,246,545
人件費	600,916	578,660	554,975	558,227
トータルコスト	2,274,752	1,325,464	1,406,478	1,804,772

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】倒壊の危険性や環境衛生面で問題のある空き家等には、防災、防犯、衛生、環境面などで多くの問題を含んでおり、対策が急がれる。</p> <p>【創造都市推進局】地籍調査は、災害時の復興事業を円滑に進めるためにも有効な事業であるため、調査の進捗率の向上が課題となっている。</p> <p>【都市整備局】市営住宅においては、老朽化による維持管理費等の増加と長寿命化計画に沿った効率的な事業実施が課題となっている。</p>

施策推進の方向性
豊かな暮らしを支える生活・居住環境の向上のため、各事業を引き続き継続し、着実に実施していく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) C		
空き家対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		空き家等対策事業	70%	C	継続	老朽危険空家除却支援件数	310.0%
						空家改修等支援件数	25.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
地籍調査の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 地籍調査事業					
基本事業名					(総合評価) A		
良好な住宅の供給							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 市営住宅管理事業					
		市営住宅建設事業	93%	A	継続	事業進捗率	96.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
良好な居住環境の形成							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)住居表示管理事業					
		(評価対象外)開発指導事業					
		(評価対象外)建築指導事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


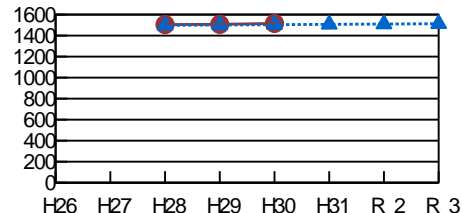
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上				課・室名	道路整備課
	施策	身近な道路環境の整備				電話番号	839-2516

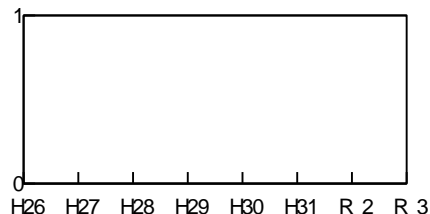
1 施策の目的

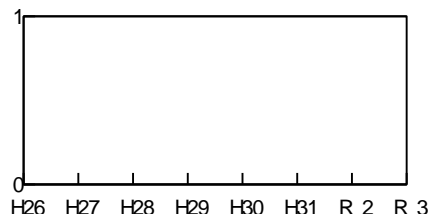
対象（誰、何を対象としているか）
市道利用者

意図（どのような状態にしたいのか）
道路の点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、良好な道路環境を確保するとともに、その整備・充実を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市道改良延長	K M	1,505	1,507	1,516	1,510	1,519	 目標達成度 (達成度) 100.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	建設計画登録路線や生活道路の整備を進め、目標を達成できた。 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの修繕や、舗装の補修等を適切に行い、良好な道路環境を確保することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	15位 (29.7%)	15位 (28.4%)	11位 (32.2%)
不満度	11位 (23.3%)	13位 (22.9%)	12位 (22.3%)
重要度	26位 (67.6%)	34位 (63.0%)	33位 (65.0%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	2,544,988	2,937,307	2,627,122	2,453,612
人件費	258,926	265,393	265,275	273,593
トータルコスト	2,803,914	3,202,700	2,892,397	2,727,205

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>道路の維持管理は、近隣6町との合併による管理区域の拡大から、より一層のコスト縮減が求められており、今後、橋りょうのみならず、舗装についても、維持管理コストの縮減を図っていく必要がある。</p> <p>また、道路の整備についても、財源を確保しつつ、平成28年度に創設した生活道路整備事業により効率的な整備が求められている。</p>

施策推進の方向性
<p>道路や橋りょうの点検、修繕及び適切な道路改良などを行うことにより、安全で安心できる道路環境を確保するとともに、その整備、充実を図る。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
生活道路の適正な維持管理							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		橋りょう改築修繕事業	82%	B	継続	橋修繕数(累積)	76.9%
		(評価対象外) 道路橋りょう維持管理事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
生活道路の整備・充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		道路整備事業(建設計画等登載路線)	82%	B	継続	道路整備率	75.8%
		(評価対象外)県管理河川改修関連橋りょう架替事業					
		(評価対象外)県施行道路整備事業地元負担金事業					
		道路新設改良事業	100%	A	継続	幅員4m以上の市道整備率	100.0%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


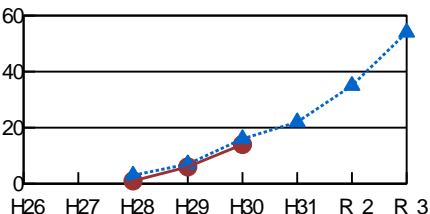
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上			課・室名	河港課
	施策	河川・港湾の整備			電話番号	087-839-2522


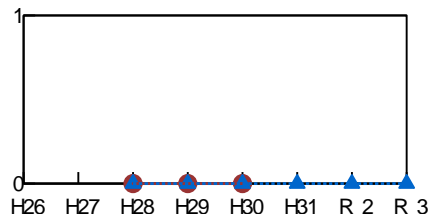
1 施策の目的

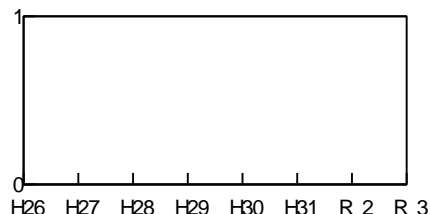
対象（誰、何を対象としているか）
河川・生活排水路・港湾・漁港・海岸などの施設

意図（どのような状態にしたいのか）
各施設の適正管理及び計画整備を行い、その機能を十分に発揮させる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	津波・高潮対策施設の整備率	%	1	6	14	35	100	 目標達成度 (達成度) 87.5% 26点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	庵治港において、平成30年度からの地震・津波対策事業の施設整備工事に向け、地質調査・基本設計・実施設計を行った。庵治港の地震・津波対策事業の一部を繰り越したことから、目標の整備率を達成できなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	治水施設の不具合による浸水発生件数	件	0	0	0	0	0	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	老朽化した河川の護岸や排水路の改修及びポンプの更新のほか、適時に堆積土砂のしゅんせつを実施したことで、施設の不具合による浸水発生件数は0件となり、目標を達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	21位 (26.9%)	30位 (22.0%)	22位 (27.4%)
不満足度	42位 (13.2%)	46位 (11.0%)	30位 (15.3%)
重要度	34位 (60.9%)	38位 (58.3%)	28位 (67.1%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	555,837	488,424	635,838	332,318
人件費	68,461	66,159	65,941	36,751
トータルコスト	624,298	554,583	701,779	369,069

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
事業の実施に当たり、厳しい財政状況を踏まえて、国・県に対し、引き続き補助要望を行い、予算確保に努める。

施策推進の方向性
引き続き、豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため、計画的に河川・港湾の整備事業を推進する。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
津波・高潮対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		津波・高潮関連整備事業	90%	A	継続	津波・高潮関連整備事業の進捗率	87.5%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
漁港・港湾施設の適正な維持管理							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 漁港施設管理事業					
		(評価対象外) 港湾施設管理事業					
基本事業名					(総合評価)		
治水施設の適正な維持管理							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 生活排水路整備事業					
		(評価対象外) 河川改良事業					
		(評価対象外) ポンプ場等整備・維持管理事業					

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上			課・室名	公園緑地課
	施策	みどりの保全・創造			電話番号	087-839-2494

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
公園の整備や緑地の保全等により、生活環境の向上を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市民1人当たりの都市公園等の面積	m ²	9.05	9.07	9.2	9.26	9.28	 目標達成度 (達成度) 100.9% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	仏生山駅前公園、りんくうスポーツ公園、大野ふれあい公園の整備が計画どおり完了し、供用開始したことにより、都市公園等の面積が増加した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	9位 (32.1%)	8位 (33.7%)	7位 (35.6%)
不満度	46位 (11.8%)	44位 (12.6%)	47位 (11.1%)
重要度	44位 (55.5%)	47位 (52.4%)	47位 (55.2%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	524,050	580,849	509,122	585,027
人件費	75,370	72,835	72,595	72,595
トータルコスト	599,420	653,684	581,717	657,622

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>第2次緑の基本計画に基づき、緑の保全・創造に取り組んでおり、運動公園であるりんくうスポーツ公園や、街区公園である仏生山駅前公園、大野ふれあい公園が完成する等、緑豊かなまちづくりを計画的に進めている。一方、多様化する市民の緑や公園に対する要望や、都市公園法等の一部法改正、上位計画である都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定を踏まえた基本計画の改定を、今年度実施予定である。なお、基本計画の主要事業である「1小学校区1公園」の身近な公園整備事業については、地域の実情等に留意し、整備基準、整備対象となる小学校区の優先順位等を考慮した計画策定が必要となっている。</p>

施策推進の方向性
<p>環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能等の多様な機能を持つ都市公園の整備や公園・街路樹の維持管理等の緑の保全に関する施策は、潤いと安らぎのある生活環境の創出に不可欠であることから、今後とも継続していくものとする。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
市民参加による緑の普及・啓発					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		花いっぱい推進事業	98%	A	継続	ボランティア管理花壇箇所数	97.2%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
公園・緑地の整備					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)ちびっこ広場整備事業					
		身近な公園整備事業	88%	A	継続	全体進捗率	83.9%
基本事業名					(総合評価)		
緑の創出							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)公園・街路緑化事業					
		(評価対象外)名木保護事業					
		(評価対象外)公園施設管理運営事業					

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


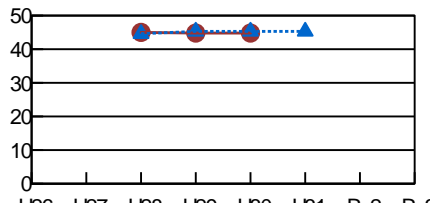
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上			課・室名	水環境対策室
	施策	水の安定供給			電話番号	087-839-2142


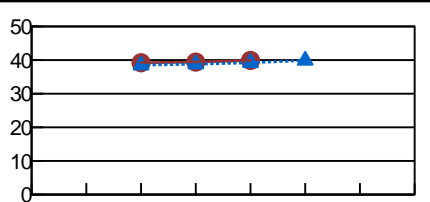
1 施策の目的


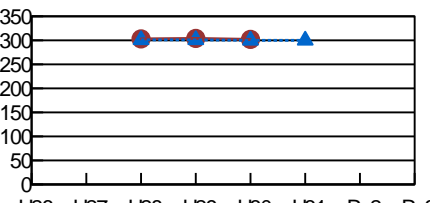
対象（誰、何を対象としているか）
市民、事業者

意図（どのような状態にしたいのか）
限りある水資源を有効利用することで、持続可能な水環境を形成するとともに、安心して、いつでも、いつまでも使える水道水を供給する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	自己処理水比率	%	45	44.8	44.8	45.3	50	 目標達成度 (達成度) 98.9% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	【参考：香川県広域水道企業団実績】 前年から自己処理水の配水量を僅かに増加させることができ、自己処理水比率を維持（微増）し、目標値をほぼ達成することができた。なお、夏季渇水による香川用水の取水制限は、平成30年8月12日から8月16日までの5日間であり、これによる自己処理水比率への影響は無い。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	基幹管路の耐震化適合率	%	39.2	39.4	39.9	39.2	42.6	 目標達成度 (達成度) 101.8% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	【参考：香川県広域水道企業団実績】 管路の布設、布設替を促進したため、目標値を達成できた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	1人1日当たり水道平均使用水量	L	303	304	302	300	299	 目標達成度 (達成度) 99.3% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	【参考：香川県広域水道企業団実績】 平年よりも日照時間が長く、かつ、平均気温が高い月が多かったが、節水意識の高揚などにより、昨年度に比べ水道使用水量が減少し、目標をほぼ達成することができた。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	2位（46.0%）	3位（44.2%）	5位（41.2%）
不満度	51位（10.8%）	55位（9.3%）	56位（9.0%）
重要度	5位（79.7%）	7位（77.2%）	10位（77.4%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	2,804,420	1,299,533	1,250,795	1,738,267
人件費	241,724	41,000	45,631	45,631
トータルコスト	3,046,144	1,340,533	1,296,426	1,783,898

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】水環境に関する取組は広範囲に及ぶため、市内部はもとより、香川県広域水道企業団・関係機関等の相互理解の下、連携・協力体制を構築することが必要である。【環境局】生活用水等確保対策事業については、利用件数が少ないことから、制度の周知を広く図り、自己の用に供する飲用水の安定的な確保を図る必要がある。【都市整備局】椋川ダム整備事業については、県施行に対する地元負担金について、厳しい財政状況を踏まえ、県に対し、負担金の軽減や、コストの縮減を要望している。再生水利用下水道整備事業の既存施設有効活用や雨水利用施設整備事業の制度周知により、更なる普及促進に努める必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>香川県広域水道企業団との連携を図り、引き続き、自己処理水源の確保に取り組むとともに、施設の耐震化や老朽化した施設の更新を計画的に実施して、安全で安定した水道水の供給に努める。</p> <p>さらに、水環境基本計画第2期実施計画の進行管理を適切に行い、持続可能な水環境の形成の実現に向けた取組を進める。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
持続可能な水環境の形成							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(企業会計) 再生水利用下水道整備事業	91%	A	改善継続	再生水利用施設数	100.0%
		我が家の水がめぐり事業	92%	A	継続	1人1日当たりの水道水平均使用量	99.3%
		(評価対象外) 水環境基本計画推進事業					
		(企業会計) 雨水利用施設整備事業	39%	D	継続	雨水貯留施設等整備基数	17.8%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
安定給水の確保							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 湧水対策事業					
		生活用水等確保対策事業補助事業	63%	C	継続	生活用水確保対策事業補助累積件数(21年度以降)	73.3%
						飲用水給水ホース等設置事業補助累積件数(21年度以降)	40.0%
		桜川ダム整備事業(建設事業、水源地域整備事業)	86%	A	継続	ダム本体整備率	88.6%
		(評価対象外)(企業会計)料金徴収事業(下水道業務課分)					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


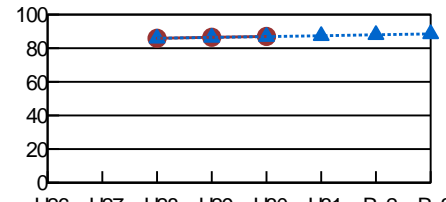
総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上				課・室名	下水道経営課
	施策	汚水・雨水対策の充実				電話番号	087-839-2765


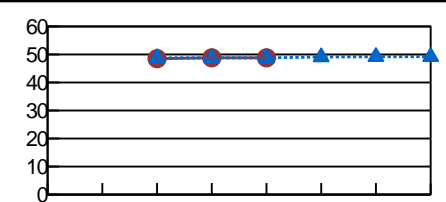
1 施策の目的


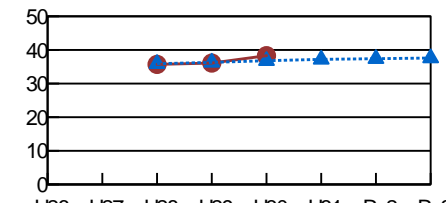
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水被害の軽減・解消、さらには、河川、海域等の公共用水域の水質保全を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	汚水処理人口普及率	%	85.9	86.5	87.0	88.0	89.3	 目標達成度 (達成度) 100.1% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	下水道汚水管きょの整備による5.9haの供用を始め、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進等により、汚水処理人口普及率が前年度から0.5%上昇の87.0%となり、目標を達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	雨水対策整備率	%	48.5	48.8	48.8	49.2	49.6	 目標達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	中心市街地の浸水対策として、東部地区において100mの雨水管工事を、また、西部地区において事業費換算で742m相当の雨水幹線工事を行い、雨水対策整備率48.8%と目標を達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	下水道管路耐震化率	%	35.7	36.1	38.3	37.4	37.8	 目標達成度 (達成度) 104.1% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	耐震性を確保した下水道管路の新設及び改築・更新を5.5km行い、耐震化率が前年度から2.2%上昇の38.3%となり、目標を達成した。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	8位 (33.4%)	16位 (27.7%)	13位 (31.4%)
不満度	29位 (16.6%)	39位 (13.6%)	53位 (10.0%)
重要度	22位 (68.9%)	32位 (63.8%)	29位 (66.9%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	52,280,847	24,752,485	22,824,080	25,950,131
人件費	539,134	536,614	673,087	681,015
トータルコスト	52,819,981	25,289,099	23,497,167	26,631,146

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>下水道事業計画区域内の汚水・雨水対策については、計画どおり整備を進めているが、生活排水対策を更に推進するため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進や、下水道未接続世帯の解消に努めるなど具体的な取組を継続的に行う必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>多核連携型コンパクト・エコシティの取組に配慮しつつ、第4次高松市生活排水対策推進計画に基づき、公共下水道の整備や、合併処理浄化槽の設置促進により、計画的かつ効果的な生活排水対策に取り組む。 また、中心市街地西部地区における浸水対策に取り組むなど、安全で安心なまちづくりを推進する。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
浸水対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(企業会計) 浸水対策施設整備事業(下水道整備課分)	100%	A	継続	雨水対策整備率	100.0%
		(企業会計) 浸水対策施設整備事業(下水道施設課分)	100%	A	継続	雨水対策整備率	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
汚水対策の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		合併処理浄化槽設置整備事業	100%	A	継続	合併処理浄化槽による汚水処理人口普及率	102.6%
		(企業会計) 汚水施設整備事業	79%	B	継続	下水道整備面積	99.4%
		(評価対象外) 浄化槽管理指導事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
下水道施設の適切な維持及び計画的な更新							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)(企業会計)農業集落排水施設管理等事業					
		(企業会計)下水道普及促進事業	100%	A	継続	下水道接続率(戸)	100.0%
		(評価対象外)(企業会計)下水道管渠維持管理等事業(下水道整備課分)					
		(評価対象外)(企業会計)再生水処理施設管理事業					
		(評価対象外)(企業会計)下水道施設維持管理事業					
		(評価対象外)(企業会計)下水道事業受益者負担金徴収事業					
		(評価対象外)(企業会計)下水道管渠維持管理等事業(下水道業務課分)					
		(評価対象外)(企業会計)下水道運営事業					

5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成	

1 政策の概要

コンパクトで魅力ある都市空間の形成を図るため、人口減少、少子・超高齢社会においても、活力を失わず、市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能な集約型都市の構築に向け、都市計画制度等の的確な運用により、適正な土地利用を推進するとともに、地域における拠点性の確保を図るなど、多核連携型コンパクト・エコシティの推進に努めます。また、自然・都市・歴史・文化の調和した、誰もが暮らしたい、訪れたいと感じる、美しいまちの実現に向け、景観の保全・形成・創出に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	95%	A
景観の保全・形成・創出	100%	A
平均	97%	A

3 政策の評価

コンパクトで魅力ある都市空間の形成に向けて、2施策に取り組んだ。「多核連携型コンパクト・エコシティの推進」及び「景観の保全・形成・創出」の2施策では、設定する3つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。以上により、政策を構成する施策の平均得点率は97%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
多核連携型コンパクト・エコシティの推進	18.6%	24.2%	65.0%
景観の保全・形成・創出	22.1%	20.4%	61.5%
平均	20.4%	22.3%	63.3%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


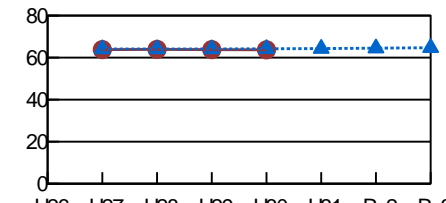
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成			課・室名	住宅・まちづくり推進室
	施策	多核連携型コンパクト・エコシティの推進			電話番号	087-839-2136


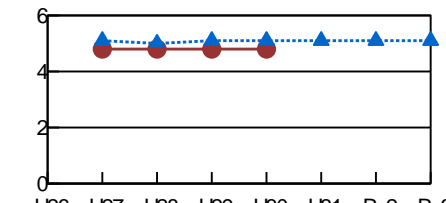
1 施策の目的

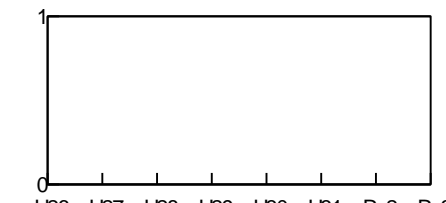
対象（誰、何を対象としているか）
高松市民

意図（どのような状態にしたいのか）
平成30年4月に改定した多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画に基づき、集約拠点への都市機能の集積と市街地の拡大抑制による、コンパクトで持続可能な都市構造「多核連携型コンパクト・エコシティ」の実現を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	用途地域内の人口比率	%	63.9	63.8	63.7	64.5	64.9	 目標達成度 (達成度) 99.2% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	前年度と比べ0.1%減少しており、目標値の達成には至っていない。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	中心市街地の居住人口の割合	%	4.8	4.8	4.8	5.1	5.1	 目標達成度 (達成度) 94.1% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	前年度から12人減の20,653人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の4.8%であり、目標値の達成には至っていない。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	58位 (14.1%)	56位 (13.1%)	48位 (18.6%)
不満度	24位 (18.6%)	11位 (23.6%)	9位 (24.2%)
重要度	54位 (47.3%)	44位 (54.5%)	33位 (65.0%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	432,925	349,714	169,137	15,819
人件費	101,670	110,770	93,542	66,037
トータルコスト	534,595	460,484	262,679	81,856

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】【都市整備局】平成30年3月に策定した立地適正化計画に基づき、今後、実効性のある誘導施策・事業を実施し、市街地の更なる拡大の抑制と都市機能の集約を図るとともに、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指す。併せて、コンパクト・エコシティ推進計画を改定し、公共交通を基軸とした集約型都市の構築に向けた効果的な施策・事業を推進する。また、新病院を核とする仏生山エリアにおいて、地域交流センター整備等の適切な進捗管理を行う必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>今後とも、立地適正化計画やコンパクト・エコシティ推進計画に基づき、人口減少・超高齢社会を見据え、30年後、50年後においても活力を失わず市民がいきいきと暮らせるコンパクトで持続可能なまちづくりを実現するために継続して事業を推進していく。</p> <p>新病院を核としたまちづくりにおける都市機能集積においては、国の「地方再生コンパクトシティ」の採択を受け、今後、地域交流センターの整備等、新病院を核とする仏生山エリアのまちづくりに重点的に取り組む。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
適正な土地利用の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業	93%	A	継続	用途地域内の人口比率	99.2%
						中心市街地の居住人口の割合	94.1%
		(評価対象外) 都市計画制度運用事業					
		豊かな住まいづくり事業	97%	A	継続	計画策定までの進捗率	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
集約拠点における都市機能集積							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		新病院を核としたまちづくり推進事業（新病院アクセス道路整備事業）	98%	A	継続	道路整備率	99.0%
		新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（住宅・まちづくり企画課分）	97%	A	継続	整備事業の進捗状況（令和4年度完了）	100.0%
		新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（地域振興課分）	97%	A	継続	整備事業の進捗状況（令和4年度完了）	100.0%
		新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（都市計画課分）	100%	A	完了	整備事業の進捗状況（令和4年度完了）	100.0%
		新病院を核としたまちづくり推進事業（北側エリア整備事業）（道路整備課分）	100%	A	継続	整備事業の進捗状況（令和4年度完了）	100.0%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


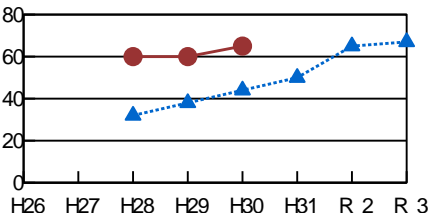
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	コンパクトで魅力ある都市空間の形成				課・室名	都市計画課
	施策	景観の保全・形成・創出				電話番号	087-839-2455

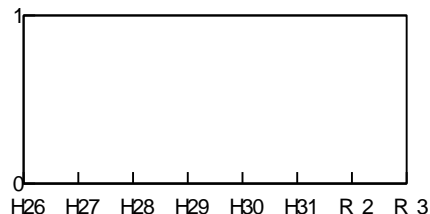
1 施策の目的

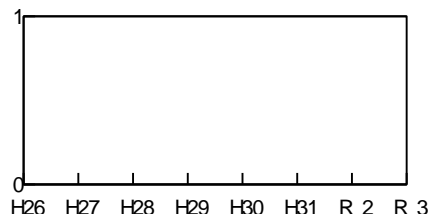
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
良好な景観の保全・形成・創出と環境美化を一体的に推進するため、美しいまちづくり条例を制定し、条例に基づく景観施策の指針となる美しいまちづくり基本計画を策定するとともに、景観法に基づく景観計画を策定することにより、地域に即した都市景観の形成を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
	特別な区域における既存不適格広告物の適正化率	%	60	60	65	58	80	 目標達成度 (達成度) 147.7% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成27～28年度にかけて、特別な区域のうち特に栗林公園内の眺望地点から望見される広告物の改修が進み、また、30年度は主要交差点の広告物が撤去されたことにより、目標を十分に達成することができた。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	2年度	5年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	49位 (17.4%)	33位 (20.9%)	33位 (22.1%)
不満度	22位 (19.0%)	28位 (17.6%)	16位 (20.4%)
重要度	45位 (55.2%)	43位 (56.1%)	36位 (61.5%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	30,803	11,047	11,541	7,573
人件費	40,825	39,452	39,322	43,103
トータルコスト	71,628	50,499	50,863	50,676

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>美しいまちづくりの実現に向けては、市・市民・事業者が適正な役割分担の下で、三者が一体となって地域の魅力や特性を活かしたまちづくりを進めていく必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>良好な都市景観の形成に向け、美しいまちづくり条例に基づく基本計画で定めた目標を達成するため、平成28年4月に一部変更した景観計画の周知・啓発と一定規模以上の建築物等に対する指導・助言により、良好な景観の保全・形成を図るとともに、25年度に改正した高松市屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の規制・誘導を行い、建築物等と一体となった良好な景観形成を推進する。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
美しいまちづくりの推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		美しいまちづくり推進事業	83%	B	継続	都市景観に関する満足度（市民満足度調査）	78.9%
						景観形成重点地区数	83.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
屋外広告物の適正化促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		屋外広告物対策事業	100%	A	継続	違反広告物簡易除却件数	198.8%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価 A
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成	

1 政策の概要

多様な交通が有機的に連携した快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存せず、誰もが安全で快適に移動することができるよう、生活バス路線の確保、離島航路への支援など、公共交通機関の充実・強化や主要な駅等におけるパーク・アンド・ライドの推進など、公共交通の利便性の向上を図ります。

また、自転車利用者と歩行者の双方が道路を安全で快適に利用できるよう、駐輪場や自転車走行空間の確保を始め、レンタサイクルや放置自転車対策などの事業を進めるとともに、自転車利用者のマナー向上に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
公共交通の利便性の向上	98%	A
自転車の利用環境の向上	88%	A
平均	93%	A

3 政策の評価

快適で人にやさしい都市交通の形成に向けて、2施策に取り組んだ。

「公共交通の利便性の向上」では、設定する2つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「自転車の利用環境の向上」では、設定する2つの成果指標のうち、自転車道等整備済延長（累積）において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は93%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
公共交通の利便性の向上	19.7%	41.0%	85.4%
自転車の利用環境の向上	22.0%	23.7%	54.7%
平均	20.9%	32.4%	70.1%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


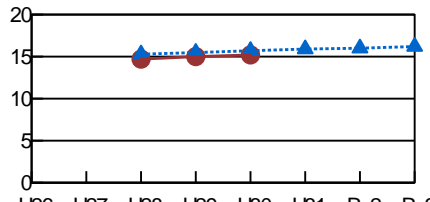
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価 A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成			課・室名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上			電話番号	087-839-2138


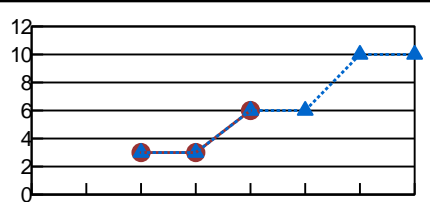
1 施策の目的

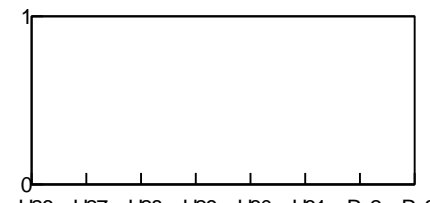
対象（誰、何を対象としているか）
市民、来訪者

意図（どのような状態にしたいのか）
市民の活動を支える多様な移動手段を確保するとともに、公共交通の利便性の向上により、公共交通の利用促進を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	公共交通機関利用率	%	14.7	15	15.2	16	16.5	 目標 達成度 (達成度) 96.8% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	公共交通利用率は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増を目標として掲げている。前年度に比べ、1日当たりの公共交通機関利用者数は約1,000人増加し、利用率も15.0%から15.2%へと上昇したものの、平成20年代の初期に利用者数が減少した影響により、目標値の達成に至らなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	交通結節拠点におけるバス路線の結節数（中心部を除く）	路線	3	3	6	10	14	 目標 達成度 (達成度) 100.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	当該指標は、平成24年度の交通結節拠点におけるバス路線の結節数を目標と掲げている。新たな公共交通の結節拠点整備に併せ、バス路線再編を進める、公共交通ネットワークの再構築の進捗を確認するものであり、昨年度は、新規路線を含め、3路線を仏生山駅に結節させ、目標は達成している。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標 達成度 (達成度)
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	35位（21.0%）	41位（18.1%）	43位（19.7%）
不満度	1位（43.1%）	1位（47.5%）	1位（41.0%）
重要度	7位（79.1%）	3位（82.9%）	2位（85.4%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,345,299	1,601,327	1,970,238	2,431,066
人件費	101,827	98,328	97,399	91,803
トータルコスト	1,447,126	1,699,655	2,067,637	2,522,869

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
過度な自動車利用から公共交通へ転換を図るため、利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの再構築に当たっては、新たな交通結節拠点整備やバス路線再編とあわせて、良好な交通環境の確保が課題である。

施策推進の方向性
公共交通の利便性の向上に当たっては、市全域を対象とした公共交通体系の再編と、ハード・ソフトの両面から公共交通の利便性の向上に資する施策を積極的に推進するとともに、都市計画マスタープランに掲げる、「多核連携型コンパクト・エコシティ」の観点から、拠点地域等への都市機能の集約を進めるなど、集約型の都市構造への転換を図り、公共交通の利用を促進していく必要がある。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
目指す都市構造と整合した都市交通システムの構築							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		J R 端岡駅周辺整備事業（都市計画課分）	75%	B	継続	J R 端岡駅周辺整備事業進捗率	71.4%
		国道 11号高松東道路関連整備事業	94%	A	継続	側道整備率	93.9%
		地域公共交通再編事業（交通政策課分）	92%	A	継続	施策に関する市民満足度（公共交通の利便性の向上）	85.7%
						公共交通機関利用率	96.8%
		地域公共交通再編事業（都市計画課分）	96%	A	継続	公共交通機関利用率	96.8%
		J R 端岡駅周辺整備事業（交通政策課分）	93%	A	継続	公共交通機関利用率	96.8%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		公共交通維持改善事業(交通政策課分)	84%	B	改善継続	公共交通機関利用率	96.8%
						コミュニティ交道路線数	71.4%
		公共交通利用促進事業(交通政策課分)	92%	A	継続	施策全体の満足度(市民満足度調査)	85.7%
						公共交通機関利用率	96.8%
		新都市交通システム導入検討事業	85%	B	継続	施策に関する市民満足度(公共交通の利便性の向上)	85.7%
		(評価対象外) 駐車場管理運営事業					
		公共交通利用促進事業(都市計画課分)	83%	B	継続	C & B R 駐輪場利用者数	80.0%
		公共交通維持改善事業(都市計画課分)	97%	A	継続	バリアフリー化率	100.0%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


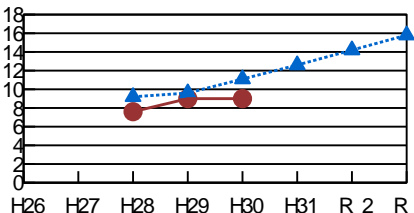
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成				課・室名	交通政策課
	施策	自転車の利用環境の向上				電話番号	087-839-2138


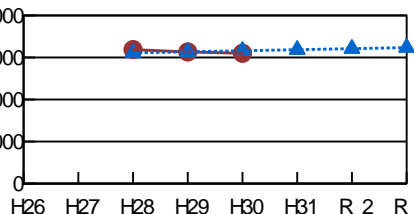
1 施策の目的

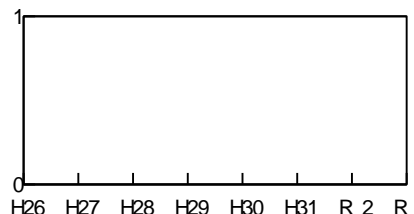
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
市民が安全で快適に、自転車を利用するための環境を整備し、自転車利用の促進を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	自転車道等整備済延長（累積）	km	7.6	9	9	11.1	19	 目標達成度 (達成度) 81.1% 24点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成30年度には、八番町西浜新町線において整備を進めたが、関係機関等との協議に日時を要したことにより、当初の目標を達成することができなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	レンタサイクル利用者数	人	318,793	313,160	309,995	316,000	328,500	 目標達成度 (達成度) 98.1% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	駅前の地下にあるポートへの案内看板の設置や新デザインの導入などの利用促進策を講じたが、栗林公園駅及び高松駅を除く5箇所のサイクルポートの利用者数の減少により、目標を達成することができなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	27位（23.6%）	26位（22.9%）	34位（22.0%）
不満度	7位（26.1%）	7位（26.7%）	10位（23.7%）
重要度	39位（57.7%）	41位（57.0%）	49位（54.7%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	255,879	204,764	198,135	352,701
人件費	40,197	38,845	42,498	39,852
トータルコスト	296,076	243,609	240,633	392,553

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
道路管理者・鉄道事業者や商店街などが、役割分担に基づき、関係機関と連携し計画的に事業の推進に努めているが、利害関係者の意見調整に時間を要する。

施策推進の方向性
自転車の走行空間と駐輪スペースの確保を最優先に取り組むとともに、自転車事故対策やマナーアップ等について警察やその他の関係機関と連携して取り組む必要がある。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
快適な自転車利用のための環境整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		レンタサイクル事業	90%	A	改善継続	放置自転車撤去台数（禁止・整理区域）	128.3%
						レンタサイクルの利用延べ人数	98.1%
		自転車利用環境整備事業	86%	A	継続	自転車道等整備済延長	81.1%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
自転車利用の更なる促進					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		放置自転車等対策事業	97%	A	継続	放置自転車警告件数	127.3%
		駐輪場整備事業	96%	A	継続	鉄道駅周辺公共駐輪場の収容台数	99.8%
						補助駐輪場の収容台数	100.0%
		(評価対象外) 駐輪場管理事業					
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価 A
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実	

1 政策の概要

激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高め、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、高松空港や高松港の機能強化、四国への新幹線の導入促進など、拠点性を高める交通網の整備と利用促進を進めます。

また、都市計画道路等の整備により、道路交通の円滑化・安全性の向上など、拠点性を高める道路ネットワークの整備を進めます。

また、ウォーターフロントの魅力をいかしながら、サンポート高松など中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成やまちなか居住を促進し、人々の回遊性を高めるなど、中心市街地の活性化に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	93%	A
拠点性を高める道路ネットワークの整備	93%	A
中心市街地の活性化	88%	A
平均	91%	A

3 政策の評価

拠点性を発揮できる都市機能の充実に向けて、3施策に取り組んだ。

「拠点性を高める交通網の整備と利用促進」及び「拠点性を高める道路ネットワークの整備」の2施策では、設定する4つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

「中心市街地の活性化」では、設定する3つの成果指標のうち、中央商店街の空き店舗率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は91%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
拠点性を高める交通網の整備と利用促進	24.9%	27.7%	74.4%
拠点性を高める道路ネットワークの整備	33.2%	22.3%	72.4%
中心市街地の活性化	19.0%	24.7%	60.7%
平均	25.7%	24.9%	69.2%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


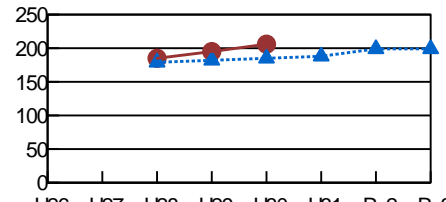
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実				課・室名	交通政策課
	施策	拠点性を高める交通網の整備と利用促進				電話番号	087-839-2138


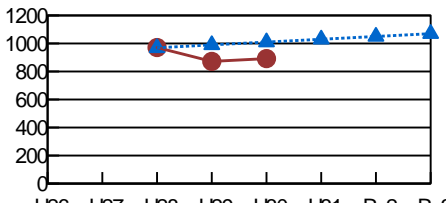
1 施策の目的


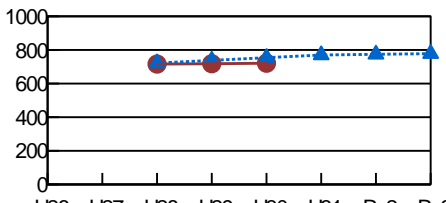
対象（誰、何を対象としているか）
地域経済・産業（人・物・情報）

意図（どのような状態にしたいのか）
環瀬戸内海圏の中核都市としての機能を発揮できる陸海空の交通ネットワークの整備と利用促進により、交流人口の拡大、物流の円滑化を促進し、地域経済及び産業の活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	高松空港の利用者数	万人	185	195	206	199	199	 目標達成度 (達成度) 111.4% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	定期路線については、平成28年度からの路線数を維持しており、国内・国際定期路線ともに過去最高の利用者数となった結果、全体の利用者数も前年度比で5.6%増加した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	高松港に入港した外国貿易船の年間延べ純トン数	千純トン	971	872	892	1,050	1,110	 目標達成度 (達成度) 88.3% 26点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	平成9年に韓国釜山航路が開設されて以降、順次航路開設が進み、現在4航路週7便の海上輸送網を維持しており、前年度から増加はしたものの、目標値の達成には至らなかった。（中国航路2便、韓国航路4便、フィーダー航路1便 計7便）							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市内JR駅の乗降客数	万人	716	718	721	774	785	 目標達成度 (達成度) 95.6% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	当該指標は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増（累積）を見込み目標として掲げている。前年度実績に比べ増加したものの、平成20年代の初期に利用者数が減少したことの影響により、目標値の達成に至らなかった。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	28位（23.0%）	25位（23.8%）	26位（24.9%）
不満度	4位（28.0%）	4位（27.9%）	3位（27.7%）
重要度	20位（69.6%）	19位（71.2%）	16位（74.4%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	460,333	859,735	619,391	137,064
人件費	7,851	7,587	12,855	11,343
トータルコスト	468,184	867,322	632,246	148,407

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>航空路線の維持・定着により利用者数は増加しているが、高松空港振興期成会の一員として、運営事業者である高松空港株式会社と連携しながら、更なる交流人口の拡大による地域活性化に取り組む必要がある。</p> <p>高松港においては、4 航路週 7 便という海上輸送網を維持しているが、今後の航路拡充・物流量の増加に向けた地域経済の活性化に取り組む必要がある。</p> <p>また、四国の新幹線を実現するため、関係団体等との連携により、国等に調査・研究を要望するなど、整備計画への格上げに向け取り組む必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>高松空港の航空ネットワークの拡充については、高松空港振興期成会の一員として、運営事業者である高松空港株式会社と連携しながら、より効果的な事業の推進に努める。</p> <p>高松港の交通・物流拠点性の向上については、事業主体である香川県と連携し、より効率の良い施設整備及び運営に努める。</p> <p>四国の新幹線の整備計画への格上げに向け、関係機関と連携し、国等への要望活動とともに、市民意識の醸成に努める。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
高松空港の利用促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		航空路線網拡大促進事業	87%	A	改善継続	定期路線数	87.5%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


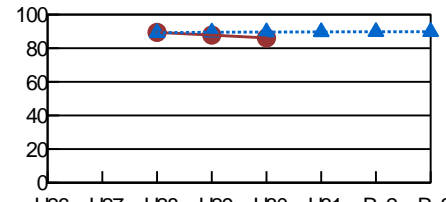
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実				課・室名	道路整備課
	施策	拠点性を高める道路ネットワークの整備				電話番号	839-2516

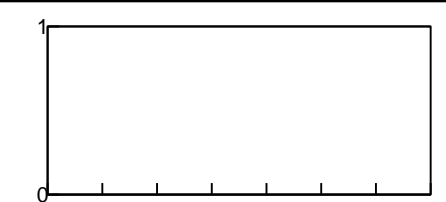
1 施策の目的

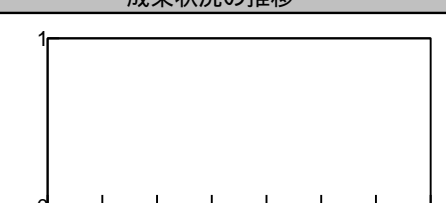
対象（誰、何を対象としているか）
対象施設：都市計画道路 対象者：道路利用者（歩行者・自転車利用者・自動車利用者）及び道路周辺住民

意図（どのような状態にしたいのか）
中枢拠点都市としての道路ネットワークを強化し、安全安心な市民生活と機能的な都市活動を確保する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	都市計画道路整備率	%	89.4	87.8	86.1	89.8	89.9	 目標達成度 (達成度) 96.1% 28点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	木太鬼無線（西春日・鶴市工区）の供用を開始するなど都市計画道路の整備を進めたが、高松海岸線の4,450m延伸により、全体整備率は減少した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	20位（27.0%）	10位（30.5%）	10位（33.2%）
不満度	9位（24.1%）	17位（21.5%）	12位（22.3%）
重要度	31位（64.4%）	23位（68.7%）	19位（72.4%）

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	680,922	1,010,096	522,907	1,165,037
人件費	58,097	56,144	69,344	70,856
トータルコスト	739,019	1,066,240	592,251	1,235,893

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
多額の事業費が必要な街路事業においては、将来を見据えたコンパクトで持続可能なまちづくりの視点など、更なる費用対効果の分析・検討が必要である。

施策推進の方向性
本市が目指す、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に向け、立地適正化計画との整合性を図りつつ、都市の骨格を成す街路や集約拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化が必要となっている。このようなことから、都市計画道路整備プログラムの見直しを進めており、令和元年度に完了する予定としている。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
集約拠点間のアクセスを向上させる道路ネットワークの強化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		街路事業（道路整備課分）	96%	A	継続	都市計画道路整備率	96.1%
		街路事業（都市計画課分）	47%	D	継続	計画策定までの進捗率	30.0%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


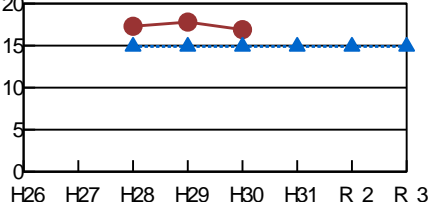
総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	総合評価	A	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実				課・室名	住宅・まちづくり推進室
	施策	中心市街地の活性化				電話番号	087-839-2136


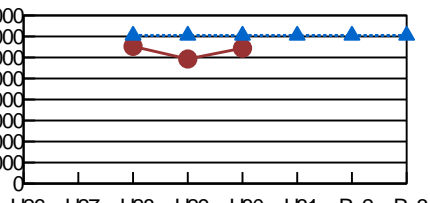
1 施策の目的


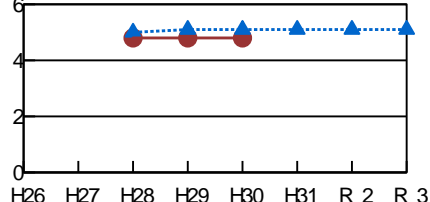
対象（誰、何を対象としているか）
高松市中心市街地

意図（どのような状態にしたいのか）
中心市街地の機能強化を図るとともに、魅力ある商業・業務空間の形成や、まちなか居住を促進する再開発等の事業を推進することにより、中心市街地の活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	中央商店街の空き店舗率	%	17.3	17.8	16.9	14.9	14.9	 目標達成度 (達成度) 86.6% 25点
	成果状況 / 達成度評価 各商店街でイベント等の実施によるにぎわいの創出や空き店舗活用事業による店舗の出店誘致など、活性化に向けた様々な事業が行われ、一定の改善は見られたが、平成30年度の空き店舗率は、目標値を下回る結果となった。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	中央商店街の歩行者通行量	人	130,566	118,567	128,854	141,000	141,000	 目標達成度 (達成度) 91.4% 27点
	成果状況 / 達成度評価 平成30年度の歩行者通行量は、各商店街のイベント等の実施によるにぎわいの創出など活性化に向けた様々な事業が継続的に行われていたため、前年度と比べ約10,000人増加したが、目標値を下回る結果となった。		成果状況の推移 					

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
成果指標	中心市街地の居住人口の割合	%	4.8	4.8	4.8	5.1	5.1	 目標達成度 (達成度) 94.1% 28点
	成果状況 / 達成度評価 前年度から12人減の20,653人とほぼ横ばいで、居住人口の割合としても前年度と同値の4.8%であり、目標値の達成には至っていない。		成果状況の推移 					

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	47位 (18.2%)	35位 (20.0%)	47位 (19.0%)
不満度	8位 (25.4%)	6位 (27.3%)	7位 (24.7%)
重要度	36位 (60.5%)	31位 (64.8%)	37位 (60.7%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	129,445	109,484	139,630	212,657
人件費	46,713	43,777	52,556	47,823
トータルコスト	176,158	153,261	192,186	260,480

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>民間主導により、丸亀町商店街等で計画された再開発のうち、未着手の街区において、より魅力のある空間を創出することにより、中央商店街全体のにぎわいを取り戻すことを目指しており、事業化に向けた関係権利者の合意形成や事業スキームの確立が課題である。また、第2期基本計画に掲げた3つの数値目標の達成には至らなかったことから、第2期計画の検証を十分に行い、今後はより一層官民が連携し、ハード・ソフトの幅広い施策・事業を盛り込んだ次期計画（第3期）の策定を進めていく必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>激しさを増す都市間競争において、本市の優位性を更に高めるために、中心市街地の活性化は重要な継続課題であり、社会経済情勢を見極めながら、各事業の進行管理や精査・検討を行うことで、効果的に事業に取り組み、拠点性を発揮できる都市機能の充実を図るため、現状分析や課題の抽出を行い、たかまつ創生総合戦略、高松市立地適正化計画等を踏まえた第3期計画を策定し、民間事業者等との情報共有や連携を図りながら施策・事業を展開していく。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
豊かな居住環境の充実					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		高松丸亀町商店街再開発事業	100%	A	継続	丸亀町商店街の通行量	109.5%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
中心市街地の来街魅力の強化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) サポート高松管理事業					
		(評価対象外) サポート高松北側街区整備事業					
		(評価対象外) 瓦町駅ビル利活用事業					
基本事業名					(総合評価) A		
タイムリーな情報発信による回遊促進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 中央商店街調査事業					
		中心市街地活性化推進事業(まちづくり企画課分)	88%	A	継続	中央商店街の歩行者通行量	91.4%
						中央商店街の空き店舗率	86.6%
		(評価対象外) 中心市街地活性化推進事業(都市計画課分)					

6 市民と行政がともに力を発揮できるまち

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価 A
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生	

1 政策の概要

参画・協働によるコミュニティの再生を図るため、新しい公共の担い手として、地域コミュニティ協議会が地域社会の中心的な役割を果たし、地域のまちづくりが活性化するよう、組織体制の充実を図るとともに、地域のリーダー養成や地域コミュニティ協議会事業への財政支援などを行い、地域コミュニティの自立・活性化に努めます。

また、多様なパートナーシップの下、市民やNPOなど市民活動団体と行政との協働によるまちづくりを進めるため、市民活動センター機能の拡充や協働の担い手の育成など、協働事業を充実させるとともに、広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供などによる行政の透明性の向上を図り、参画・協働の推進に努めます。

また、女木島、男木島及び大島、それぞれの島の特性や瀬戸内国際芸術祭の経験をいかし、多様な主体が参加・協働して島の魅力をいかした島づくりに取り組むことにより、交流・定住人口の拡大を目指し、離島の振興に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
地域コミュニティの自立・活性化	76%	B
参画・協働の推進	93%	A
離島の振興	100%	A
平均	89%	A

3 政策の評価

参画・協働によるコミュニティの再生に向けて、3つの施策に取り組んだ。

「地域コミュニティの自立・活性化」では、設定する2つの成果指標のうち、コミュニティプランの見直し率については、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。

「参画・協働の推進」及び「離島の振興」では、設定する4つの成果指標について、目標を達成又は概ね達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は89%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
地域コミュニティの自立・活性化	34.8%	11.3%	50.0%
参画・協働の推進	18.1%	10.1%	39.6%
離島の振興	20.2%	8.4%	40.6%
平均	24.4%	9.9%	43.4%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


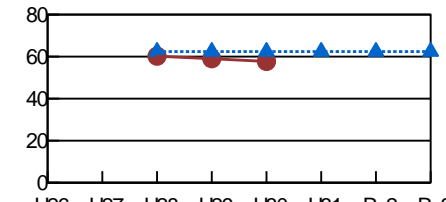
総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価	B	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生				課・室名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化				電話番号	087-839-2277


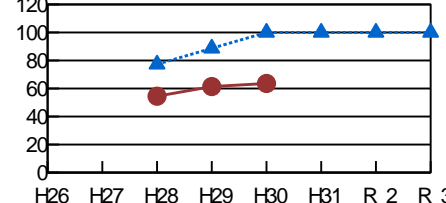
1 施策の目的

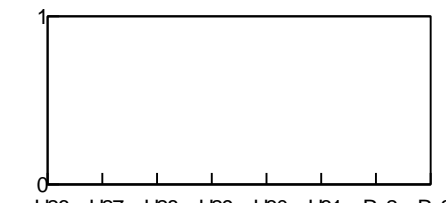
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
各地域コミュニティ協議会及び高松市コミュニティ協議会連合会の活動を支援するとともに組織強化を促すほか、地域コミュニティ活動の拠点整備を促進することにより、地域コミュニティの自立・活性化を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	自治会加入率	%	60.2	59	57.7	62.4	62.4	 目標達成度 (達成度) 92.5% 27点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
種々の自治会加入促進活動に加え、地域で設置する自治会の在り方等検討プロジェクトチームに市も参画し、住民から共感を得られる活動や、加入・継続しやすい自治会の在り方についての検討等に取り組んだが、加入率の目標値62.4%に対し、実績は57.7%であり、目標達成に至らなかった。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	コミュニティプランの見直し率	%	54.5	61.4	63.6	100	100	 目標達成度 (達成度) 63.6% 19点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプランの見直しの支援に取り組んだが、目標値100%に対し、実績は63.6%であり、目標達成に至らなかった。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	14位 (30.3%)	18位 (26.2%)	9位 (34.8%)
不満度	37位 (14.9%)	43位 (12.7%)	44位 (11.3%)
重要度	48位 (53.0%)	50位 (52.2%)	54位 (50.0%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	1,639,825	1,301,899	1,600,711	1,698,056
人件費	94,997	88,656	100,953	91,122
トータルコスト	1,734,822	1,390,555	1,701,664	1,789,178

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下が課題となっている。 また、地域コミュニティ組織の構築からおおむね10年以上が経過し、各地域の活動への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営、適正な会計処理などが求められている。</p> <p>【教育局】学校施設・跡施設利用実施計画に基づき事業を実施し、完了したが、今後継続的に利活用するには施設の維持管理等が課題となる。</p>

施策推進の方向性
<p>自治会加入・継続促進策について、行政や自治会それぞれの役割や目的を検証した上で、地域とともに実効性のある具体的な方策を検討していく。</p> <p>また、コミュニティ組織の強化・充実に向けて、高松市コミュニティ協議会連合会や各地域コミュニティ協議会への運営支援を行うとともに、地域の裁量を生かした地域まちづくり交付金等によるコミュニティの活動支援を行う。</p> <p>また、活動拠点となるコミュニティセンター施設について、平成30年度から始動した新整備計画に基づき、計画的な改築及び改修を行う。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
コミュニティ組織の強化・充実					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業	97%	A	改善継続	事務局体制を構築・強化した地域コミュニティ協議会数	100.0%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
コミュニティ活動の支援							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		地域まちづくり交付金事業	71%	B	改善継続	コミュニティプランの見直し率	63.0%
		(評価対象外)コミュニティ活動支援システム整備事業					
		自治会活動推進事業	85%	B	改善継続	自治会加入率	92.5%
		コミュニティ推進事業	97%	A	改善継続	講演会・講習会の参加者数	115.1%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）

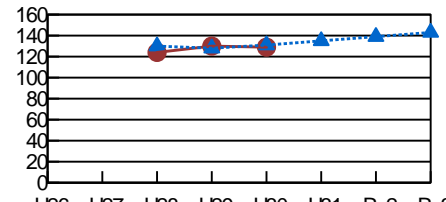
総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価	A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生				課・室名	男女共同参画・協働推進課
	施策	参画・協働の推進				電話番号	087-839-2275


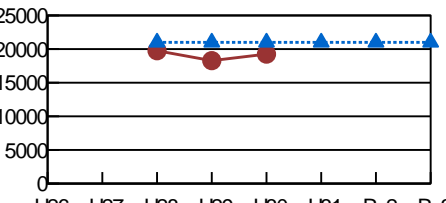
1 施策の目的

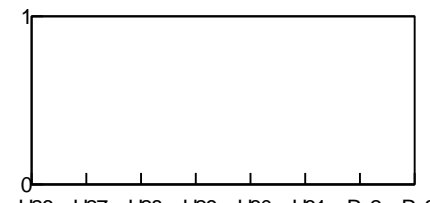
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
市民活動センター機能の拡充や協働の担い手づくりなど協働事業の充実及び広聴・広報活動の充実、情報の公開・提供など行政の透明性を図ることにより、市民と行政との参画・協働によるまちづくりの推進を目指す。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	協働事業数	件	124	130	129	139	150	 目標達成度 (達成度) 98.5% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	行政と市民活動団体等との協働事業は、協働の意識の啓発等を行ったものの、実施団体の解散等により廃止となった事業があったため、目標値を1%程度下回る結果となった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市政出前ふれあいトーク延べ参加者数	人	19,754	18,280	19,252	21,000	21,200	 目標達成度 (達成度) 91.7% 27点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	市政出前ふれあいトークで実施している施設見学のうち、平成28年度からの改修工事により実施できなかった施設について、施設見学を再開したものの、受入件数は改修工事前の半数となったほか、市政出前ふれあいトークの申込件数も減少したため、目標値を8%程度下回る結果となった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	42位 (19.7%)	54位 (14.6%)	49位 (18.1%)
不満度	52位 (10.7%)	58位 (8.2%)	52位 (10.1%)
重要度	57位 (44.8%)	59位 (40.6%)	60位 (39.6%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	164,236	150,786	144,606	157,712
人件費	121,691	112,288	124,017	127,798
トータルコスト	285,927	263,074	268,623	285,510

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>【市民政策局】市民活動団体等の活動支援のため、市民活動センターの機能強化を図るとともに、協働事業及び講座等を通じた効果的な協働意識の醸成と「協働の担い手」の育成が求められている。【総務局】市民との情報共有を推進するため、市政に関する情報を積極的に分かりやすく、適時適切に提供するとともに、参画と協働による市政運営が行えるような市民との情報共有のための仕組みづくりが課題となっている。</p>

施策推進の方向性
<p>市民活動団体等の活動を支援する中間支援組織としての役割を果たせるよう、市民活動センターの機能強化に取り組む。また、協働事業及び講座等の充実を図り、協働意識の醸成や醸成した意識の市民活動への活用及び「協働の担い手」の育成を図る。様々な媒体を活用し、広報機能の充実に取り組むとともに、市民の意見が市政に適切に反映されるよう、市民が主体的に市政に参画できる環境づくりに取り組む。</p> <p>市民の市政に対する理解と信頼を得るため、個人情報の保護と情報公開の徹底を図る。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
市民活動センター機能の拡充							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		市民活動センター管理運営事業	97%	A	継続	市民活動センター総利用者数	107.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
適切な個人情報の取扱いと情報公開の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外)個人情報保護事業					
		(評価対象外)情報公開事業					
基本事業名					(総合評価) B		
協働事業の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		協働企画提案事業	93%	A	継続	継続事業数	96.7%
		ボランティア・市民活動推進事業(男女共同参画・協働推進課分)	96%	A	継続	所属担当協働推進研修受講者数	99.5%
						市民活動センター利用登録団体数	103.0%
		自治と協働の基本指針普及事業	77%	B	改善継続	市政出前ふれあいトークの参加者数	73.7%
		ボランティア・市民活動推進事業(コミュニティ推進課分)	74%	B	改善継続	地域担当協働推進研修受講者数	71.9%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
広聴・広報機能の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		市民相談事業	89%	A	継続	法律相談利用者の満足度	89.4%
		テレビ放送等広報事業	85%	B	継続	民放テレビ広報番組視聴率【年平均】	85.0%
		ホームページ等管理運営事業	67%	C	継続	市ホームページ(トップページ)のアクセス件数	58.3%
		広報たかまつ等発行事業	95%	A	継続	広報たかまつ配布部数	97.8%
		吹奏楽団事業	94%	A	継続	聴衆者数(参加者数)	103.4%
基本事業名					(総合評価)		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


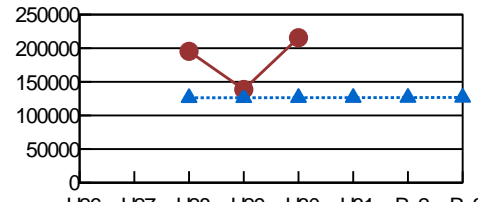
総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生			課・室名	地域振興課
	施策	離島の振興			電話番号	087-839-2278


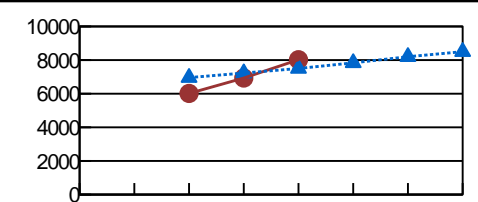
1 施策の目的

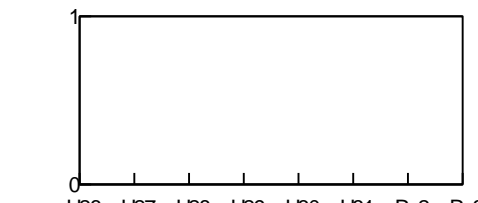
対象（誰、何を対象としているか）
市民（各島の住民・各島への渡航者）

意図（どのような状態にしたいのか）
女木島、男木島及び大島、それぞれの特性をいかした交流・定住人口の拡大を図る。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	各島への年間来島者数	人	195,339	138,641	215,572	126,600	127,000	 目標達成度 (達成度) 170.9% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
平成30年度は前年度増の215,572人となり、来島者の目標値(126,427人)を達成した。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	イベント参加者数	人	6,016	6,932	8,022	8,200	9,184	 目標達成度 (達成度) 107.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
大島振興方策等に基づき、大島振興につながる人権学習などを含む交流活動に取り組み、前年度と比較してイベント等の参加者数は増加した。								

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	38位 (20.5%)	41位 (18.1%)	38位 (20.2%)
不満度	55位 (10.4%)	56位 (8.4%)	58位 (8.4%)
重要度	59位 (42.8%)	60位 (39.5%)	59位 (40.6%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	17,110	16,440	18,999	33,231
人件費	16,487	16,012	12,099	13,612
トータルコスト	33,597	32,452	31,098	46,843

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
瀬戸内国際芸術祭の開催等により、各島への渡航者が増加傾向にあるが、芸術祭期間以外においても航路等の利用促進が図れるような施策の展開が必要である。

施策推進の方向性
各島への交流人口を増加させながら、更なる交流・定住を促進するため、多様な主体との連携・協働により各島の魅力を生かした活性化を図る。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
航路の確保及び利便性向上							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		離島航路振興事業	90%	A	改善継続	女木・男木島航路利用者比率（基準年：平成21年度）	86.1%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画 画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進

総合評価
A

1 政策の概要

相互の特長をいかした多様な連携を推進するため、近隣自治体と連携し、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を始め、経済成長や高次の都市機能の集積・強化に資する事業の充実に取り組むとともに、香川県との連携強化を図り、連携事業の創出に取り組みます。

また、産・官・学・金・労等、多様な主体との連携強化を図り、地域経済の活性化や各種課題の解決を目指します。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
連携の推進	100%	A
平均	100%	A

3 政策の評価

相互の特長をいかした多様な連携の推進に向けて、1施策に取り組んだ。

「連携の推進」では、設定する2つの成果指標について、目標を達成した。

以上により、政策を構成する施策の平均得点率は100%となり、政策全体として目指す方向に順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「A」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満度	重要度
連携の推進	17.0%	11.2%	46.3%
平均	17.0%	11.2%	46.3%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


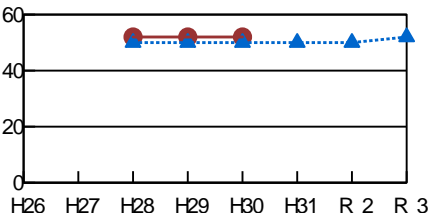
総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価 A	評価担当	局名	市民政策局
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進			課・室名	政策課
	施策	連携の推進			電話番号	087-839-2135


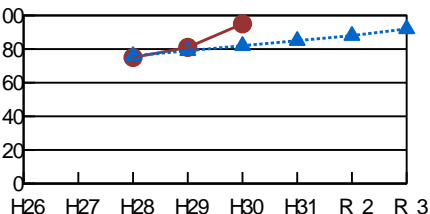
1 施策の目的

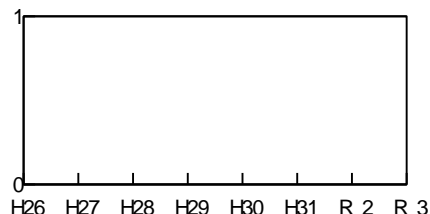
対象（誰、何を対象としているか）
国、県、県内市町、産学など

意図（どのような状態にしたいのか）
広域的な課題を始め、基礎自治体の在り方や新たな都市圏の在り方について調査・研究を進めるなど、効果的な連携を推進する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数	事業	52	52	52	50	55	 目標達成度 (達成度) 104.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	連携中枢都市圏での生活関連機能サービス等連携事業数が52事業となり、目標を達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	大学等との連携・協力事業数	事業	75	81	95	88	100	 目標達成度 (達成度) 115.9% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	大学等との連携・協力事業数が95事業となり、目標を達成した。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標の うごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
								目標達成度 (達成度) _____
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
								

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	50位 (17.0%)	50位 (16.0%)	52位 (17.0%)
不満度	46位 (11.8%)	49位 (10.6%)	46位 (11.2%)
重要度	50位 (49.4%)	53位 (49.5%)	56位 (46.3%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	4,344	1,916	1,207	3,218
人件費	10,206	9,104	9,074	12,099
トータルコスト	14,550	11,020	10,281	15,317

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
<p>市が広域的な課題に対処するに当たり、高度かつ専門的な内容などを取り扱うことも求められていることから、多様な主体との連携強化などを図る必要がある。</p>

施策推進の方向性
<p>引き続き、都市間の広域連携や国・県・産学との連携を図り、社会の変革に即応した行財政運営を推進する。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の構成自治体や大学、金融機関など多様な主体との連携事業の拡充を図る。</p>

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
連携中枢都市圏における連携事業の充実							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業	95%	A	改善継続	圏域で取り組む連携事業の数（都市圏ビジョン登載事業数）	97.3%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
県等との連携強化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 広域都市連携事業					
基本事業名					(総合評価) A		
多様な主体との連携強化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		多様な主体との連携推進事業	100%	A	拡充	大学等との連携・協力事業数	115.9%
						金融機関等との連携協力事業数	180.0%

令和元年度 高松市政策評価表（平成30年度分）

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価 B
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立	

1 政策の概要

健全で信頼される行財政運営を確立するため、市民から信頼される職員を目指し、高松市職員人財育成ビジョンやコンプライアンス推進施策に基づき、職員の意識改革と資質の向上など職員力の向上を図ります。
また、引き続き、行財政改革計画を策定し、進行管理を行う中で、行財政改革の推進を図るとともに、自主財源の確保に努めながら、限られた財源を重点的、効率的に配分することにより、後年度に過大な債務負担を残さないよう効率的で効果的な行財政運営の推進に努めます。

2 政策を構成する施策の評価結果の平均値

施策名	得点率	評価
職員力の向上	74%	B
効率的で効果的な行財政運営の推進	91%	A
平均	82%	B

3 政策の評価

健全で信頼される行財政運営の確立に向けて、2施策に取り組んだ。
「職員力の向上」では、設定する3つの成果指標のうち、市職員としてコンプライアンスを理解している職員の割合及び昇任試験受験率において、目標に届かなかったものの、他の指標については、目標を概ね達成した。
「効率的で効果的な行財政運営の推進」では、設定する3つの成果指標のうち、行財政改革計画の目標達成度において、目標に届かなかったものの、他の2つの指標については、目標を達成又は概ね達成した。
以上により、政策を構成する施策の平均得点率は82%となり、政策全体として目指す方向に概ね順調に進捗していると考えられることから、本政策の総合評価は「B」とする。

（参考）政策を構成する施策の市民満足度調査結果の平均値

施策名	満足度	不満足度	重要度
職員力の向上	21.1%	25.3%	66.2%
効率的で効果的な行財政運営の推進	19.2%	15.7%	56.9%
平均	20.2%	20.5%	61.6%

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価	B	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立			課・室名	人事課
	施策	職員力の向上			電話番号	087-839-2144


1 施策の目的


対象（誰、何を対象としているか）
高松市職員

意図（どのような状態にしたいのか）
職員の意識改革、資質向上及び組織の活性化を図るとともに、職員のコンプライアンス意識とモチベーションも向上させる。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	%	91.6	90.2	87.9	100	100	 目標達成度 (達成度) 87.9% 26点
	成果状況 / 達成度評価		「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めたが、一部の職種では効果的な研修が実施できなかったことなどから、前年度に比べ2.3ポイント下降し、目標値の達成には至らなかった。					
				成果状況の推移				

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	昇任試験受験率	%	12.5	12	9.3	28	30	 目標達成度 (達成度) 40.4% 12点
	成果状況 / 達成度評価		近年、昇任試験の受験資格があるにもかかわらず、受験しない職員が増え、適宜、昇任試験の制度改正を行ったり、各種研修の充実を図っているが、受験者数を増加させることができなかった。給与制度と連動した、抜本的な改善が必要である。					
				成果状況の推移				

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	職員数の適正化計画の達成率	%	99.9	99.8	99	100	100	 目標達成度 (達成度) 99.0% 29点
	成果状況 / 達成度評価		平成29年3月に、計画を改定したものの、福祉行政など様々な行政需要への対応のため、目標には届かなかった。					
				成果状況の推移				

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	25位 (24.0%)	38位 (18.5%)	36位 (21.1%)
不満度	5位 (26.6%)	8位 (26.1%)	5位 (25.3%)
重要度	16位 (74.0%)	21位 (70.0%)	30位 (66.2%)

4 施策に係るコスト

	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	元年度（予算）
事業費	26,203,647	26,465,228	27,130,729	27,310,717
人件費	257,513	253,406	252,571	256,352
トータルコスト	26,461,160	26,718,634	27,383,300	27,567,069

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題
職務に対する職員のモチベーション及びコンプライアンスに対する意識の向上が必要である。加えて、職員一人一人が、公務員としての自覚を持って職務に取り組むことが求められる。

施策推進の方向性
高松市職員人財育成ビジョンに基づき、計画的に研修を実施し、職員力の向上を図るとともに、新コンプライアンス推進施策の各種取組を着実に実施し、信頼される職員を育成する。また、業績評価を盛り込んだ人事評価制度を実施するほか、昇任試験制度も適宜見直しを行うとともに、受験しやすい環境づくりに努め、組織の活性化と市民サービスの向上を図る。加えて、多様な市民ニーズに対応するため、業務に必要な職員数も適正に管理していく。さらに、ワーク・ライフ・バランスの推進と長時間労働の是正に向け、働き方改革として、スマイルプランを継続的に取り組む。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					（総合評価）		
人事制度の整備							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 人事管理事務					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
人材の育成とコンプライアンスの推進					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 職員力向上事業					
		(評価対象外) 人材育成事業					
		コンプライアンス推進事務	89%	A	改善継続	市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	87.9%
						懲戒処分者数の減少率(対平成26年度比)	100.0%
基本事業名					(総合評価)		
組織・人事管理の適正化							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 職員福利厚生事務					
		(評価対象外) 職員数適正化事業					
		(評価対象外) 組織機構・事務所管等の見直し事業					

令和元年度 高松市施策評価表（平成30年度分）


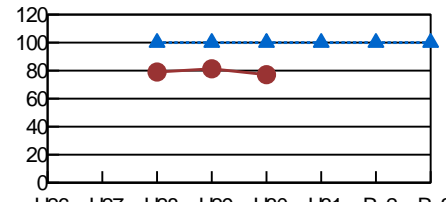
総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	総合評価 A	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課・室名	行政改革推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2160


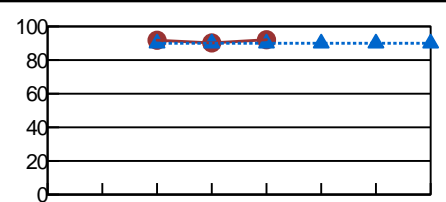
1 施策の目的


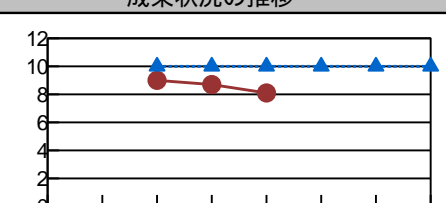
対象（誰、何を対象としているか）
市民

意図（どのような状態にしたいのか）
多様化する市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応できる、効率的で効果的な行財政運営を推進し、より質の高い適切な公共サービスの提供を継続する。

2 施策の成果状況

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	行財政改革計画の目標達成度	%	79	81.3	77.1	100	100	 目標達成度 (達成度) 77.1% 23点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	計画掲載の実施項目105件のうち、関係者等との協議を要する事業において遅れが生じたことや、前年度は目標を達成できていたが、30年度においては社会情勢の変化等により目標を達成できなかった事業があったことなどから、達成度が「達成」及び「おおむね達成」となった事業は81件となり、目標を下回った。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	経常収支比率	%	91.8	90.2	92.1	90	90	 目標達成度 (達成度) 97.7% 29点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	30年度は、経常経費が増加（+14億円）したことや、地方交付税などの経常一般財源が減少（▲4億円）したことにより、前年度比で、1.9ポイント上昇し、目標の90%以下を達成できなかった。							

成果指標	指標名	単位	実績値			中期目標	長期目標	指標のうごき
			28年度	29年度	30年度	29年度	30年度	
	実質公債費比率	%	9	8.7	8.1	10	10	 目標達成度 (達成度) 119.0% 30点
	成果状況 / 達成度評価		成果状況の推移					
	元利償還金（繰上償還分除く）の減等により、前年度比で、0.6ポイント改善し、目標を達成した状況を継続している。							

3 市民満足度調査の状況

	28年度	29年度	30年度
満足度	45位（19.3%）	48位（16.2%）	44位（19.2%）
不満度	20位（19.3%）	27位（17.8%）	28位（15.7%）
重要度	28位（65.6%）	36位（60.7%）	44位（56.9%）

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
電子行政の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		超高速情報通信網整備事業	95%	A	継続	市域における整備率	99.9%
		(評価対象外) 塩江ケーブルネットワーク管理運営事業					
		情報処理システム管理運営事業	100%	A	継続	インシデント解決率	100.0%
		庁内ネットワーク再構築事業	97%	A	完了	本庁舎ネットワーク再構築進捗率	100.0%
		社会保障・税番号制度推進事業(行政改革推進室分)	46%	D	改善継続	コンビニにおける証明書発行数	30.7%
						マイナンバーカード交付枚数	17.6%
		社会保障・税番号制度推進事業(市民課分)	46%	D	改善継続	コンビニにおける証明書発行数	30.7%
						マイナンバーカード交付枚数	17.6%
		社会保障・税番号制度推進事業(情報政策課分)	46%	D	改善継続	コンビニにおける証明書発行数	30.7%
						マイナンバーカード交付枚数	17.6%
		官民データ活用推進事業	88%	A	拡充	オープンデータ件数	83.3%
		データ利活用型スマートシティ推進事業	76%	B	拡充	共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数	66.7%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) B		
健全な財政運営の推進							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 財政管理事務					
		(評価対象外) 収納管理事務					
		ふるさと高松応援寄附促進事業	56%	C	継続	ふるさと納税寄附人数	32.6%
						ふるさと納税寄附金額	52.4%
		(評価対象外) 基金管理事務					
		(評価対象外) 予備費管理事務					
		競輪事業	95%	A	継続	車券発売収入	99.9%
		(評価対象外) 会計管理事務					
		(評価対象外) 市債管理事務					
		(評価対象外) 固定資産税等課税事務					
		(評価対象外) 市民税等課税事務					
		(評価対象外) 債権管理適正化推進事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価)		
効率的な行政運営の推進 (1/3)					A		
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 行政改革推進事業					
		(評価対象外) 議会事務					
		(評価対象外) 工事請負契約等事務					
		(評価対象外) 文書事務					
		(評価対象外) 庁舎等管理事務					
		(評価対象外) 公有財産管理事務					
		(評価対象外) 自動車管理事務					
		(評価対象外) 総合計画推進事業					
		(評価対象外) 公平委員会事務					
		(評価対象外) 支所・出張所管理運営事業(地域振興課分)					
		(評価対象外) 戸籍・住民基本台帳事務					
		(評価対象外) 選挙管理委員会事務					
		(評価対象外) 選挙執行事務					
		(評価対象外) 統計調査事業					
		(評価対象外) 監査事務					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名					(総合評価) A		
効率的な行政運営の推進 (2/3)							
重	マ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		(評価対象外) 市有建築物設計監理監督事務					
		自治推進事業	87%	A	継続	施策全体の満足度(市民満足度調査)	88.2%
		(評価対象外) 企画調整事務					
		(評価対象外) 一般行政事務					
		(評価対象外) 議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会事務					
		(評価対象外) 市政功労者表彰事務					
		(評価対象外) 公文書館管理運営事業					
		ファシリティマネジメント推進事業	94%	A	継続	各種方針・計画等の進捗率	100.0%
		総合センター整備事業(行政改革推進室分)	100%	A	継続	総合センターへの移行施設数	100.0%
						総合センターの取扱業務数	100.8%
		(評価対象外) たかまつ創生総合戦略推進事業					
		総合センター整備事業(地域振興課分)	100%	A	継続	総合センターへの移行施設数	100.0%
						総合センターの取扱業務数	100.8%
		(評価対象外) 行政不服審査事務					
		総合センター整備事業(保健センター分)	100%	A	継続	総合センターへの移行施設数	100.0%
						総合センターの取扱業務数	100.8%
		(評価対象外) 支所・出張所管理運営事業(香川総合センター分)					
		(評価対象外) 支所・出張所管理運営事業(国分寺総合センター分)					

